Canon

PUB. DIJ-308A

はじめに

準備編

撮影編

接続編

カスタマイズ編

再生編

静止画編

メニュー編

その他

HD VIDEO CAMERA RECORDER

XH G1s
XH A1s

使用説明書

もくじ

はじめに

準備編

撮影編

接続編

本書の使いかた

このたびは、キヤノンXH G1S／XH A1Sをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

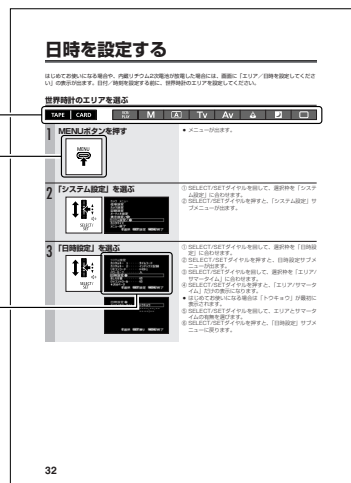
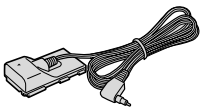
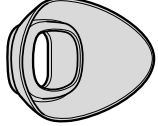
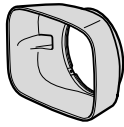
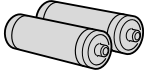
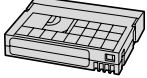
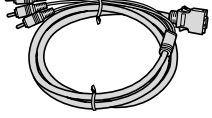
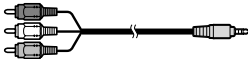
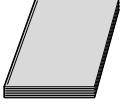
本書の構成は、次のとおりです。

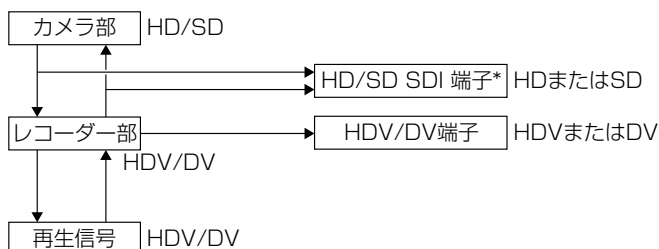
本書の記載について

：操作するうえで、守っていただきたいことです。

：基本操作に加えて、知っておいていただきたいことです。

（🕮 ○○）：（　）内の数字は参照ページです。

：表示の点滅を示しています。

・ 文中の「画面」は、ファインダーの画面または液晶画面を表しています。
・ 文中の「カード」はSD/SDHCメモリーカードまたはマルチメディアカードを表しています。
・ 文中の「カメラモード」は動画撮影モード、「VCR/PLAYモード」は動画再生モード、「カードカメラモード」は静止画撮影モード、「カードVCR/PLAYモード」は静止画再生モードをそれぞれ表しています。
・ 本書では、音声入力端子は「CH1、CH2」と、録音するチャンネルは「チャンネル」と表記しています。
・ 本書では、XH G1Sのイラストで説明しています。
・ 作例写真は、スチルカメラで撮影したものを使用しています。
・ 動作モードによっては、使用できない機能があります。本書では、次のように表示しています。

A ：使用できます。　A ：使用できません。

・ 本書では、HD/HDV、SD/DVの各信号規格を以下のように定義しています。＊ XH G1s のみ

付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

コンパクトパワーアダプター CA-920	バッテリーパック BP-950G	電源カプラー DC-920	アイカップ
外部マイク固定用シート	ショルダーストラップ SS-1100	レンズフード	レンズキャップ
リモコン (ワイヤレスコントローラー) WL-D5000	リモコン用単3電池 2本	デジタルビデオカセット HDVM-E63PR	SDメモリーカード
D端子コンポーネントビデオケーブル DTC-1000	ステレオビデオケーブル STV-290N	三脚ベース	XH G1S／XH A1S 使用説明書（本書）

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万が一、ビデオカメラが正常に動作しない場合は、「トラブルシューティング」（📖 183）をご確認ください。

HDV記録時のテープについて

HDV記録用には、HDV対応テープの使用をおすすめします。

記録内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラやテープなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C.,（250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA）から取得可能です。

長時間録画モードについて（DV規格）

長時間録画（LP）モードは、標準（SP）モードの1.5倍の録画ができる機能です。長時間録画モードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みください。

⚠警告　火災、感電、破裂などにより、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意　人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

万が一のとき

⚠警告

●・煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生したとき
・落としたり、外装を破損したとき
・内部に水、海水などの液体や異物が入ったとき
上記の場合は、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックもはずす。
火災、感電の原因。修理受付センターまたはご購入になった販売店に修理を依頼してください。

●**雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。**
感電の原因。

●**バッテリーパックから液もれしていたら使わない。**
皮膚の障害、失明、発火の原因。
・液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
・万一目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。

機器を取り扱うとき

⚠警告

●**分解、改造しない。**
発熱、火災、感電、けがの原因。

●**強い振動や衝撃を与えない。**
破損により、火災、やけど、けがの原因。ショルダーストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは、強い衝撃を与えて、割れるとけがの原因。

●**指定された機器を使用する。**
火災、感電、けがの原因。

●**機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせない。また、ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない。**
火災、感電、けがの原因。

●**ぬらさない。**
火災、感電、やけどの原因。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特に注意してください。

●**絶対に、バッテリーパックを、加熱や火中投入しない。**
破裂により、やけど、けがの原因。

●**電源コードを傷つけない。**
・加工しない。
・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜く。
電源コードが傷つくと（芯線の露出、断線等）、火災、感電の原因。

安全上のご注意…つづき

⚠警告

強制

●**電源プラグは根元まで確実に差し込む。**

火災、感電の原因。

強制

●**充電中は長時間触れない。**

低温やけどの原因。

禁止

●**海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源に接続しない。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。**

火災、感電、けがの原因。

⚠注意

強制

●**飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。**

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

ぬれ手禁止

●**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**

感電の原因。

強制

●**コード類は、つまづかないように配置する。**

足を引っ掛けて、転倒したり製品が落ちたりして、けがの原因。

強制

●**バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付ける。**

脱落すると、けがの原因。

強制

●**バッテリーパックやワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。**

落ちると、けがの原因。

使用・保管するとき

⚠警告

風呂場,シャワー室での使用禁止

●**風呂場などの湿度の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所で使用、保管しない。**

内部に水などが入ると、火災、感電、やけどの原因。

禁止

●**直射日光下やストーブ、照明器具のそばなど、60℃以上の高温の場所や炎天下の密閉された車の中に置かない。**

発熱や破裂により、火災、やけど、けがの原因。

禁止

●**不安定な場所に置かない。**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因。

強制

●**電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。**

火災の原因。

禁止

●**バッテリーパックの端子部に金属製のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。**

「+」と「−」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因。

⚠注意

●ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。
内部に熱がこもり、火災の原因。

●使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因。

撮るとき

⚠警告

●運転中に使用しない。
交通事故の原因。

強制

●撮影しているときは、周囲の状況に注意する。
けが、交通事故の原因。

お子様がそばにいるとき

⚠警告

●乳幼児の手の届かないところに置く。
感電、けがの原因。

⚠注意

●お子様がカセットの挿入口に、指を挟まれないようにする。
けがの原因。

本機の特長

HD高画質

1. 操作性が向上した20倍ズームビデオLレンズを搭載

20倍ズームビデオレンズの各リングのローレット変更により操作性が向上しました。また、メニューで絞り制限を解除するとCLOSEまでの任意のF値まで絞ることができます。さらに、ズーム中のマニュアルフォーカスにも対応しました。

2. 167万画素、1/3型3CCDシステム採用

総画素数約167万画素、有効1440×1080画素の1/3型CCDシステムを採用し、HDV規格最高レベルの水平解像度800TV本を実現しました。

3. HD高画質を実現するキヤノン映像エンジン「DIGIC DV Ⅱ」搭載

キヤノンの画創りのノウハウと先進のデジタル処理技術を集約した映像エンジン「DIGIC DV Ⅱ」を搭載することで、HDの豊富な情報量に対応し、優れた色再現と豊な階調性を実現しました。

制作意図に応える表現力

4. HDV1080/24p、30pのネイティブ記録に対応（48）

HDV規格に準拠したHDV1080/24p、HDV1080/30pのネイティブ記録に対応した24F、30F撮影モードを搭載。番組、CM、映画、PVなど、さまざまなニーズに対応します。

5. さまざまなプロニーズに応えるカスタムプリセット（画質調整機能）（103）

ガンマやカラーマトリクス調整など23項目の画質調整が可能なカスタムプリセット機能により、制作意図に応じた自由な画作りが実現できます。

業務用途に対応する拡張性

6. XH G1s HD/SD-SDI出力端子を搭載、エンベデッドオーディオ/TC（LTC）対応（52, 60）

XH G1Sは、カメラスルーの非圧縮出力に対応したHD/SD-SDI出力端子を搭載し、さらにエンベデッドオーディオやTC（LTC）にも対応しました。また、SDI出力に画面表示（OSD）を重畳することもできます。

7. XH G1s GENLOCK端子とTIME CODE入出力端子を搭載（52）

XH G1Sは、GENLOCK端子とTIME CODE端子を搭載し、マルチカメラの運用が可能。HDモード時にSD信号で同期させることもできます。

8. カスタムファンクション（112）とカスタムディスプレイ（120）

機能や操作感を撮影状況などに応じて設定できるカスタムファンクションを搭載。また画面上の表示項目もカスタマイズできます（カスタムディスプレイ）。従来機種より設定の自由度が増しました。

オーディオ

9. ファンタム電源供給（＋48V）に対応したXLR端子（2系統）搭載（📖57）

2系統のXLR端子はそれぞれ独立して入力レベルを設定可能。また、内蔵マイクとXLR入力を同時に使用することもできます。さらに、オーディオリミッターの搭載により、録音レベルのマニュアル調整時においても大音量による歪を防止できます。

10. 外部マイクホルダーに防振構造を採用

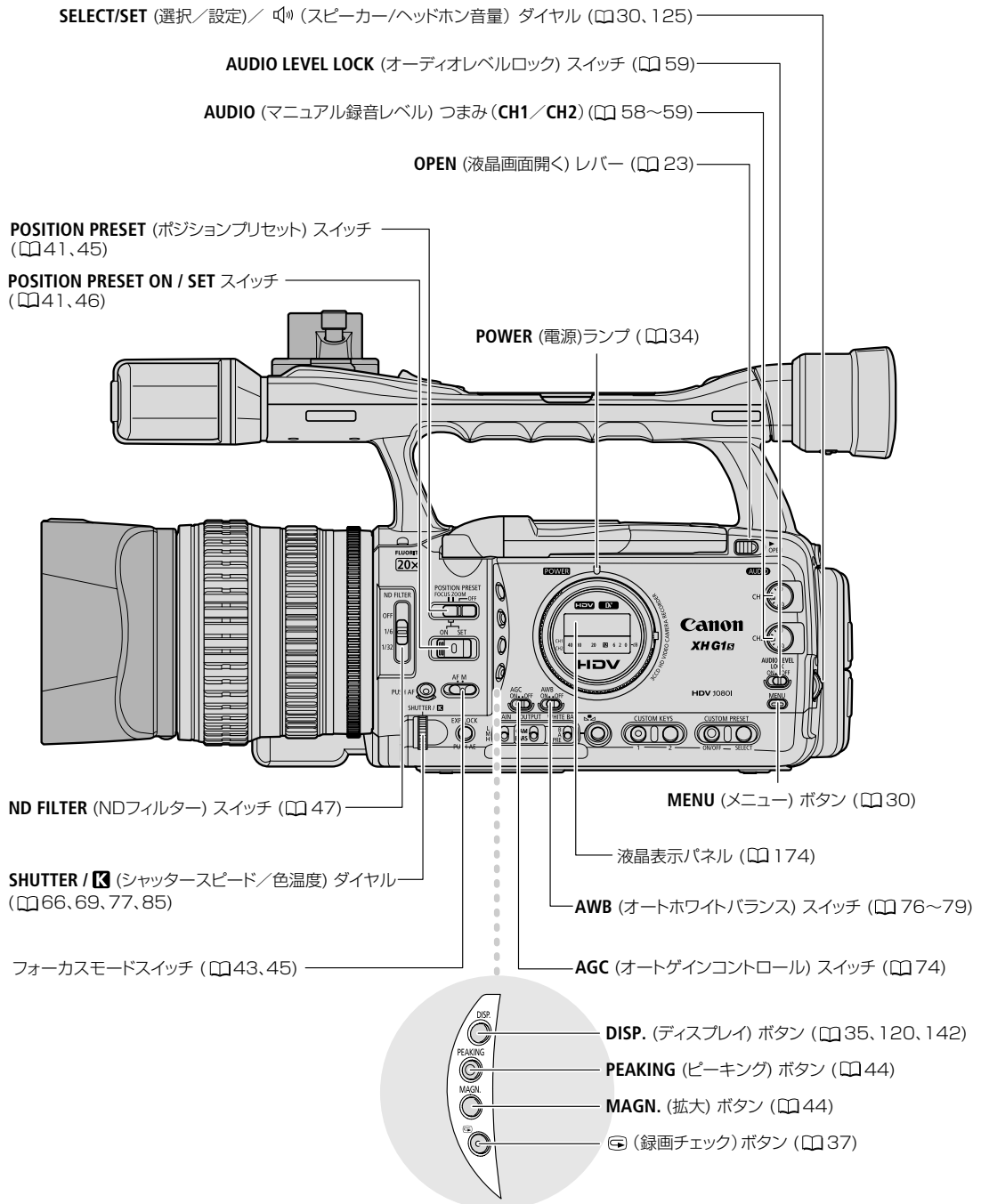
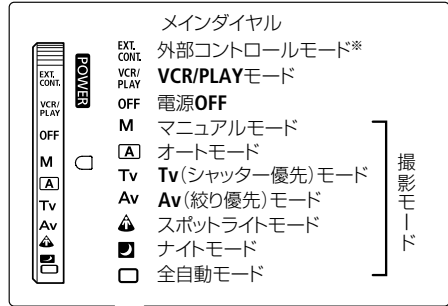
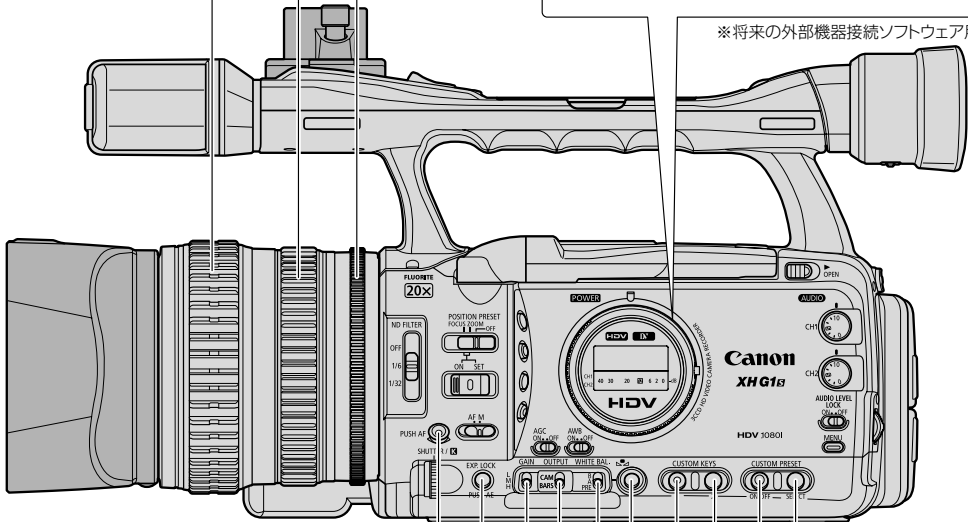
ハンドルと外部マイクホルダーの間をゴム部材にすることにより、振動によるノイズを低減しました。

その他の新機能

・ マニュアルモード撮影時に一時的にAE動作が可能な「プッシュAE」（📖67）。
・ 0.5dB刻みでゲインを調整できる「ゲインファインチューニング」（📖75）。
・ マクロ撮影に対応するフォーカスリミット機能（📖46）。
・ ズーム操作中のマニュアルフォーカスに対応（📖44）。
・ ズームスピードやズームリングのレスポンスを切り換えて操作性をカスタマイズ可能（📖117）。
・「セレクティブNR」で狙った色領域のノイズを低減し、クロマキー合成の画質向上（📖84）。
・「CVF調整」、「LCD調整」、「カラーコレクション」、「スキンディテール」の設定値の数値化（📖23、81、83）。
・ MAGNIFYING動画記録に対応（📖45）。
・ コンポジットビデオのA/V1端子（ミニジャック）とVIDEO 2端子（BNC）からの同時出力（📖93）。
・ オーディオライン出力レベルの切り換え（1Vrms、2Vrms）（📖96）。
・ −18dBのオーディオテストトーンに対応（📖89）。
・ 画面内の情報表示エリアを従来より拡大。
・ 大型アイカップを付属（📖22）。
・ 外部ファインダー用のコンポーネント出力（D1）端子を搭載（📖90）。
・ 6pinの HDV/DV端子を搭載。
・ 端子カバーを小分割（着脱可能）（📖26）。
・ 大ネジ(3/8インチ)の三脚用に三脚ベースを付属（📖15）。

各部の名称

📖は使いかたが書いてあるページです。　＊は XH G1s のみです。

■ 本　体

メインダイヤル
EXT. CONT. 外部コントロールモード※
VCR/PLAY VCR/PLAYモード
OFF 電源OFF
M マニュアルモード
A オートモード
Tv Tv（シャッター優先）モード
Av Av（絞り優先）モード
スポットライトモード
ナイトモード
全自動モード
撮影モード
※将来の外部機器接続ソフトウェア用
POWER
絞りリング（66、70、72）
ズームリング（40）
フォーカスリング（43、45）
PUSH AF（プッシュAF）ボタン（42）
EXP. LOCK/PUSH AE（露出ロック／プッシュAE）ボタン（67、72）
GAIN（ゲイン）スイッチ（74）
OUTPUT（アウトプット）スイッチ（89）
WHITE BAL.（ホワイトバランス）スイッチ（76～79）
（ホワイトバランスセット）ボタン（77、79）
CUSTOM KEYS（カスタムキー）ボタン（86）
CUSTOM PRESET ON/OFF（カスタムプリセット入／切）ボタン（106）
CUSTOM PRESET SELECT（カスタムプリセット選択）ボタン（105）
Canon
XH G1S
HDV
HDV 1080i
FLUORITE
20×

各部の名称（つづき）

AUDIO LEVEL（オーディオレベル）スイッチ（CH1／CH2）（🕮 58）
XLR MIC ATT.（XLRマイクアッテネーター）スイッチ（CH1／CH2）（🕮 57）
ZOOM SPEED（ズームスピード）切換スイッチ(🕮 40)
／ （テープ／カード）切換スイッチ（🕮 34、124、133、140）
MIC（外部マイク）端子（🕮 25、56）
XLR MIC ATT.
AUDIO LEVEL
CH1
ATT. OFF
CH2
A M
VIDEO 2
HD/SD SDI
GEN-LOCK
TIME CODE
ZOOM SPEED
VAR
レンズフード（🕮 26）
VIDEO 2（ビデオ2）端子（🕮 90）
レンズフード固定ネジ（🕮 26）
HD/SD SDI 端子*（🕮 90）
GENLOCK 端子*（🕮 52）
TIME CODE 端子*（🕮 52）
カセットホルダーカバー（🕮 28）
XLR端子（CH1／CH2）（🕮 25、57）
+48V
ON OFF
+48Vスイッチ（CH1／CH2）（🕮 57）
TIME CODE
OUT
IN
TIME CODE（タイムコード）スイッチ*（🕮 53）

** 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。ネジ長が5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。三脚ネジの径が3/8インチの三脚を使用する場合は、付属の三脚ベースを取り付けてから、三脚を取り付けてください。

***** マークについて**

は、LANC [Local Application Control Bus System （ローカル・アプリケーション・コントロール・バス・システム）]リモート端子のマークです。LANCリモート端子とは、ビデオ機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

❍ マークが表示されている機器と接続してください。
❍ LANCリモート端子で接続した周辺機器の操作ボタンの中には、動作しないもの、本機の動作と異なるものがあります。
❍ マークが表示されていない機器と接続した場合の動作については保証致しかねます。

各部の名称（つづき）

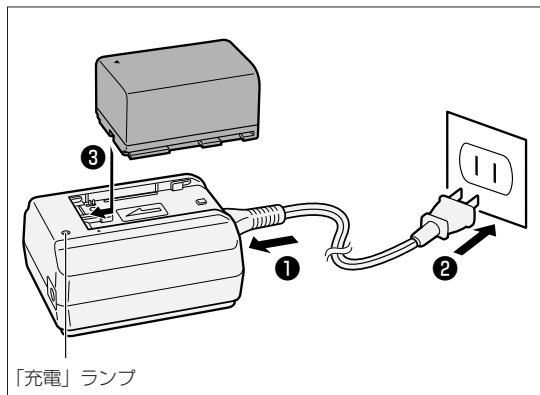
内蔵マイク（🕮 55）
ストラップ取り付け部（🕮 25）
ホットシュー（🕮 139）
ハンドルズームボタン（🕮 40）
液晶画面（🕮 23）
LOCK（ロック）スイッチ（🕮 34）
START/STOP（スタート／ストップ）ボタン（🕮 34）
PHOTO/MAGN.（フォト／拡大）ボタン（🕮 118、133）
グリップズームボタン（🕮 40）
OPEN/EJECT（カセット取り出し）スイッチ（🕮 28）
PHOTO/MAGN.（フォト／拡大）ボタン（🕮 118、133）
ズームスピード設定ダイヤル（🕮 40）
ストラップ取り付け部（🕮 25）
RESET（リセット）ボタン（🕮 186）
スピーカー（🕮 125）
MIC ATT.（マイクアッテネーター）スイッチ（🕮 56）
END SEARCH（エンドサーチ）ボタン（🕮 39）
WHITE BAL. PRESET（ホワイトバランスプリセット）スイッチ（🕮 76）
❚❚（一時停止）ボタン（🕮 124）
DRIVE MODE（ドライブモード）ボタン（🕮 136）
■（停止）ボタン（🕮 124）
測光ボタン（🕮 138）
◀◀（巻き戻し）ボタン（🕮 124）
カード − ボタン（🕮 140）
▶（再生）ボタン（🕮 124）
SLIDESHOW（スライドショー）ボタン（🕮 141）
▶▶（早送り）ボタン（🕮 124）
カード ＋ ボタン（🕮 140）
●（録画）ボタン（🕮 99）

■ リモコン　WL-D5000（ 27）

電源の準備

バッテリーパックは、充電してから使います。

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずします（📖 178）。
バッテリーパックを充電するときは、電源カプラーをコンパクトパワーアダプターからはずしてください。

❶ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❷ 電源プラグをコンセントに差し込む

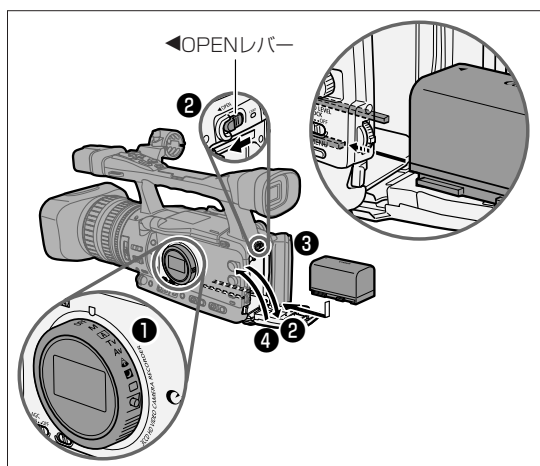
❸ バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながら、カチッと音がするまで、スライドさせる

充電ランプが点滅し、充電が始まります。
充電が終わると、充電ランプが点灯します。

❹ スライドさせてバッテリーパックを取りはずす

❺ 電源プラグをコンセントから抜く

❻ 電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

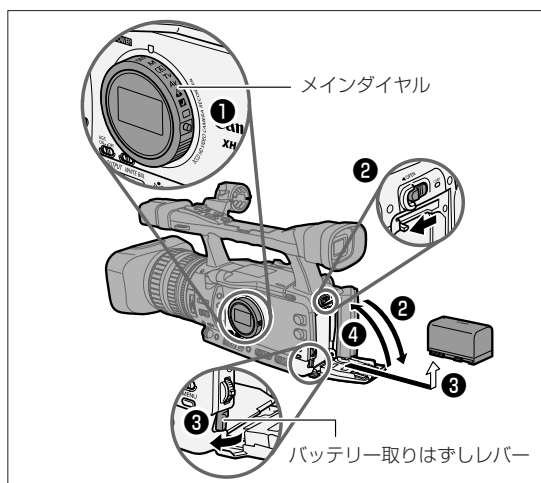
バッテリーパックを取り付ける

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ ◀OPEN（バッテリー/カードケース開く）レバーを◀OPENの方向にスライドさせてバッテリーケースをあける

❸ バッテリーパックを図の方向で入れる

カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

❹ バッテリーケースを閉める

バッテリーパックを取りはずす

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ ◀OPENレバーを◀OPENの方向にスライドさせてバッテリーケースをあける

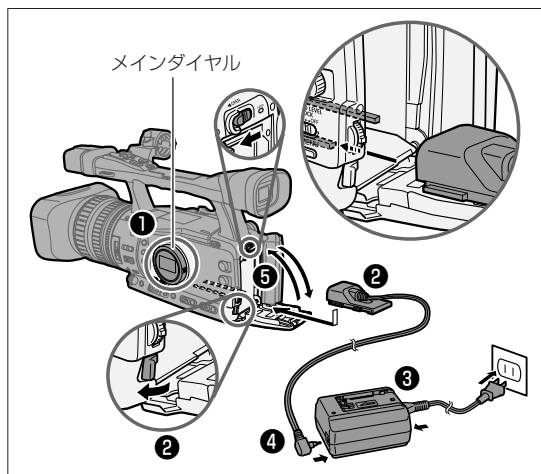
❸ バッテリー取りはずしレバーを左へ押し、バッテリーパックを手前に引き出す

❹ バッテリーケースを閉める

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーパックの残量を気にせずに使用できます。

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ 電源カプラーを図の方向で入れる

カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。電源カプラーをはずすときは、図のレバーを左へ押して、手前に引き出します。

❸ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む

❹ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターに接続する

❺ バッテリーケースを閉める

内蔵リチウム2次電池について

本機は、リチウム2次電池を内蔵していて、日付などの設定が保持されます。この内蔵のリチウム2次電池は、本機を使っている間に充電されますが、使用時間が短いと少しずつ放電され、本機を使わない期間が3ヶ月くらい過ぎると、完全に放電してしまいます。その場合は、リチウム2次電池を充電してください。充電するときは、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、24時間放置してください（メインダイヤルは「OFF」）。

❍ バッテリーパックを充電するときは、電源カプラーをコンパクトパワーアダプターからはずしてください。
❍ コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
❍ テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用すると、テレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。
❍ コンパクトパワーアダプターに指定された製品以外を接続しないでください。

次のページへ

電源の準備…つづき

- ❍ コンパクトパワーアダプター、バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが消灯になり、充電を中止します。
- ❍ ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。
  0〜50%　　：約1秒間隔で1回ずつ点滅
  50%〜75%：約1秒間隔で2回ずつ点滅
  75%以上　：約1秒間隔で3回ずつ点滅
  100%　　　：点灯
- ❍ バッテリーパックの充電時間とフル充電したバッテリーパックの使用時間は、次のとおりです。

バッテリーパック	BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
コンパクトパワーアダプターCA-920での充電時間	約145分	約220分	約235分	約320分

XH G1s

HDV 撮影時間と再生時間			BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
連続撮影時間	ファインダー使用時	標準	約150分	約220分	約315分	約430分
		明るい	約145分	約215分	約305分	約430分
	液晶画面使用時	標準	約145分	約215分	約305分	約430分
		明るい	約140分	約210分	約295分	約420分
実撮影時間*	ファインダー使用時	標準	約90分	約135分	約190分	約260分
		明るい	約90分	約130分	約185分	約260分
	液晶画面使用時	標準	約85分	約130分	約185分	約255分
		明るい	約85分	約125分	約175分	約245分
再生時間	液晶画面使用時	標準	約160分	約240分	約335分	約475分
DV 撮影時間と再生時間			BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
連続撮影時間	ファインダー使用時	標準	約165分	約245分	約345分	約490分
		明るい	約160分	約240分	約340分	約485分
	液晶画面使用時	標準	約160分	約240分	約335分	約475分
		明るい	約155分	約230分	約325分	約460分
実撮影時間*	ファインダー使用時	標準	約95分	約145分	約205分	約295分
		明るい	約95分	約145分	約205分	約295分
	液晶画面使用時	標準	約95分	約140分	約200分	約275分
		明るい	約90分	約140分	約195分	約280分
再生時間	液晶画面使用時	標準	約175分	約265分	約370分	約530分

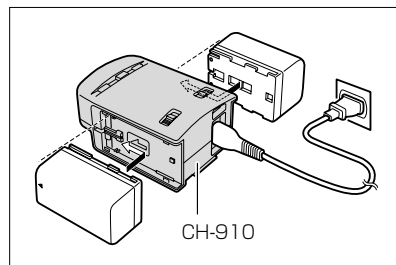
XH A1s

HDV 撮影時間と再生時間			BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
連続撮影時間	ファインダー使用時	標準	約155分	約230分	約325分	約465分
		明るい	約155分	約230分	約325分	約460分
	液晶画面使用時	標準	約150分	約225分	約315分	約445分
		明るい	約145分	約215分	約305分	約430分
実撮影時間*	ファインダー使用時	標準	約95分	約140分	約200分	約285分
		明るい	約95分	約140分	約200分	約285分
	液晶画面使用時	標準	約90分	約140分	約195分	約275分
		明るい	約90分	約135分	約190分	約260分
再生時間	液晶画面使用時	標準	約165分	約250分	約350分	約505分

DV 撮影時間と再生時間			BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
連続撮影時間	ファインダー使用時	標準	約170分	約255分	約360分	約515分
		明るい	約170分	約255分	約355分	約510分
	液晶画面使用時	標準	約165分	約245分	約350分	約495分
		明るい	約160分	約240分	約335分	約485分
実撮影時間*	ファインダー使用時	標準	約105分	約155分	約225分	約315分
		明るい	約105分	約155分	約220分	約315分
	液晶画面使用時	標準	約100分	約150分	約215分	約305分
		明るい	約95分	約145分	約205分	約295分
再生時間	液晶画面使用時	標準	約185分	約275分	約390分	約565分

* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作をくり返したときの撮影時間の目安です。
  実際には、これよりも短くなることがあります。

❍ 10℃～30℃の範囲で充電することをおすすめします。
❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。
❍ 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。
❍ 別売のデュアルバッテリーチャージャー/ホルダーCH-910では2個のバッテリーパックを連続充電できます。また、充電したバッテリーパックを装着（2個まで）することにより、本機への給電ができ、しかも本機の電源を入れたままバッテリーパックを交換できます。

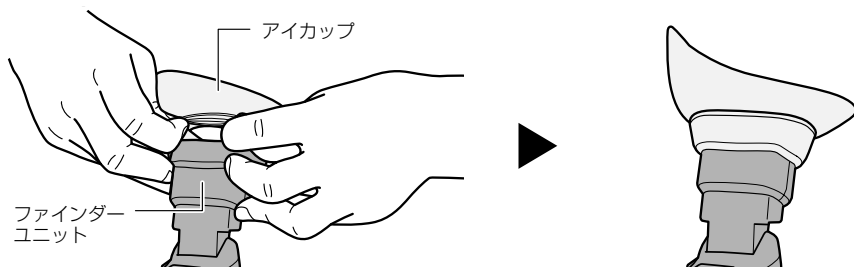
バッテリーパック	充電時間
BP-950G	約280分
BP-970G	約380分

❍ **バッテリーパックは、予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください。**
ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。撮影時には、予定撮影時間の2～3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

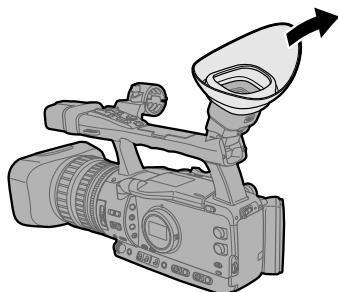
カメラの準備

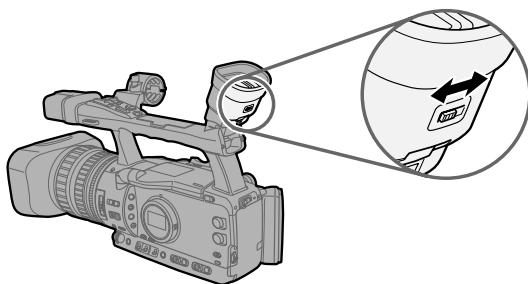
アイカップを取り付ける／取りはずす

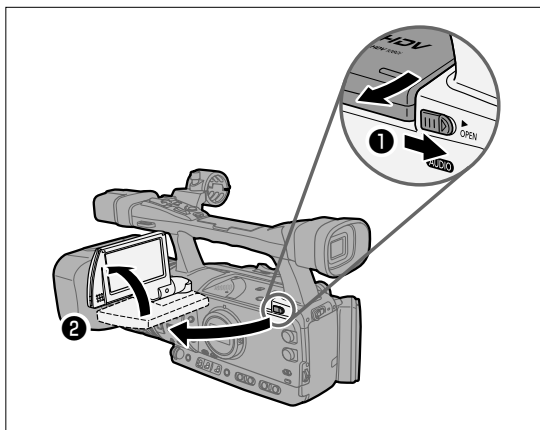
取り付ける

ファインダーユニットのゴム部分にアイカップを被せるようにして取り付ける

アイカップを取り付けても視度調整レバーは隠れません。左目で見る場合はアイカップを逆向きに取り付けます。

取りはずす

側面を持って、アイカップをはずす

ファインダーの視度を調整する

電源を入れ、ファインダーの表示がはっきり見えるように視度調整レバーを動かして調整します。

直射日光がファインダー内に入らないようにしてください。レンズが光を集めるために、ファインダー内の液晶部が損傷することがあります。特にストラップや三脚を使用しているときや持ち運ぶときはご注意ください。このような場合はファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

液晶画面を使う

❶ OPENレバーを▶OPENの方向に動かす

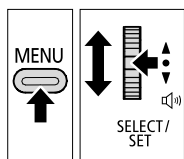
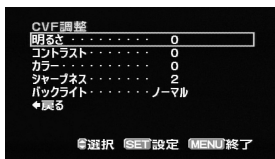
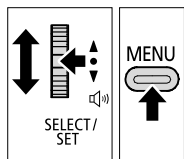
❷ 液晶画面を手前に引き出し、見やすい位置まで回転させる

❍ 液晶画面をモノクロにしたいときは24ページをご覧ください。
❍ 液晶画面を使用しているときは、ファインダーには映像は表示されません。液晶画面とファインダーを両方同時に使用することもできます（📖24）。

ファインダー/液晶画面を調整する

TAPE	CARD

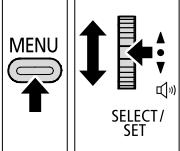
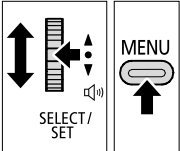
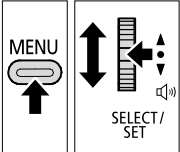
VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

ファインダーと液晶画面の明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスは標準に、バックライトは「ノーマル」（コンパクトパワーアダプター使用時は「明るい」）に調整されていますが、必要に応じて調整できます。ファインダーと液晶画面の明るさ、コントラスト、カラー、シャープネス、バックライトの各調整と撮影する映像とは関係がありません。

❶ MENUボタンを押す
❷「表示設定」➤「CVF調整」または「LCD調整」を選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して「CVF調整」（ファインダー）または「LCD調整」（液晶画面）を選び、ダイヤルを押して設定します。

❸「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「バックライト」から調整する項目を選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

❹ SELECT/SETダイヤルを回して調整する
❺ SELECT/SETダイヤルを押すと、調整項目を選ぶ画面に戻ります。
❻ MENUボタンを押す

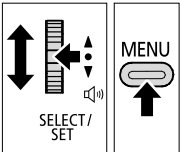
次のページへ

ファインダーと液晶画面を同時に使用する

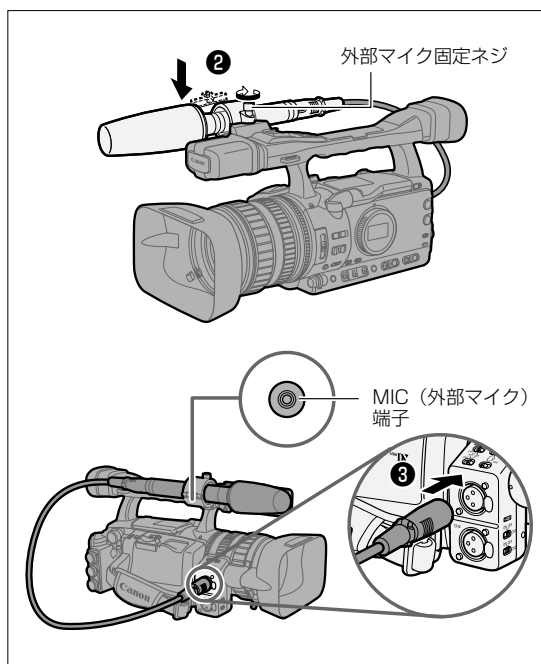
TAPE | CARD　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

液晶画面を使用しているときは、ファインダーには映像は表示されません。両方同時に使用したいときは、つぎのように設定します。

❶ MENUボタンを押す
❷「表示設定」➤「CVF+LCD ON」を選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して「CVF+LCD ON」を選び、ダイヤルを押す。

❸ SELECT/SETダイヤルを回して「入」を選び、ダイヤルを押す。
❹ MENUボタンを押す

ファインダーと液晶画面をモノクロ表示にする

TAPE | CARD　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

ファインダーと液晶表示はカラー表示ですが、これらをモノクロ表示に変更することができます。

❶ MENUボタンを押す
❷「表示設定」➤「CVF+LCD BW」を選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して「CVF+LCD BW」を選び、ダイヤルを押す。

❸ SELECT/SETダイヤルを回して「入」を選び、ダイヤルを押す。
❹ MENUボタンを押す

マイクの取り付け

❶ 外部マイク固定ネジをゆるめ、外部マイクホルダーを開く

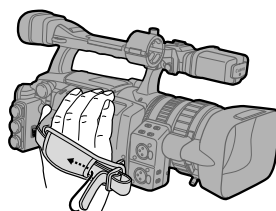
❷ 外部マイクを取り付け、固定する

❸ 外部マイクのケーブルをXLR端子またはMIC（外部マイク）端子に接続する（📖56、57）

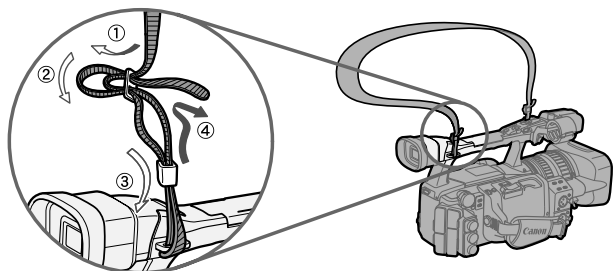
❍ 直径が25mm以下のマイクを取り付けられます。
❍ 径の細いマイクを取り付けるときに、しっかりと固定できない場合は、付属の外部マイク固定用シートをマイクに巻いてから取り付けてください。

グリップベルトの調節

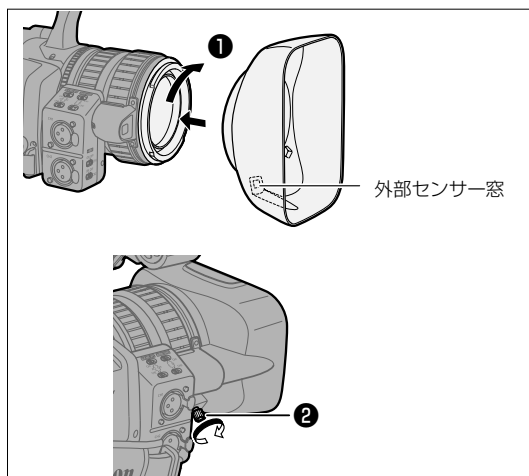
親指がSTART/STOPボタンに、人さし指と中指がズームボタンに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

ストラップの付けかた

落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

次のページへ

カメラの準備…つづき

レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどに効果的です。

❶ **フードの外部センサー窓が下になるようにしてレンズ先端部にフードをはめ込み、時計方向に回す**

- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取りはずしにくくなります。

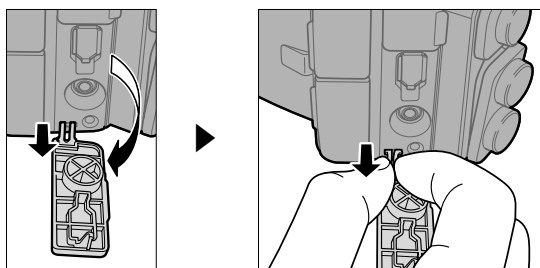
レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付けてください。

❷ **固定ネジでフードを固定する**

端子カバーを取りはずす／取り付ける

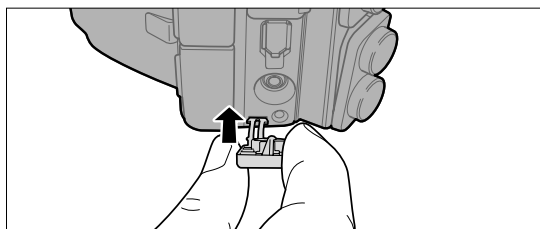
次の端子カバーは取りはずせます。

HD/SD SDI端子カバー（XH G1s）、GENLOCK／TIME CODE端子カバー（XH G1s）、コンポーネント端子カバー、AV端子カバー、HDV/DV／ヘッドホン端子カバー、VIDEO 2端子カバー

取りはずす

❶ **端子カバーを開けて、引き出す**

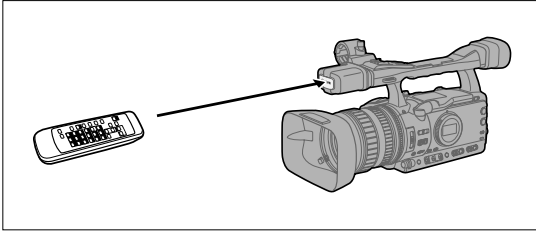
❷ **端子カバーの取り付け部を左右からつかみ、引き出す**

- HD/SD SDI端子カバーとVIDEO 2端子カバーの場合は、そのまままっすぐに引き出してください。

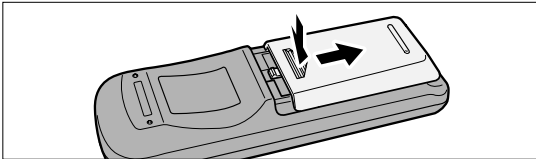
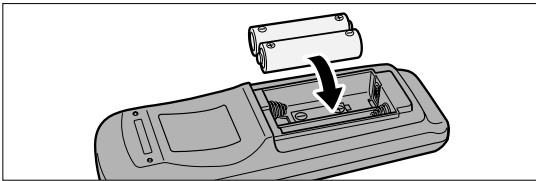
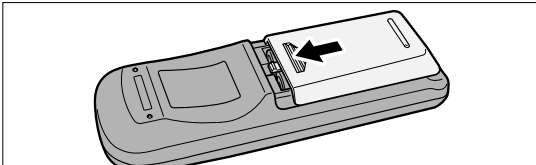
取り付ける

端子カバーの取り付け部を取り付け口に差し込む

取りはずし／取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくい場合は、ピンセットなど先の細いものを使用してください。

リモコン

リモコンの操作のしかた

リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

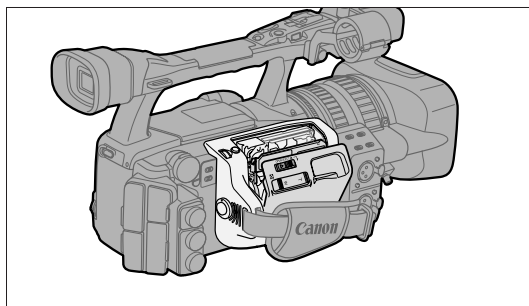
電池の入れかた

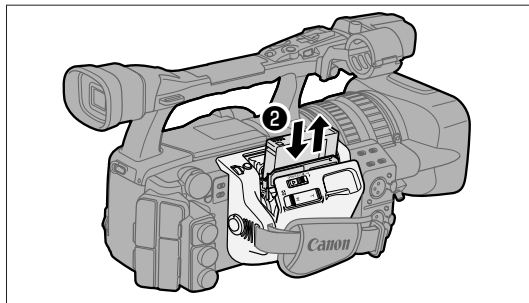
リモコンは、2本の単3乾電池で動作します。

❶ 電池カバーを押しながら取りはずす

❷ ⊕、⊖を表示に合わせて正しく入れる

❸ 電池カバーを取り付ける

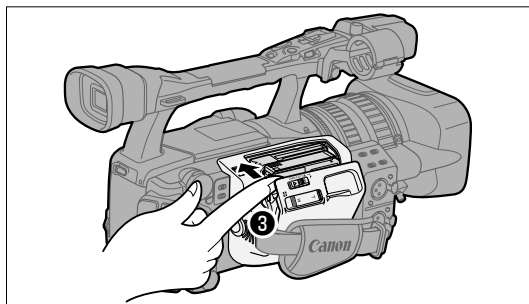
- ❍ 本機には2種類のリモコンコードがあります。リモコンで操作できないときは、必ず本体のリモコンコードを確認してください。電池を交換すると、リモコンコードは「設定1」に戻ります（📖 130）。
- ❍ リモコンのボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。**2本とも、新しい電池をお使いください。**
- ❍ リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

カセットを入れる／出す

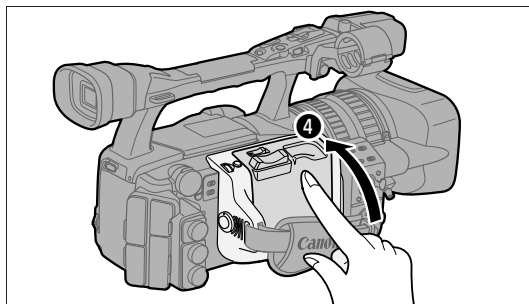
ビデオカセットはMiniDVマークの付いたものをお使いください。
● HDV記録用には、HDV対応テープの使用をおすすめします。

カセットを入れる／出す

❶ カセット取り出しスイッチをスライドさせ、カセットホルダーカバーを手前に引く

● カセットホルダーが自動的に開く。

❷ カセットをまっすぐ奥まで入れる／出す

● カセットの透明な窓を外側に向けて、誤消去防止ツマミのある面を上にして入れる。
● カセットを出すときは、カセットホルダーからまっすぐに引き抜く。

❸ PUSHを押してカセットホルダーを閉じる

● カセットホルダーが下方に収納される。

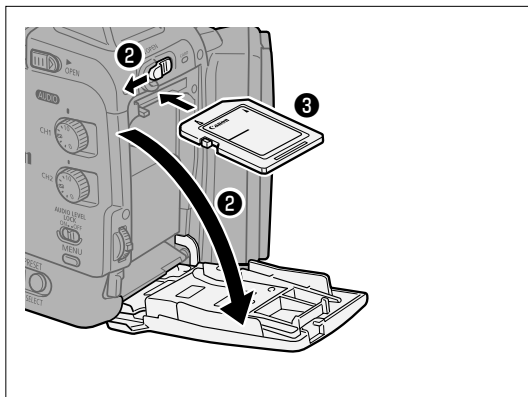
カセットホルダーが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたりしないでください。故障の原因となります。

❹ カセットホルダーカバーを閉じる

カセットホルダーカバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、メインダイヤルが「OFF」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。

カードを入れる／出す

本機は、SDメモリーカード（ ）、SDHCメモリーカード（ ）、とマルチメディアカード専用です。

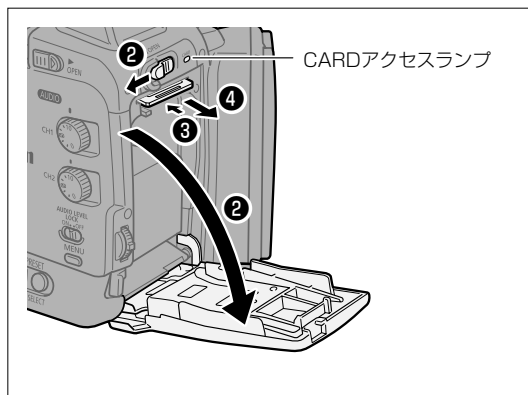
カードの入れかた

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ ◀OPEN（バッテリー/カードケース開く）レバーを◀OPENの方向にスライドさせてバッテリーケースを開ける

❸ カードを奥までしっかり入れる

❹ バッテリーケースを閉じる
- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じないでください。

カードの出しかた

カードを抜くときは、無理に引き出さないで、必ず❸の操作を行ってください。

❶ メインダイヤルを「OFF」にする
- CARDアクセスランプが消えていることを確認してください。

❷ ◀OPENレバーを◀OPENの方向にスライドさせてバッテリーケースを開ける

❸ カードの端を押す
- カードが少し出てきます。

❹ カードを抜く

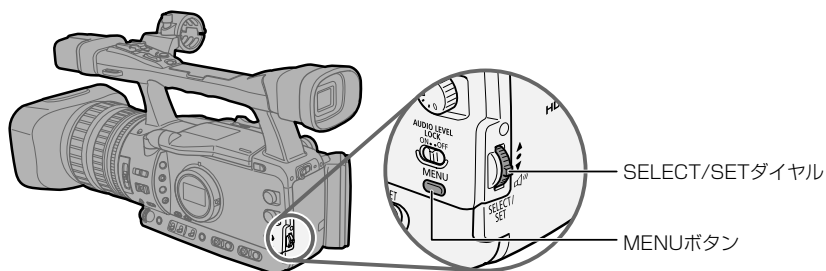
❺ バッテリーケースを閉じる

❍ 付属のカード以外のカードを使用する際には、本機で初期化してください（📖 145）。
❍ カードの出し入れは、ビデオカメラの電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。

❍ SDメモリーカード/SDHCメモリーカードには、誤消去防止ツマミが付いています。誤消去防止ツマミがロック状態のときは記録や消去ができません。
❍ すべてのカードの動作を保証するものではありません。

誤消去防止ツマミ

メニューで設定を変える

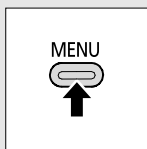
メニュー項目は、メニュー一覧（🕮 148）をご覧ください。

メニュー画面下部の縁どりされている表示は、本体のボタンやダイヤルを表しています。

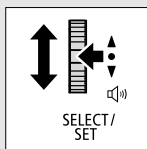
選択	SELECT/SETダイヤルを回して、設定内容を選択します。
SET 設定	SELECT/SETダイヤルを押して、設定します。
SET 戻り	SELECT/SETダイヤルを押して、前のメニューに戻ります。
SET 次	SELECT/SETダイヤルを押して、次の項目に進みます。
MENU 終了	MENUボタンを押して、メニューを終了します。

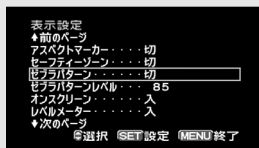
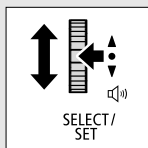
本体でのボタン操作をリモコンで行う場合は、つぎのようにします。

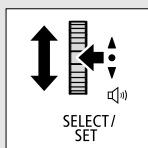
本体	リモコン
SELECT/SETダイヤルを上に回す	▲ボタンを押す
SELECT/SETダイヤルを下に回す	▼ボタンを押す
SELECT/SETダイヤルを押す	SETボタンを押す

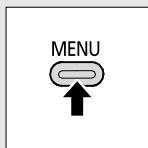
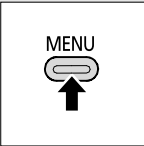
ここでは、カメラモードのときに、本体のボタンやダイヤルで操作する場合で説明しています。
例：「ゼブラパターン」を「入」にする

1 MENUボタンを押す

- メインメニューが出ます。

2 項目を選ぶ

① SELECT/SETダイヤルを回して、設定する項目に選択枠を合わせます。
② SELECT/SETダイヤルを押すと、選んだ項目のサブメニューが出ます。

3 機能を選ぶ

① SELECT/SETダイヤルを回して、設定する機能に選択枠を合わせます。
② SELECT/SETダイヤルを押すと、選んだ機能だけの表示になります。

4 設定内容を選び、設定する

① SELECT/SETダイヤルを回して、設定する設定内容に選択枠を合わせます。
② SELECT/SETダイヤルを押すと、サブメニューに戻ります。

5 MENUボタンを押す

● メニューが消えます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない項目は、グレーで表示されます。
❍ MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

日時を設定する

はじめてお使いになる場合や、内蔵リチウム2次電池が放電した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」の表示が出ます。日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定してください。

世界時計のエリアを選ぶ

1 MENUボタンを押す

- メニューが出ます。

2 「システム設定」を選ぶ

① SELECT/SETダイヤルを回して、選択枠を「システム設定」に合わせます。
② SELECT/SETダイヤルを押すと、「システム設定」サブメニューが出ます。

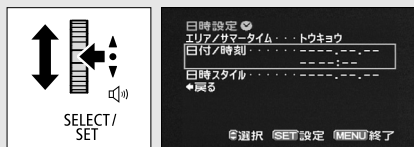
3 「日時設定」を選ぶ

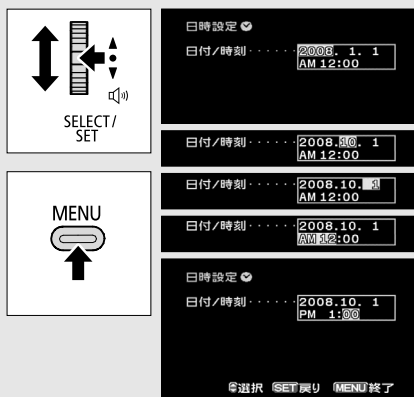
① SELECT/SETダイヤルを回して、選択枠を「日時設定」に合わせます。
② SELECT/SETダイヤルを押すと、日時設定サブメニューが出ます。
③ SELECT/SETダイヤルを回して、選択枠を「エリア/サマータイム」に合わせます。
④ SELECT/SETダイヤルを押すと、「エリア/サマータイム」だけの表示になります。
- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

⑤ SELECT/SETダイヤルを回して、エリアとサマータイムの有無を選びます。
⑥ SELECT/SETダイヤルを押すと、「日時設定」サブメニューに戻ります。

日付／時刻を設定する

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

4 「日付／時刻」を選ぶ

① SELECT/SETダイヤルを回して、選択枠を「日付/時刻」に合わせます。
② SELECT/SETダイヤルを押すと、「日付/時刻」だけの表示になります。

5 日付と時刻を設定する

例：2008年10月1日午後1時00分に設定する

① SELECT/SETダイヤルを回して、数字を選びます。
② SELECT/SETダイヤルを押して、数字を確定します。次の項目が点滅します。
押すたびに、年→月→日→時→分と項目が変わります。

①と②の操作をくり返して設定します。

③ 時報に合わせて、MENUボタンを押します。内蔵時計が動き始めます。

撮影時に日時を表示する

本機では、撮影中に現在の日時を画面の左下に表示できます。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「ガイド」➤「日時表示」を順に選ぶ
● SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

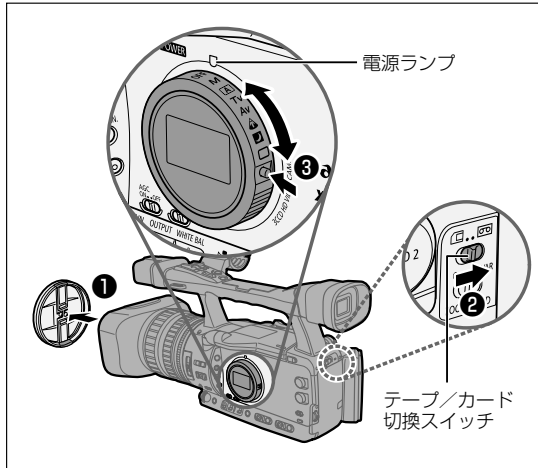
本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付／時刻の設定が解除されることがあります。その場合、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください（□ 180）。

撮影

撮影する前に
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には、市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。

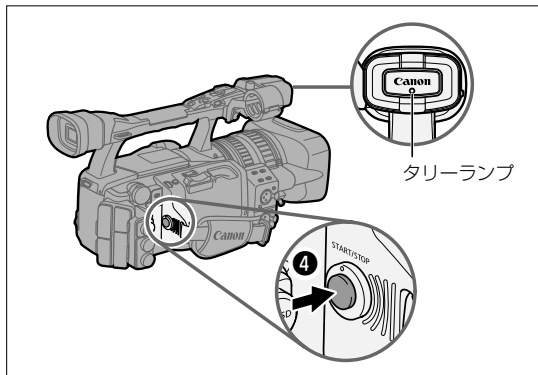
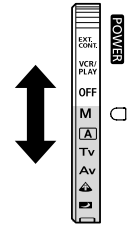
初期設定では、記録規格はHDVになっています。「音声の記録」については、55ページをご覧ください。

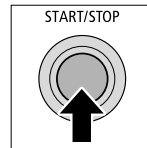
TAPE	CARD

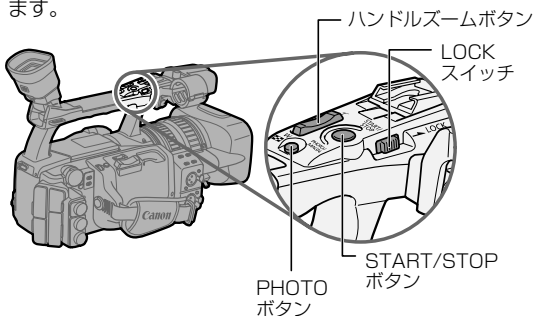
VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

❶ レンズキャップをはずす

❷ テープ/カード切換スイッチを「」にする

❸ ボタンを押しながらメインダイヤルを撮影モードにする

- 電源ランプが点灯する。
- 撮影一時停止状態になる。

❹ START/STOPボタンを押す

- 撮影が始まる。
- タリーランプが点灯し、画面に●（録画中）が表示されます。

ローアングル撮影

本機にはローアングル撮影用に、ハンドル上部にSTART/STOPボタン、ハンドルズームボタン、PHOTOボタンがあります。
LOCKスイッチを LOCK方向にスライドさせると、これらのボタンは無効になりますので誤操作を防止できます。

撮影一時停止

START/STOPボタンを押す

撮影が終わったら

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ レンズキャップを取り付ける

❸ カセットを取り出す

❹（画面が消灯したのを確認して）バッテリーパックを取りはずす

● 5分タイマー

通常、撮影一時停止が約4分30秒[*1]間続くと、テープとヘッドの保護のためVCRストップになります[*2]。さらに約30秒間本機を操作しないと、電源が切れます（バッテリーパックで使用時）。自動的に本機の電源を切りたくない場合は、「システム設定」サブメニューの「パワーセーブ」で設定をしてください（📖155）。

「パワーセーブ」が「切」の場合、カメラ部は電源が入っていますので、絞りやシャッタースピードなどカメラ部の設定をそのまま続けて行えます。この状態から撮影をするときは、START/STOPボタンを押してください。撮影一時停止にするときは、カスタムキーの「VCRストップ」ボタンを押してください（📖87）。

「パワーセーブ」で「入」を選んでいて電源が切れた場合は、メインダイヤルを一度「OFF」にしてからカメラモードに戻し、電源を入れなおしてください。

*1 低温下では3分になることがある。

*2 5分タイマー自体は解除できません。

● VCRストップ

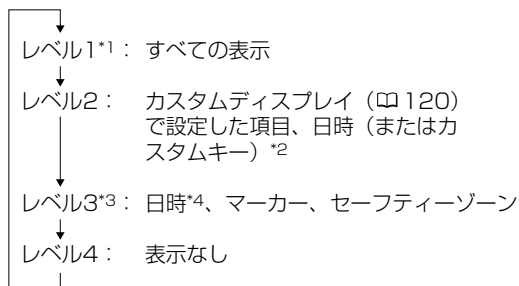
カメラメニューの「システム設定」サブメニューで、「カスタムキー 1」または「カスタムキー 2」を「VCRストップ」に設定することで、カメラ部に電源を入れたまま、レコーダー部だけを任意に停止させることができます（📖87）。

VCRストップを設定したカスタムキーを押すことで5分タイマーに制限されずに、カメラ部の設定などを行えます。

撮影するときは、カスタムキーをもう一度押して、撮影一時停止にしてください。

● DISP. ボタン

このボタンを押すたびに撮影時の画面表示が下記のように変わります。

レベル1[*1]：	すべての表示
レベル2：	カスタムディスプレイ（📖120）で設定した項目、日時（またはカスタムキー）[*2]
レベル3[*3]：	日時[*4]、マーカー、セーフティーゾーン
レベル4：	表示なし

*1 「システム設定」サブメニューの「ALL DISPLAY」を「無」にすると表示しません。

*2 カメラメニューの「表示設定」サブメニューの「ガイド」を「日時表示」に設定すると日時が表示され、「カスタムキー」にするとカスタムキーに割り当てられている内容が表示されます。

*3 日時、マーカー、セーフティーゾーンのいずれかが表示されているときのみレベル3になります。

*4 「表示設定」サブメニューの「ガイド」を「日時設定」にすると表示されます。

● 接続したモニターTVなどに出る表示も同じになります（オンスクリーン機能）。

同じテープにHDV/DV規格の撮影部分が混在していると、日付サーチ、インデックスサーチ、エンドサーチが正しく動作しないことがあります。できるだけ混在させないことをおすすめします。

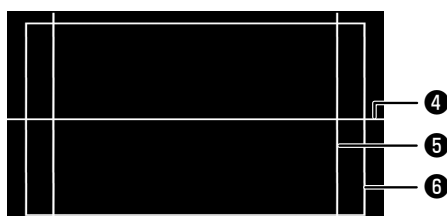
❍ カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。

❍ 長時間使用しないときは、メインダイヤルを必ず「OFF」にしてください。

❍ カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。

次のページへ

撮影…つづき

撮影中の画面表示

①タイムコード（🕮 50）

②テープ残量

テープ残量を「分」単位で表示します。
撮影中／再生中にテープが終端になると「 END」が点灯し、停止状態になります。

- 撮影時間が15秒以下のときは残量表示が出ないことがあります。
- テープの種類によっては、正しく表示されないことがありますが、テープに記載された時間分（「85分」など）の撮影ができます。

③バッテリーパックの残量表示

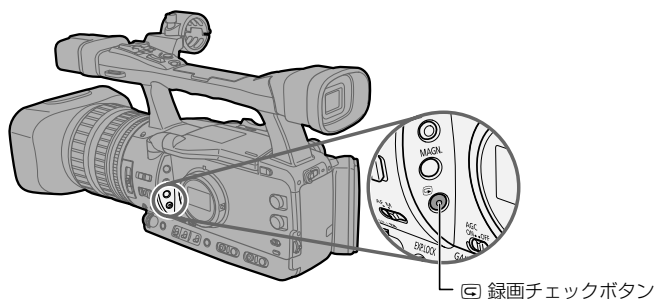
バッテリーパックの残量の目安を表示します。

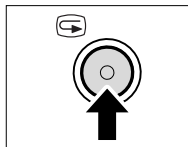
- バッテリーパックが消耗すると「 」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
- 消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「 」が出ずに切れたりすることがあります。
- 実際の残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

④⑤⑥ マーカー表示

メニューでマーカー（④)、アスペクトマーカー（⑤)、セーフティーゾーン（⑥）の表示を設定できます（🕮 153)。

テープに撮影した画像を確認する（録画チェック）

撮影した場面を再生して、撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

録画チェック

撮影一時停止中

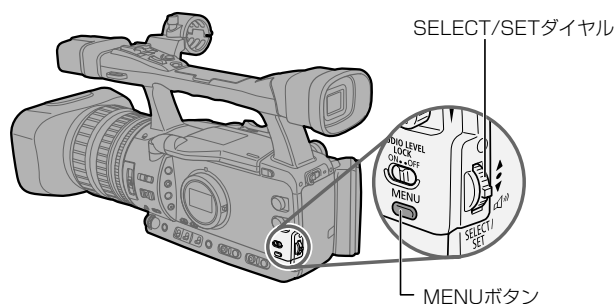
録画チェックボタンを押す

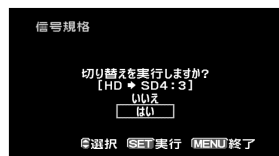
撮影した最後の場面（約3秒間）が再生され、撮影一時停止に戻ります。

現在の信号規格と、テープに記録されている信号規格が異なる場合は、映像が正しく再生されません。

信号規格とアスペクト比を選ぶ

撮影画質と画面比率を選択することができます。
HDV記録するときやHDカメラとして使用するときは「HD」に、DV記録するときやSDカメラとして使用するときは「SD16:9」または「SD4:3」に設定します。画面は16:9対応ですので、「SD4:3」にすると、映像は画面中央に表示され、左右は黒帯になります。

TAPE CARD

❶ MENUボタンを押す
❷「信号設定」➤「信号規格」を選ぶ
● SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押す。

❸ 信号規格を選ぶ。
● SELECT/SETダイヤルを回して「HD」、「SD16:9」、「SD4:3」の中から選び、ダイヤルを押す。

❹ 確認画面が出るので、「はい」を選んで、ダイヤルを押す。

❍ 設定した信号規格は画面では以下のように表示されます。

HDのとき

SD16:9のとき

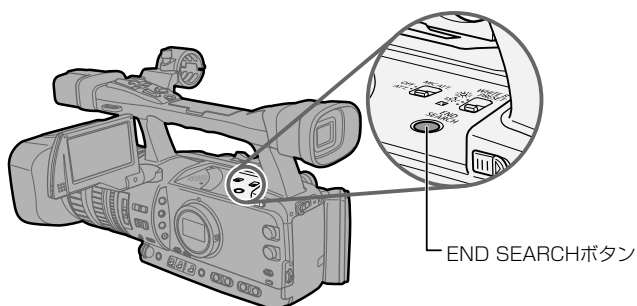
SD4:3のとき

❍ 16:9で撮影した動画を再生するとき、ビデオID-1方式対応のテレビにつなぐと、自動的にワイド画面に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側でワイド画面に切り換えてください。接続するテレビが通常のテレビ（4:3）の場合は「レターボックス出力」を「入」に設定してください（📖 94）。

エンドサーチ

最後に撮影した場面から続けて撮影したいときに使います。

TAPE	CARD

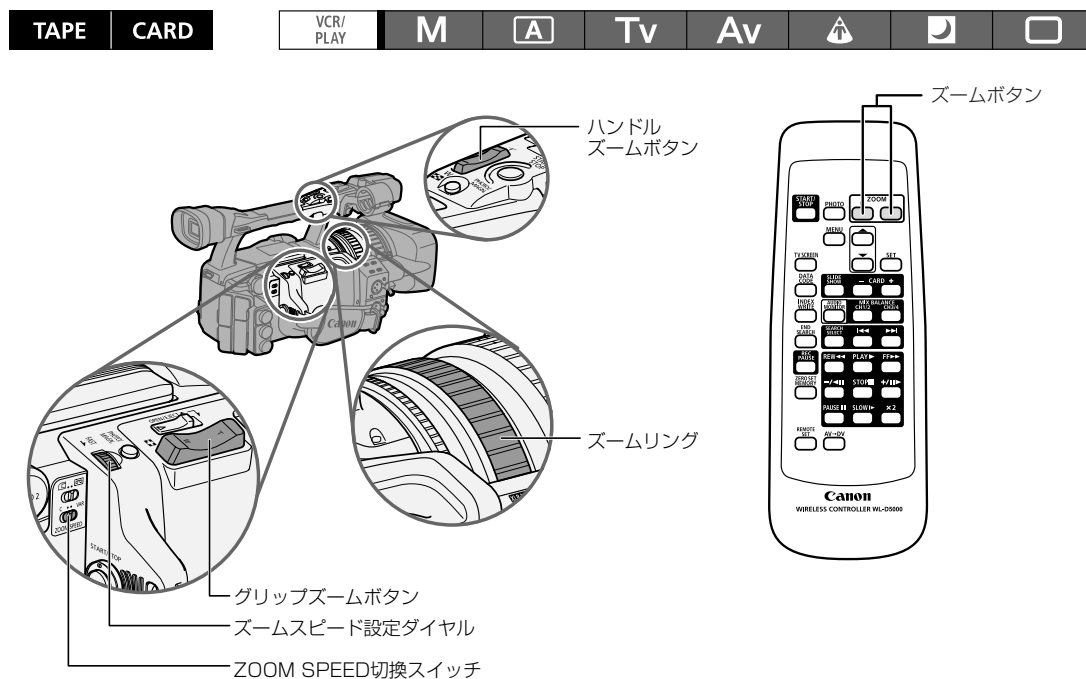
VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 END SEARCHボタンを押す

- 「➜I」の表示が出ます。
- テープが早送り／巻戻しされ、最後に撮影した場面が数秒間再生された後に停止します。
- エンドサーチ中にもう一度ボタンを押すと中止します。

❍ 一度テープを取り出すと、エンドサーチは使用できません。
❍ テープの途中に未記録部分があると、エンドサーチが正しく働かないことがあります。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の撮影部分が混在していると、エンドサーチが正しく動作しないことがあります。

ズーム

本機では、グリップ部／ハンドル部のズームボタンと、レンズのズームリング、リモコンのズームボタンでズーム操作ができます。

- ズームスピード、ズーム表示、ズームリングの操作方向／レスポンス（ノーマル/スロー/ファースト）をカスタムファンクションで設定できます（📖117）。

ズームスピードについて

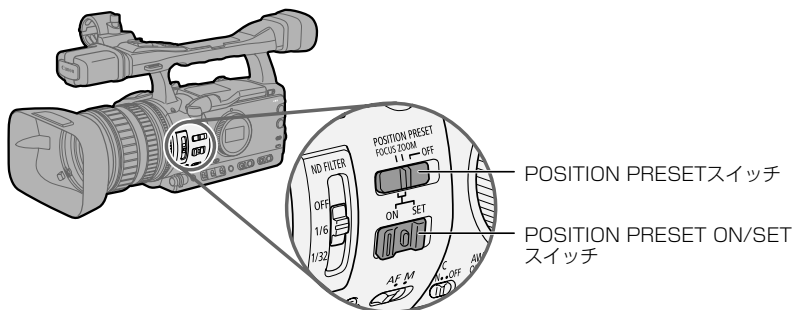
- グリップズームボタンのズームスピードは、ZOOM SPEED切換スイッチ、カスタムファンクションのZOOM SPEED設定、ズームスピードレベルの組合せで決まります。

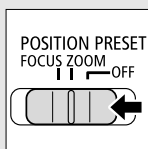
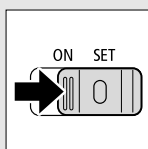
ZOOM SPEED 切換スイッチ	ズームスピードレベル（16段階）*1	カスタムファンクションのZOOM SPEED設定		
		SLOW	NORMAL*3	FAST*4
C（Constant）：定速ズーム	1速	約5分	約3分	約1分
	16速	約4.5秒	約2.9秒	約1.4秒*2
VAR（Variable）：可変速ズーム	ズームボタンの押し方により可変	約4.5秒～約5分	約2.9秒～約3分	約1.4秒*2～約1分

*1　C（Constant）の場合はズームスピード設定ダイヤルで切り換え（FAST→方向に回すと高速ズーム、逆方向に回すと低速ズーム）、VAR（Variable）の場合はズームボタンの押し方（軽く押すと低速ズーム、押し込むと高速ズーム）で切り換わる。C（Constant）の場合、ズーム表示の右にズームスピードが表示される。
*2　ズームスピードが2秒未満の場合、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがある。
*3　動画の全自動モードでは、NORMALとなる。
*4　静止画モードでは、FASTとなる。

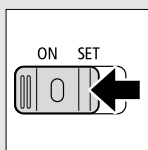
- ハンドルズームボタンは定速ズームで、グリップズームボタンの「C（Constant）」の設定のズームスピードになります。
- レンズのズームリングはゆっくり回すと低速ズームに、早く回すと高速ズームになります。
- 付属のリモコンのズームスピードは一定です。

ズームプリセット

プリセットしたズーム位置に戻ります。

ズーム位置をプリセットする

1 POSITION PRESETスイッチを「ZOOM」にする

2 ON/SETスイッチを「SET」にする

- 「SET」にしたときのズーム位置がプリセットされ、ズーム表示のプリセットした位置が黄色で表示されます。

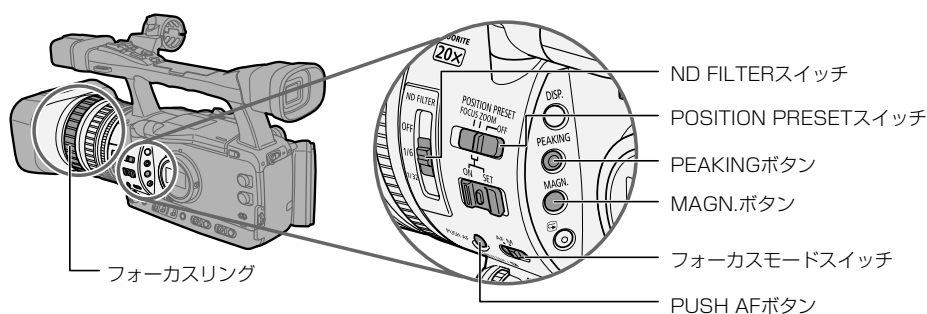
プリセットしたズーム位置に戻す

1 ON/SETスイッチを「ON」にする

- ズームがプリセットした位置に戻ります。

ZOOM SPEED切換スイッチを「C」にして設定したズームスピードで、プリセットしたズーム位置に戻ります。

フォーカス

本機のピント合わせにはオートフォーカスとマニュアルフォーカスがあります。オートフォーカスには通常のオートフォーカスとプッシュAFがあり、通常のオートフォーカスでは、メニューのカメラ設定でハイスピードAF*とノーマルAFを選択できます。
マニュアルフォーカス時のレンズのフォーカスリングの操作方向とレスポンス（ノーマル/スロー/ファースト）を、カスタムファンクションで設定できます（🕮 117）。
また、マニュアルフォーカス時にピントを合わせやすくするためのピーキング（輪郭強調）表示と拡大表示機能があります。

* ハイスピードAFはプッシュAF使用時も動作しますので、マニュアルフォーカス時にすばやくピントを合わせられます。

オートフォーカス

本機のオートフォーカスには、通常のオートフォーカスとプッシュAFの2種類があります。

❶ 通常のオートフォーカス

フォーカスモードスイッチがAFのときに機能します。
TTL方式のオートフォーカスで2cm（ワイドの端、レンズ先端から）～∞（無限遠）までの被写体に自動的にピントを合わせます。
ファインダーの中央部にある被写体にピントが合います。
オートフォーカス中でも、フォーカスリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。

AFのピントの合い方を選ぶ

ハイスピードAF：もっとも高速でAF動作を行います。高輝度、夜景などでも効果的です。外部センサーを併用します。
ノーマルAF：安定したAF動作を行います。TTL AFになりますので、ワイドコンバーター装着時に適しています。

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「AFモード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
・ 選んだAFモードが出ます。

❷ プッシュAF

マニュアルフォーカス時と、AFモードをノーマルAFに設定している時に、PUSH AFボタンを押している間だけ、ハイスピードAFが動作します。

晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込み、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が被写体が小さく撮影されるため目立ちます。カメラの警告指示に従って、NDフィルターを入／切してください。

- ❍ 別売のワイドコンバーター装着時は、撮影モードを □（全自動）以外にして、ノーマルAFを選んでください。また、PUSH AFボタンは押さないでください。
- ❍ Avモードで、被写界深度を考慮すると、より効果的に撮影できます。背景を大きくぼかして被写体を引き立たせたいときには絞り値を小さく設定します。
  被写体とその前後、または近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときには、絞り値を大きく（F8〜F9.5など）設定します。
- ❍ フレームレートを30Fまたは24Fに設定していると、60iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- ❍ 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- ❍ オートフォーカスではピントの合いにくい被写体
  - ・ 輝いたり、強い光が反射している
  - ・ 白い壁など、明暗の差がない
  - ・ 動きが速い
  - ・ 水滴や汚れのついたガラス越し
  - ・ 夜景

撮影編

マニュアルフォーカス

操作のしかた

TAPE | CARD

1 フォーカスモードスイッチをMにする

- MF 表示が出る。

2 ズームを操作してテレ端にする

3 フォーカスリングを回してピントを合わせる

- レンズのフォーカスリングの操作方向は、カスタムファンクションで設定できます（□ 117）。

4 ズームを操作して被写体を撮りたい大きさにする

- テレ端でピントを合わせておくと、そのままズーム全域でピントの合った撮影ができます。
- マニュアルフォーカス時に電源を入れた状態で放置するとピントがぼける場合があります。これはレンズおよびカメラ内部の温度上昇によりピント面がわずかに移動するためです。
  撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

次のページへ

フォーカス…つづき

- ❍ ▢（全自動）モードでは、フォーカスモードスイッチを「M」にしても、マニュアルフォーカスは選択できません。オートフォーカス（ハイスピードAF）になります。
- ❍ マニュアルフォーカス時には被写体とのフォーカス距離情報を表示します（フォーカスプリセット時も表示します）。AFからマニュアルフォーカスに切り換えたときと、フォーカスリングを操作したあと約3秒間表示します（表示のしかたは、カスタムファンクションで設定できます 🕮 118）。表示単位はメートルとフィートから選択できます。
- ❍ 距離情報は、目安としてお使いください。
  ∞－：超無限、∞：無限。距離表示の精度が低いズーム域では、グレー表示になります。
- ❍ 別売のワイドコンバーターを装着すると、正しい距離情報が表示されません。
- ❍ ズーム操作中にマニュアルフォーカス操作を行うことができます。AFモードのときは、マニュアルフォーカス後にオートフォーカスに戻ります。

フォーカスアシスト機能（ピーキング/拡大表示）

ピントを合わせやすくするためにピーキング（輪郭強調）表示と拡大表示ができます。この2つを組み合わせることでよりピントを合わせやすくなります。また、フォーカスアシスト機能使用時に、画面を自動的に白黒表示にするように、カスタムファンクションで設定できます（🕮 118）。

- VIEWFINDER COMPONENT OUT（EVF用）端子に接続したモニターには、ファインダーと同じ画面が表示されます。

ピーキング

撮影中、撮影一時停止中

1 PEAKINGボタンを押す

- 画面に PEAK 1 または PEAK 2 が表示され、輪郭が強調されます。
- ボタンを押すたびに、OFF→PEAK1→PEAK2→OFFが切り換わります。
- ピーキングの周波数とゲインは2種類まで設定できます。

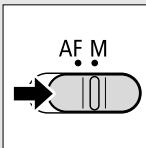
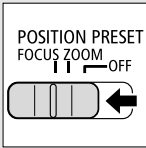
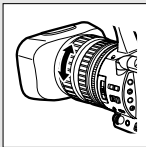
- ❍ ピーキング表示はテープやカードに記録する動画/静止画に影響しません。
- ❍ ピーキングの周波数とゲインは、「表示設定」サブメニューの「ピーキング調整」で設定できます。

拡大表示

撮影一時停止中

1 MAGN.ボタンを押す

- 画面の中心部が約2倍に拡大されます。
- もう一度MAGN.ボタンを押すと解除されます。

❍ 拡大表示は、HD/SD SDI端子（XH G1s）、HDV/DV端子にそのまま出力されます。また、拡大表示の映像をテープに記録するときは、カスタムファンクションの「CUSTOM REC」で設定します。拡大表示をテープに記録しない設定の場合や静止画をカードに記録する場合は、撮影を開始すると拡大は解除されます。
❍ MAGN.ボタンは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（□ 88）やメニュー（□ 155）で無効にできます。また、ボタンの押しかたをカスタムファンクションで設定できます（□ 117）。
❍ カスタムファンクションの「PHOTO BUTTON」で、PHOTO/MAGN.ボタンに拡大表示（MAGNIFYING）を割り当てられます。

フォーカスプリセット

プリセットしたフォーカス位置に、フォーカスを合わせます。フォーカスを合わせるスピードはメニューで選択できます。

フォーカス位置をプリセットする

TAPE　CARD

1 フォーカスモードスイッチを「M」にする

● MF表示が出る。

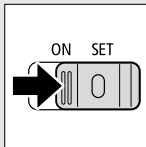
2 POSITION PRESETスイッチを「FOCUS」にする

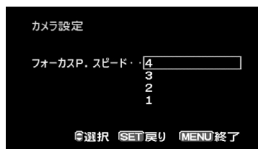
● 設定しているフォーカスP.スピード表示が出る。

3 フォーカスリングを操作して、フォーカスを合わせる

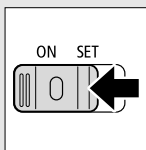
次のページへ

フォーカス…つづき

4 ON/SETスイッチを「SET」にする

● 「SET」にしたときのフォーカス位置がプリセットされ、黄色い文字に変わります。

フォーカスプリセットのスピードを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「フォーカスP.スピード」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して「4（最も速い）」から「1（最も遅い）」のいずれかを選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

プリセットしたフォーカス位置に戻る

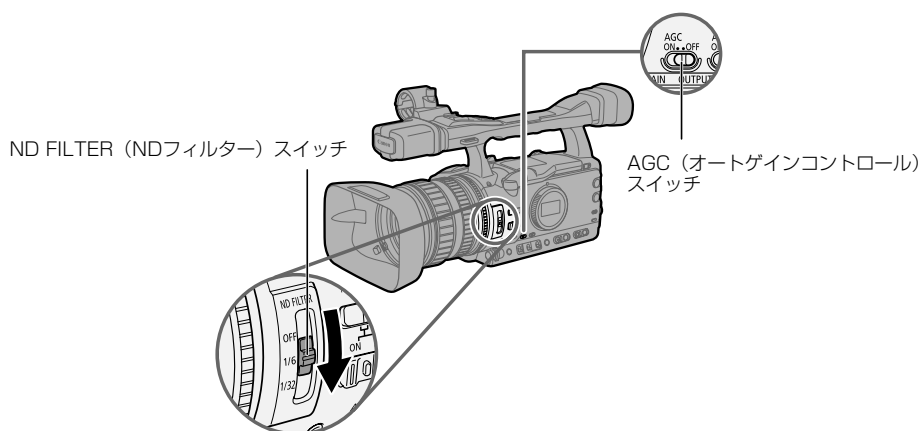
1 ON/SETスイッチを「ON」にする

● フォーカスがプリセットした位置に合って固定されます。

フォーカスリミットとマクロ撮影

フォーカスリミットを「入」にすると1m〜∞（テレ〜ワイド全域）の範囲でフォーカス操作ができます。マクロ撮影を行う場合は、フォーカスリミットを「切」にします。「切」にすると2cm（ワイド側）〜∞の範囲でマクロ領域を含むフォーカス操作ができます。

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「FOCUS LIMIT」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して「入 F.LMT 」または「切」を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

NDフィルター

晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときに、絞りが絞り込み、小絞りによるボケ*1が生じます。
このようなとき、NDフィルターを使用すると、このボケを防ぐことができます。以下の警告表示に従って、NDフィルターを入／切してください。

撮影モードをマニュアル以外にして、AGCをONにしたときに、NDフィルター警告表示が出ます。

表示	表示内容	操作
表示なし	内蔵NDフィルターが入っていない	―――
“ND”点灯	内蔵NDフィルターが入っている	―――
“ND ON”点滅	内蔵NDフィルターが必要	内蔵のNDフィルターを使用する
ND“ON”点滅	より濃いNDフィルターまたは外付けのNDフィルターが必要	より濃い内蔵フィルターを使うか、レンズにNDフィルターを装着する*2
ND“OFF”点滅	内蔵NDフィルターは不要	内蔵のNDフィルターを使用しない
“ND”点滅（赤色）	内蔵NDフィルターの位置が適正でない	ND FILTERスイッチを適切な位置にする

*1 小絞りによるボケとは
屋外などの明るい場所で撮影すると、光の量を調整するために絞りが閉じてゆき絞り径が極端に小さくなったときに、ボケが生じることがあり、この現象を小絞り回折、または小絞りによるボケと呼びます（レンズのズーム位置によりボケが発生する絞り径は異なります）。
NDフィルターを入れたり、シャッターを高速にして光の量を減らすと絞りが開き、ボケを防ぐことができます。

*2 外付けNDフィルターがない場合には Tvモードでシャッタースピードを速めに設定するか、Avモードで絞りを絞ってください。

シーンによってはNDフィルターを入／切するとわずかに発色が変化する場合があります。このような場合はホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（🕮 76）。

フレームレートを選ぶ

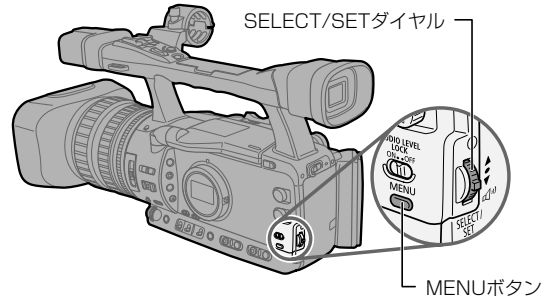
本機ではフレームレートを選択できます。

HD

60i、30F、24F（2:3）

SD

60i、30F、24F（2:3）、24F（2:3:3:2）

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

60iモード

60フィールドインターレースで記録します。
通常のテレビ信号と同じです。

30Fモード

HD

HDV規格に準拠した30コマ/秒のプログレッシブモードで記録します。30コマ/秒の映像を60フィールドインターレース信号に変換し出力します。（HDV/DV端子からは30pの信号で出力されます）

30F（撮影）	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
30p（記録）	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
60i（再生）	a a	b b	c c	d d	e e	f f	g g	h h	i i	j j

SD

30コマ/秒の映像信号を60フィールドインターレース信号に変換して記録します。

30F（撮影）	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
60i（記録／再生）	a a	b b	c c	d d	e e	f f	g g	h h	i i	j j

24Fモード

24Fではフィルムカメラと同じ24コマ/秒のプログレッシブモードで記録するため、映画のような映像表現になります。

HD

撮影/記録はHDV規格に準拠した24コマ/秒のプログレッシブモードになり、HDV/DV端子からは24pの信号で出力されます。HD/SD SDI 端子（XHG1s）、コンポーネント端子からは2:3プルダウン方式で60iに変換して出力されます。

24F（撮影）	A	B	C	D	E	F	G	H
24p（記録）	A	B	C	D	E	F	G	H
60i（再生）	a a	b b b	c c	d d d	e e	f f f	g g	h h h

SD

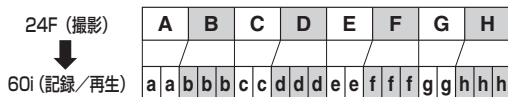
24F（2:3）モード

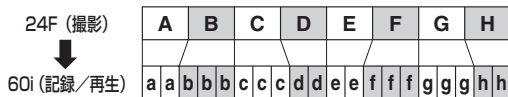
24コマ/秒の映像信号を「2:3プルダウン」方式で60フィールドインターレース信号に変換して出力します。
編集する際、フレームの抽出で一部映像の伸張・圧縮が必要になります。
テレビでの再生に適しています。

24F（撮影）

A	B	C	D	E	F	G	H

60i（記録／再生）

a	a	b	b	b	c	c	d	d	d	e	e	f	f	f	g	g	h	h	h

24F（2:3:3:2）モード

24コマ/秒の映像信号を「2:3:3:2プルダウン」方式で60フィールドインターレース信号に変換して出力します。
3:3で接する部分の映像（右図bc、fg）を捨てるだけで編集が可能なため､画質劣化のない編集が可能で、編集に適しています。

フレームレート（60i、30F、24F）を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「フレームレート」➤ 設定内容を順に選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
- 確認画面が出ます。

③ SELECT/SETダイヤルを回して「はい」を選び、ダイヤルを押して設定する
- 選んだフレームレートが出ます。

24F（2:3）モードと24F（2:3:3:2）モードを選ぶ SD

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「24Fプルダウン」➤ 設定内容を選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

③ MENUボタンを押す
- 24F（2:3）を選んだときには、「24F」が白色で、24F（2:3:3:2）を選んだときには、「24F」がオレンジ色で出ます。

❍ 2:3:3:2方式に対応していない編集システムの場合、24F 2:3で撮影してください。
❍ HDV 24p、30pで記録されたテープは、対応機器でのみ再生可能です。
❍ HDV 24p、30pで記録されたテープは、対応編集ソフトのみで編集可能です。 詳細は編集ソフトメーカーにお問い合わせください。

タイムコードを設定する

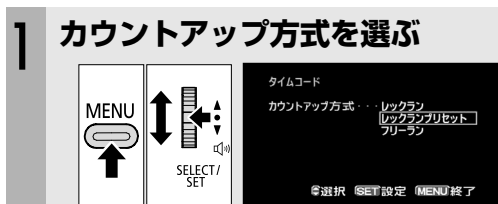
TAPE CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

フレーム設定を選択する

SDの24F以外ではドロップフレームとノンドロップフレームが選択できます。

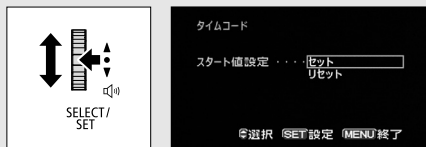
① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「タイムコード」➤「フレーム設定」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
・ ノンドロップフレームを選んだときやSDで24Fを選んだときは、液晶表示パネルにNDFが出ます。

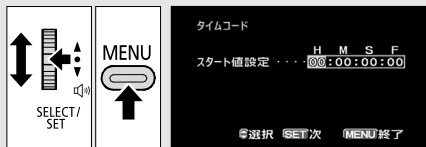
カウントアップの方式を選択する

SDの24F以外では「レックラン」、「レックランプリセット」と「フリーラン」が選択でき、SDの24Fでは「レックラン」、「レックランプリセット」が選択できます。「レックラン」では、本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進します。「フリーラン」では、本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進します。「レックランプリセット」および「フリーラン」では、スタート値を任意に設定できます。

1 カウントアップ方式を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「タイムコード」➤「カウントアップ方式」➤ 設定内容を選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
- 「レックラン」を選んだ場合はMENUボタンを押します。
- 「レックランプリセット」、「フリーラン」を選んだ場合はスタート値のセット／リセット選択画面が出ます。

2 「レックランプリセット」または「フリーラン」を選んだ場合：

「セット」を選ぶ

- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
- スタート値設定画面が出ます。

3 スタート値を設定する

- SELECT/SETダイヤルを回して数字を選び、ダイヤルを押して設定します。
- MENUボタンを押す。

タイムコード表示

レックラン設定時：R
レックランプリセット設定時：P（白）（タイムコード青色表示）
フリーラン設定時：F（タイムコード青色表示）
タイムコード外部入力時：E（タイムコード青色表示）
タイムコードホールド時：H
再生時：なし

❍「フリーラン」を選んでいる場合は、設定の途中でMENUボタンを押したとき、または最後の桁を設定してSELECT/SETダイヤルを押したときにタイムコードが歩進します。
❍ タイムコードを「00：00：00：00」にリセットするときは、手順2でリセットを選んでください。
❍ タイムコードのフレームはSDの24Fでは5の倍数の設定になります。60i、30Fでタイムコードを設定していたときに、SDの24Fに変更すると自動的にスタート値が5の倍数になります。
❍ ドロップ、ノンドロップ（SDの24F含む）を混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
❍ 重ね撮りする場合：記録開始位置付近にタイムコードの不連続があると、記録開始時のタイムコードが不連続になる場合があります。
❍ 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーパックなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。

本機のタイムコードを外部同期させる XH G1s

本機のタイムコードを外部タイムコードジェネレーターに同期できます。また、TIME CODE端子に入力されるユーザービットをテープに記録することもできます（□ 54）。

GENLOCK

同期信号（アナログ・ブラックバースト信号または三値信号）をGENLOCK端子に入力すると、自動的に内部のV同期、H同期の位相を合わせます。

タイムコード入力

TIME CODEスイッチを「IN」にします。タイムコード入力モードになります。
TIME CODE端子に入力されるLTC規格の信号を、タイムコードとしてテープに記録します。
TIME CODE端子にタイムコードと同時に入力されるユーザービットをテープに記録できます。

タイムコード出力

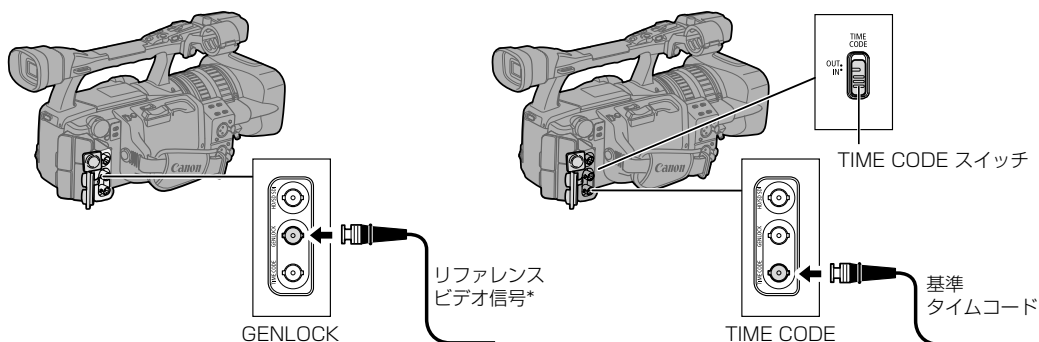
TIME CODEスイッチを「OUT」にします。タイムコード出力モードになります。
本機のタイムコードデータを、LTC規格の信号でTIME CODE端子から出力します。
「信号設定」サブメニューの「SDI出力」を「入（OSD）」または「入」にすると、HD/SD SDI端子にタイムコードデータが出力されます。
「信号設定」サブメニューの「UB出力」を「HD 24P 2:3」にすると、タイムコード中のユーザービットが2:3プルダウン情報*[1]になります（24Fモードで撮影時またはHDV 1080/24p再生時）。

*[1] 24Fモードで撮影時またはHDV 1080/24p再生時の映像は、2:3プルダウン方式で60iに変換してHD/SD SDI端子から出力されます。このときの変換情報（2:3プルダウン情報）を出力することにより、入力側の機器はこれを利用して1080/24pに変換することが可能になります。

	カメラモード*[2]	VCR/PLAYモード	カードカメラモード	カードVCR/PLAYモード
GENLOCK	○	×	○	×
タイムコード/ユーザービット入力	○	×	×	×
タイムコード出力	○	○	×	×

*[2] SDでフレームレートを24Fに設定しているときは、タイムコード入力はできません（液晶表示パネルのTC-IN表示が消えます）。

接続のしかた

外部の信号にロックさせる場合は、次のようにGENLOCK端子またはTIME CODE端子にリファレンスビデオ信号やタイムコード信号を入力します。TIME CODE端子を使ってタイムコードを入力するときは、TIME CODEスイッチを「IN」に、タイムコードを出力するときはTIME CODEスイッチを「OUT」にします。

* HD収録時は、リファレンスビデオ信号としてHD-Y信号の他にNTSCコンポジットビデオ信号も入力可能です。

SDI出力を「入（OSD）」にすると画面に SDI が表示され、SDIから出力される映像信号に画面表示が重畳されます。

❍ タイムコードが入力されていると、「タイムコード」の「フレーム設定」と「カウントアップ方式」の設定内容は無視され、外部入力されるタイムコードのdropped frame bitになります。
（入力されるタイムコードがノンドロップフレームの場合は、液晶表示パネルにNDFが表示されます）
❍ GENLOCKが入力されると約10秒後に同期が安定します。GENLOCK端子からケーブルをはずすと、外部ロック状態は保持されません。
❍ タイムコードが入力されると本機のタイムコードが同期します。TIME CODE端子からケーブルをはずしても、外部ロック状態は保持されます。
・ケーブルを外した状態で以下の操作を行うと、タイムコードの値が遅れます。
- 電源の入/切
- VCR/PLAYモードの切り換え
- テープ/カードの切り換え
- 信号規格の切り換え
- フレームレートの切り換え
ケーブルを再度接続すると、正しいタイムコードに復帰します。
❍ タイムコードが入力されない、または不正な値が入力されているときは、「タイムコード」の「カウントアップ方式」の設定内容の内部タイムコードが記録されます。
❍ GENLOCK入力がない、または不正な入力状態になっているときは、入力されるタイムコードのテープへの記録が乱れることがあります。
❍ カメラモードで、SDの24Fの場合、タイムコードは入力できません。液晶表示パネルのTC-IN表示も消えます。
❍ 本機がHDモードの時に、SDのGENLOCK信号が入力されたときはGENLOCKできます。本機がSDモードの時に、HDのGENLOCK信号が入力されたときはGENLOCKできません。
❍ GENLOCKは位相差0を中心として、約±0.4Hの範囲で調整可能です。
❍ メニューで「信号規格」を「HD」に、「SDI 出力映像」を「SD固定」にしているとGENLOCKできません。
❍ 液晶表示パネルのGENLOCK表示は、位相同期が合うまでは点滅し、位相同期が合うと点灯します。
❍ 液晶表示パネルのTC-（IN OUT）表示は、タイムコードの入力、出力が可能であることを示しています。
❍ 入力されたタイムコードに本機がロックすると、液晶表示パネルにEXT LOCKが出ます。

ユーザービットを設定する

時刻、日付や16進数8桁までのユーザービットを設定してテープに記録します。
ユーザービットは0〜9までの数字と、A〜Fまでのアルファベットが設定可能です。
ユーザービットは自由に設定できますので、テープIDなどテープの管理に便利です。
また、タイムコードと同時にユーザービットを外部機器から入力している場合は、外部入力ユーザービットも記録できます（XHG1s）。

ユーザービットを設定する

1 項目を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「UB選択」を選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
- ユーザービット選択画面が出ます。
- 「00 00 00 00」を選んだときは、「UB設定」の「セット/リセット」選択画面になります。
「セット」を選ぶとUB設定画面になります。

2 ユーザービットを設定する

- SELECT/SETダイヤルを回して数字、アルファベットを選び、ダイヤルを押して設定します。続いて、右隣の桁の設定になります。最後の桁を設定して、ダイヤルを押すとメニューに戻ります。

① MENUボタンを押す

❍ ユーザービットを「00 00 00 00」にリセットするときは、手順1-②で「リセット」を選んでください。
❍ ユーザービットはカメラでの撮影、アナログ入力での録画で記録されます。HDV／DV入力での録画では自機設定のユーザービットは記録されません。

ユーザービットを表示する

TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

記録、再生するユーザービットを表示します。

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「UB表示」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して「入」を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

外部入力したユーザービットを記録する XHG1s

TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「UB記録」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して「外部入力」を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

音声の記録

録音レベル調整は必ず市販のヘッドフォンでモニターをしながら行ってください。

本機ではHDV、DVともに音声を2チャンネルまで記録できます。
撮影時のHD/SD SDI端子出力信号のサンプリング周波数は、すべて48kHzになります（XH G1s）。

HDV

音声記録の転送レートは384Kbps、サンプリング周波数は48kHzになります。

DV

音声記録は16bit（サンプリング周波数48kHz）と12bit（サンプリング周波数32kHz）が選択できます。
- チャンネル1、2に記録され、隣のチャンネルは空きになります。
- 本機ではアフレコできません。
- 本機での音声記録は、ライン入力とアンロックモードをDV入力したときを除き、ロックモードになります。

撮影編

DVオーディオモードの選択 DV

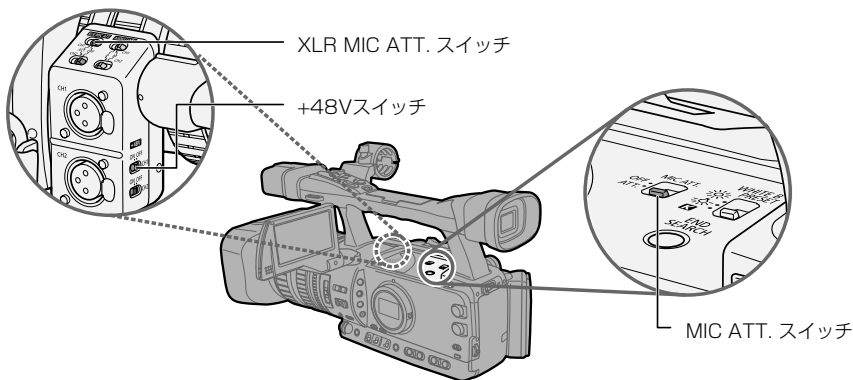
TAPE CARD | VCR/PLAY M A Tv Av

16bit（48kHz 2CH）、12bit（32kHz 2CH）

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「DVオーディオモード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

音声を記録する

TAPE CARD | VCR/PLAY M A Tv Av

音声入力は、内蔵マイク/外部マイク（MIC端子）、XLRマイク（XLR端子）、XLRライン入力（XLR端子）から選択できます。また、チャンネル1／2の音声入力はそれぞれ個別に選択でき、チャンネル1とチャンネル2で異なる入力を選ぶこともできます。

1 CH1またはCH2の入力を切り換える

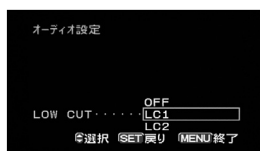
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」→「CH1 INPUT」または「CH2 INPUT」→設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

次のページへ

音声の記録…つづき

内蔵マイクの場合

● 必要に応じてMIC ATT.（12dB）スイッチをATT.（入）/OFFにできます（ATT.：Attenuator）。

● 収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。
OFF　一般的な音を録音するとき
LC1　人の声を中心に録音するとき
LC2　海辺やビルの近くなど風の強いところ、常に風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減できます。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減されます。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「LOW CUT」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

● 収録する音に合わせて最適な感度で録音できます。
ノーマル　通常のレベルの音を録音するとき
高感度（＋6dB）より大きな音量で録音するとき

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「MIC 感度」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

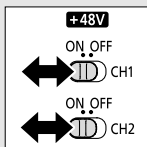
外部マイク（MIC端子）の場合

外部マイクは、必要に応じてマイクホルダーを使用して本機に取り付けられます（📖 25）。MIC端子にマイクを接続すると内蔵マイクは切れます。

接続できるマイク：電源内蔵のコンデンサーマイク
端子：φ3.5mm
入力インピーダンス：600Ω
感度：－66dBV（マニュアルボリュームセンター）
マイクホルダーに取り付けられるマイクの直径：25mm以下

● 必要に応じてMIC ATT.（20dB）スイッチをATT.（入）/OFFにできます。

XLR端子の場合

1 XLR端子にマイクを接続する

- ファンタム電源が必要なマイクを使う場合は＋48Vスイッチを ONにします。
  ファンタム電源をONにするときは、マイクを接続してから行います。OFFにするときは、接続したまま行います。

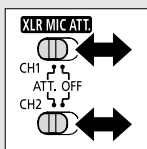
2 CH1またはCH2の入力を「XLR MIC」または「XLR LINE」にする

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「CH1 INPUT」または「CH2 INPUT」➤設定内容を順に選ぶ
  ・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
- XLR端子を1チャンネルのみ使用する場合はCH1端子を使用し、「CH1 INPUT」を「XLR MIC」または「XLR LINE」に設定してください。

3 CH1入力の録音のしかたを選ぶ

- CH1入力の音声をCH1に録音するか、CH1とCH2の両方に録音するかを選びます。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「XLR REC CH」➤設定内容を順に選ぶ
  ・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

4 必要に応じてXLR MIC ATT.(20dB)スイッチを「ATT.(入)」/「OFF」にする

- 入力がXLR MICのときに機能します。

5 必要に応じてXLR MICの入力感度を調整する

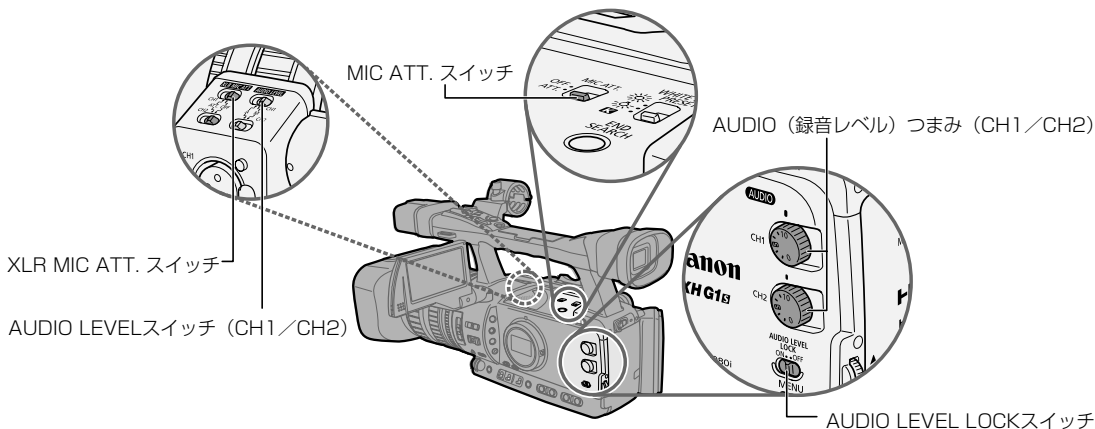
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「XLR 1 TRIM」または「XLR 2 TRIM」➤ 設定内容を順に選ぶ
  ・ SELECT/SETダイヤルを回して値を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
- 入力がXLR MICのときに機能します。

❍ ＋48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、＋48Vスイッチを必ずOFFにしてください。ONにしたままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。
❍「XLR REC CH」を「CH1/CH2」にすると、CH2入力の音声は録音されません。

音声の記録…つづき

録音レベルの調整

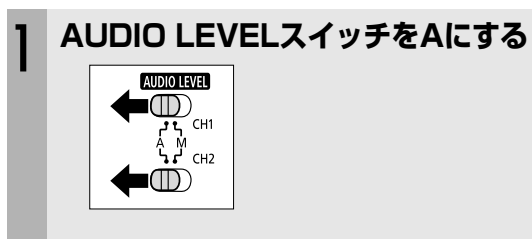
TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

入力レベルが高すぎて音声が歪むときは、MIC ATT.（内蔵マイク、MIC端子）、XLR MIC ATT.（XLR端子）をATT.（内蔵マイクでは12dB、MIC端子／XLR端子では20dB）にしてください。

レベルメーターを表示する

レベルメーター表示を入/切できます。レベルメーターは□（全自動）モードやVCR/PLAYモードでも表示できます。

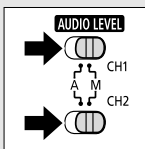
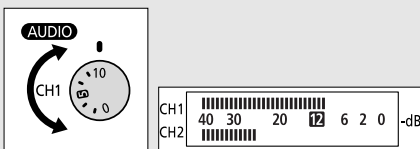
① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「レベルメーター」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・ レベルメーター表示は、カスタムキーでも入/切できます（□ 88）。

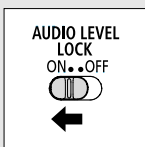
レベル調整をオートで行う

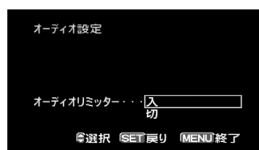
1　AUDIO LEVELスイッチをAにする

❍ CH１、CH ２共に内蔵マイク入力を選択しているときは、CH1のAUDIO LEVELスイッチをA（オート）にすると自動的にCH2もオートに設定されます。
❍ XLR端子のCH１とCH2が共に「XLR MIC」または「XLR LINE」で、レベル調整がオートのとき、CH1とCH2のレベル調整を連動させたり、独立させたりすることができます。

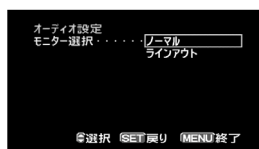
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「XLR ALC LINK」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して「LINK（連動）」または「SEP（SEPARATE：独立）」を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

レベル調整をマニュアルで行う

1 AUDIO LEVELスイッチをMにする

2 AUDIOつまみを回して調整する

- 液晶表示パネルに表示されるオーディオレベルメーターの12dBより右（画面では緑の •より右）が、時々点灯するように調整します。

3 必要に応じて、AUDIO LEVEL LOCKスイッチを「ON」にする

- 調整した録音レベルがロックされます。
- 「OFF」にすると、ロックは解除されます。
- ▢（全自動）モードやVCR/PLAYモードなどレベル調整が無効のモードで「OFF」にし、有効なモードに切り換えると、ロックは解除されています。

❍ 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。レベルメーターが適切に表示していても、入力レベルが過大な場合、音声が歪むことがあります。
❍ CH 1、CH 2共に内蔵マイク入力を選択しているときは、CH1のAUDIO LEVELスイッチとAUDIO（録音レベル）つまみの設定が自動的にCH2にも反映されます。
❍ 大入力の音声による歪を防止するときは、オーディオリミッターを「入」にしてください。マニュアルレベル調整のときに、レベルが−4dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限して歪みを防止します。CH 1とCH2のどちらかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「オーディオリミッター」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

❍ 音声を映像に同期させてモニターするときは、「ラインアウト」を選択してください。音声をリアルタイムでモニターするときは「ノーマル」を選択してください。この場合は、音声と映像に少しずれが生じます。「ラインアウト」、「ノーマル」いずれの場合も、テープには映像と音声は同期して記録されます。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「モニター選択」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

❍ ▢（全自動）モードでは、AUDIO LEVELスイッチを「M」にしても、マニュアルのレベル調整は選択できません。オートのレベル調整になります。

エンベデッドオーディオ XHG1s

エンベデッドオーディオは、映像信号に音声信号を重畳してHD/SD SDI端子から出力する機能です（メニューの「SDI出力」を「入」または「入（OSD)」にしてください)。

TAPE CARD

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「SDI出力」➤「入」または「入（OSD)」を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

エンベデッドオーディオ出力は、信号規格、サンプリング周波数の設定により異なります。

カメラモード

記録信号規格	サンプリング周波数	ロック/アンロック	エンベデッドオーディオ出力
SD	32kHz（12bit）	ロック	○*
	48kHz（16bit）	ロック	○
HD	48kHz	ロック	○

VCR/PLAYモード

再生信号規格	サンプリング周波数	ロック/アンロック	エンベデッドオーディオ出力
SD	32kHz（12bit）	アンロック	×
		ロック	○*
	48kHz（16bit）	アンロック	×
		ロック	○
HD	48kHz	ロック	○

* サンプリング周波数48kHzに変換して出力します。

● アンロックのテープの場合、エンベデッドオーディオ出力は保証されません。画面に 、 3/4または 1/2が出ます。

SDI出力を「入（OSD)」にすると画面に SDI が表示され、SDIから出力される映像信号に画面表示が重畳されます。

手ぶれ補正機能

手持ちで撮影するときに手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。
通常の撮影では、手ぶれ補正は解除する必要はありませんが、必要に応じて解除できます。

手ぶれ補正の解除のしかた

TAPE | CARD

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「手ぶれ補正」➤「切」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
・ ▢（全自動）モードでは、手ぶれ補正は解除できません。

❍ 三脚などを使用して撮影をするときは手ぶれ補正を切ることをおすすめします。
❍ 手ぶれが大きすぎると、補正されないことがあります。
❍ カードカメラモードでは、PHOTOボタンを浅く押すと、手ぶれ補正の効果が高まります。

撮影モードを選ぶ

被写体の条件に合わせて最適なモードが選べる7種類の撮影モードを搭載しています。

M　マニュアルモード

絞り、シャッタースピードをマニュアルで設定できます。

A（オート）モード

絞り、シャッタースピードを自動で撮影でき、メニューなどで詳細設定もできます。

Tv（シャッター優先：Time Value）モード

シャッタースピードをマニュアルで設定できます。スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をブレのない映像で撮影できます。
Tvモードでは絞りは自動で調節されます。

Av（絞り優先：Aperture Value）モード

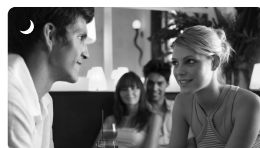
絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変化させ、背景や周囲をボカし被写体を引き立てることができます。
Avモードではシャッタースピードは自動で調節されます。

- ズームの望遠側で撮影すると、背景のボケの効果がより大きくなります。

スポットライトモード

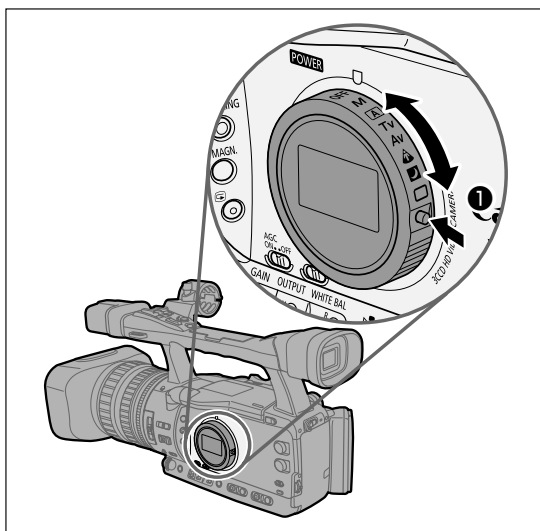
スポットライトなど範囲の狭い照明が当たっている被写体や花火などを鮮明に撮影できます。

ナイトモード

夜景や暗くても照明が使えない場所で、被写体を明るくカラーで撮影できます。周囲の明るさに応じてシャッタースピードが1/4～1/500秒（60i、30F）、1/3～1/500秒（24F）で自動調整されます。

- ❍ 動きのある被写体では、残像が残ります。
- ❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ❍ 画面に白い点などが現れることがあります。
- ❍ オートフォーカスでピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

（全自動）モード

ズーム、START/STOPボタンを押すだけで全自動撮影できます。詳細設定はできません。

操作のしかた

❶ ボタンを押しながらメインダイヤルを回す

- 撮影モードを選択する。
- 選んだモード表示が出る。

撮影中はメインダイヤルを切り換えないでください。撮影モードを変えると映像の明るさが一時的に大きく変化する場合があります。

次のページへ

撮影モードを選ぶ…つづき

撮影モードの選択

スポットライトモード、ナイトモード、□（全自動）モードは、撮影場面に合った撮影ができるようにすべてが自動設定されています。マニュアルモード、[A]（オート）モード、Tvモード、Avモードでは撮影の状況に合わせて設定できます。

● 撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

<table>
<tr><th>撮影モード</th><th>マニュアル
モード</th><th>[A]（オート）
モード</th><th>Tvモード</th><th>Avモード</th><th>スポットライト
モード</th><th>ナイト
モード</th><th>□（全自動）
モード</th></tr>
<tr><td>露出ロック
（EXP. LOCKボタン）</td><td>×</td><td colspan="3">○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>プッシュAE
（PUSH AEボタン）</td><td>○</td><td colspan="3">×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>絞りリング</td><td>○</td><td>×*1</td><td>×*1</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SHUTTERダイヤル</td><td>○</td><td>×*1</td><td>○</td><td>×*1</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>AEシフトの設定</td><td>×</td><td colspan="3">○</td><td>×
（0に固定）</td><td>×
（0に固定）</td><td>×
（0に固定）</td></tr>
<tr><td>GAINの調整</td><td>○</td><td colspan="3">○</td><td>×
（0dBに固定）</td><td>×
（AGC ONに固定）</td><td>×
（AGC ONに固定）</td></tr>
<tr><td>WHITE BALANCE
の調整</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×
（オートに固定）</td></tr>
<tr><td>カスタムプリセット
の調整</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>CUSTOM PRESET
SELECTボタン</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>CUSTOM PRESET
ON/OFFボタン</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>スキンディテール</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SELECTIVE NR</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>カラーコレクション</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>クリアスキャン
の実行</td><td>○*2</td><td>×</td><td>○*2</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>クリアスキャン
の周波数選択</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
</table>

*1：露出ロックをすると使用できます。
*2：クリアスキャン実行中に周波数が選択できます。

マニュアルモード

絞りとシャッタースピードを自由に設定できます。
被写界深度を維持しながら明るさを変えたり、場面の転換に明るさを変えたりできます。
絞りは1/8段刻みで設定できます（画面のF値表示は1/4段刻みになります）。

シャッタースピード

カメラモード

60iまたは30F	1/4秒、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒、1/600秒、1/720秒、1/840秒、1/1000秒、1/1200秒、1/1400秒、1/1700秒、1/2000秒、1/2300秒、1/2600秒、1/3000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）
24F	1/3秒、1/6秒、1/12秒、1/24秒、1/48秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒、1/600秒、1/720秒、1/840秒、1/1000秒、1/1200秒、1/1400秒、1/1700秒、1/2000秒、1/2300秒、1/2600秒、1/3000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）

カードカメラモード

1/4秒、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒

絞り

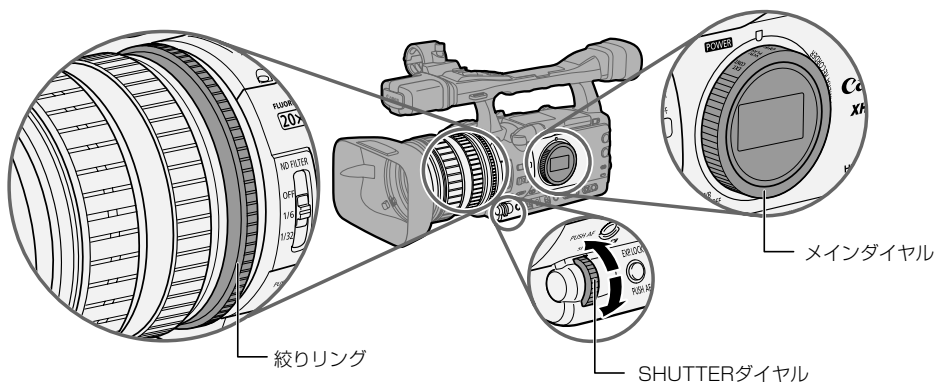
F1.6、F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11、F 12、F 14、F 15、F 16、F 17、F 19、F 21、F 22、CLOSE

F10～F22とCLOSEは、「IRIS LIMIT」をOFFにしたときのみ。

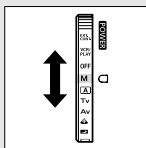
操作のしかた

TAPE | CARD

VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

撮影編

次のページへ

マニュアルモード …つづき

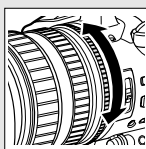
1 M（マニュアル）モードを選ぶ

- 画面に露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標：▼
　標準の露出レベルを表示します。

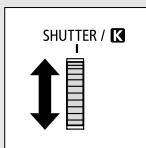
② 露出レベルの指標：▮
　現在の露出レベルを表示します。（＋）（－）両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。

- 露出メーターは目安としてお使いください。

絞りを調節する

2 絞りリングを回す

- 選んだ絞り値表示が出る。

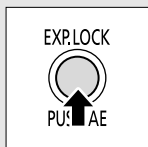
シャッタースピードを調節する

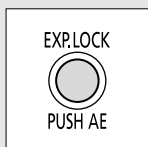
2 SHUTTERダイヤルを回す

- 選んだシャッタースピード表示が出る。

- ❍ 絞りリング、SHUTTERダイヤルの操作方向は、カスタムファンクションで設定できます（🕮 117）。
- ❍ カスタムファンクションの「IRIS LIMIT」で絞り制限をON/OFFできます。絞り制限を「ON」にすると小絞り回折F値*まで絞れ、「OFF」にするとCLOSEまで絞れます。絞り制限を「OFF」にして絞りをマニュアルで設定するとき、絞りF値が小絞り回折下値を超えると、画面のF値は灰色で表示されます。
  *小絞り回折F値を超えると小絞りによるボケ（🕮 47）が発生します。
- ❍ 別売のズームリモートコントローラーZR-2000から絞りを調整するときは、カスタムファンクションで設定します（🕮 118）。
- ❍ SHUTTERダイヤルは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（🕮 88）やメニュー（🕮 155）で無効にできます。

絞りとゲインを自動調整して適正な露出にする（プッシュAE）

PUSH AEボタンを押している間、絞りとゲイン（AGCがONのときのみ）を自動調整して露出を適正にできます。

1 PUSH AEボタンを押し続ける

- 周囲の明るさが変わると、画面上のF値と露出メーターが変化し、自動的に適正露出に調整される。

2 PUSH AEボタンを離す

- そのときのF値/ゲイン（AGCがONのときのみ）がマニュアルモードの値となる。

PUSH AEボタンは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（📖88）やメニュー（📖155）で無効にできます。

Tvモード

シャッタースピードをマニュアルで設定し、低照度からスポーツや乗り物など動きの速い被写体まで撮影できます。
選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

カメラモード

60iまたは30F	1/4秒、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）
24F	1/3秒、1/6秒、1/12秒、1/24秒、1/48秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）

カードカメラモード

1/4秒、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒

- 1/100秒以上の高速シャッターを使うことで、晴天下などの明るい場所で絞りが自動的に絞られることによる小絞りを防ぐことができます。

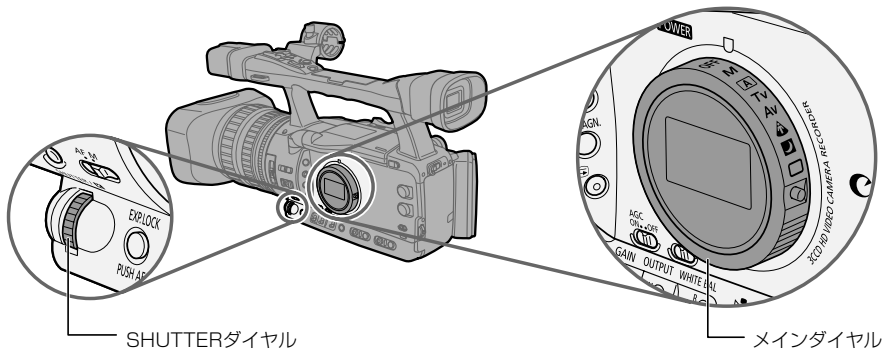
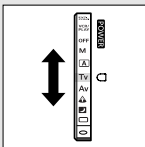
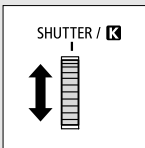
蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源照明下での撮影について
設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出る場合があります。フリッカーが気になる場合は、1/100秒を選んで撮影してください。

スローシャッターによる撮影

1/30秒以下のスローシャッターでは、明るさが不足する場所で被写体を明るく撮影できます。また、特殊効果としても使用できます。たとえば、動いている被写体をパンするときに背景を流したり、残像効果をズームに加えたりできます。
- スローシャッターを低照度下で使用すると明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- オートフォーカスのままではピントが合いにくいことがあります。

操作のしかた

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 Tvモードを選ぶ

2 SHUTTERダイヤルを回す

- 選んだシャッタースピード表示が出る。

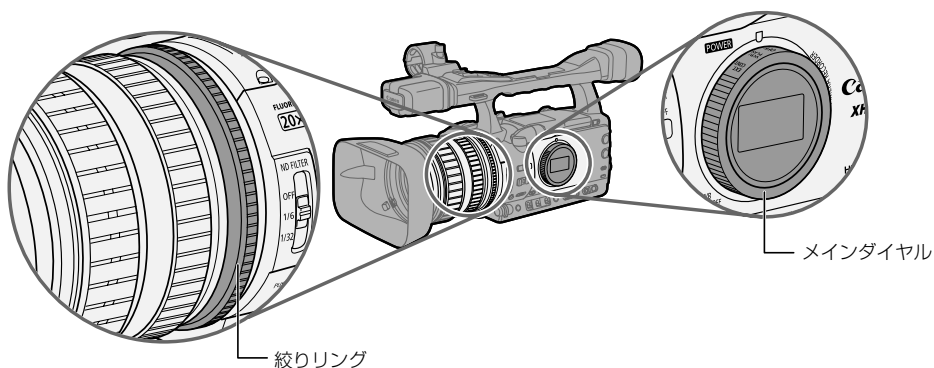
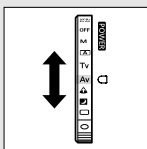
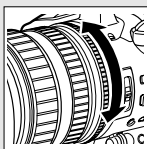
❍ SHUTTERダイヤルで調節したシャッタースピード以外（絞り値など）はオートで調節されます。
❍ 露出ロックを操作して露出を変更すると、設定したシャッタースピードはバックアップされません。
❍ AGCがONのとき、選択したシャッタースピード表示が点滅することがあります。これは、選んだシャッタースピードが適切でないことを示しています。
このようなときは、表示が点灯になるようにSHUTTERダイヤルで設定を変えてください。
また、内蔵NDフィルターを使用している場合は、「OFF」にしてから再設定してください。
❍ SHUTTERダイヤルは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（📖 88）やメニュー（📖 155）で無効にできます。また、操作方向はカスタムファンクションで設定できます（📖 117）。

Avモード

絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変えて、背景や周囲をボカし被写体を引き立たせることができます。
絞りは1/8段刻みで設定できます（画面のF値表示は1/4段刻みになります）。

選択できる絞り

F1.6、F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11、F 12、F 14、F 15、F 16、F 17、F 19、F 21、F 22、CLOSE

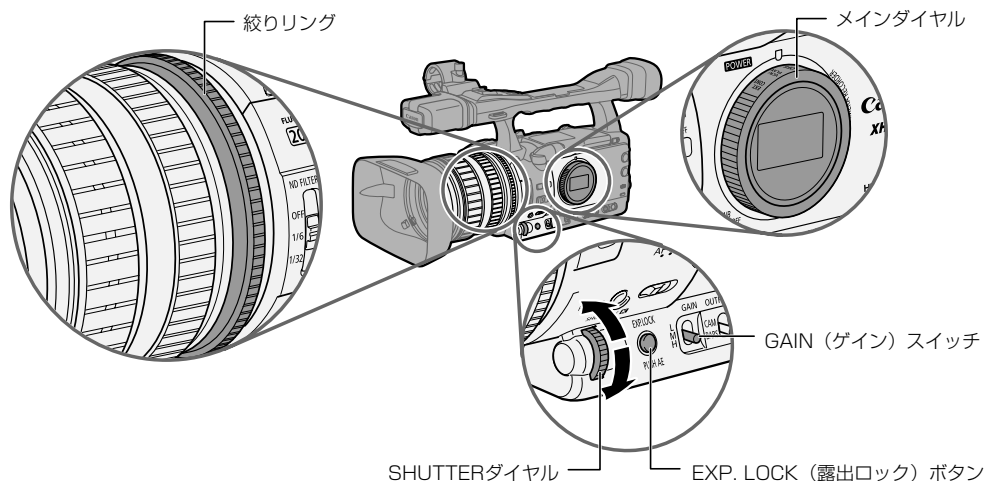
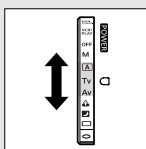
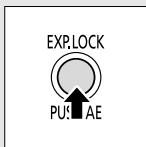
F10〜F22とCLOSEは、カスタムファンクションの「IRIS LIMIT」をOFFにしたときのみ。

1 Avモードを選ぶ

2 絞りリングを回す

- 選んだ絞り値表示が出る。

❍ 絞りリングで調節した絞り値以外（シャッタースピードなど）はオートで調節されます。
❍ 露出ロックを操作して露出を変更すると、設定した絞り値はバックアップされません。
❍ AGCがONになっているときに、選択した絞り値表示が点滅することがあります。これは選んだ絞り値が適切でないことを示しています。このようなときは、表示が点灯になるように絞りリングで絞り値を変えてください。
❍ 絞り値を絞ることにより被写界深度を深く、開くことにより被写界深度を浅くできますので、背景などのピントの合う範囲を変化させることができます。
・内蔵NDフィルターが ON になっているときに、絞りこんでいくと画面が暗くなることがあります。このようなときは、内蔵NDフィルターを「OFF」にして、再設定してください。
・晴れた日の屋外などで撮影中（A（オート）モード、 □（全自動）モード）に“ND ON”／ND “OFF”の警告が頻繁に出るような場合には、Avモードで絞りの設定をF5.6～F8.0などに変えて撮影することも有効です（シャッターは標準より速くなります）。
❍ カスタムファンクションの「IRIS LIMIT」で絞り制限をON/OFFできます。絞り制限を「ON」にすると小絞り回折F値*（F9.5）まで絞れ、「OFF」にするとCLOSEまで絞れます。絞り制限を「OFF」にして絞りをマニュアルで設定するとき、絞りF値が小絞り回折F値を超えると、画面のF値は灰色で表示されます。
*小絞り回折F値を超えると小絞りによるボケ（□ 47）が発生します。
❍ 絞りリングの操作方向は、カスタムファンクションで設定できます（□ 117）。
❍ 別売のズームリモートコントローラーZR-2000から絞りを調整するときは、カスタムファンクションの「LANC AE SHIFT」で設定します（□ 118）。

露出を変える

EXP. LOCKボタンを押して露出をロックすると、画面はそのときの明るさで固定されます（EXP. : Exposure)。また、露出ロックしたあと任意にシャッタースピード、絞り値やゲインを変更できます。

露出をロックする

TAPE | CARD

1 メインダイヤルを [A]（オート）、Tv、Avのいずれかにする

2 EXP. LOCKボタンを押す

- 露出がその明るさのままロック（固定）される。
- 露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標：▼
標準の露出レベルを表示します。
② 露出レベルの指標：▮
現在の露出レベルを表示します。(+)(−)両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。

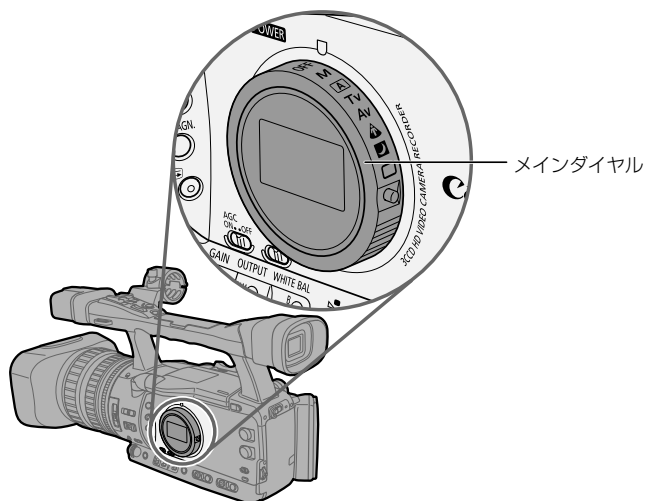
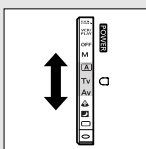
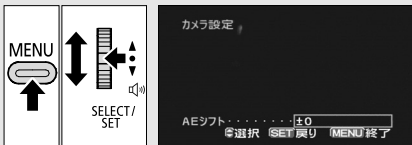
- 露出メーターは目安としてお使いください。

EXP. LOCKボタンは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（□ 88）やメニュー（□ 155）で無効にできます。

AEレベル補正

AEレベルを15段階（＋2.0、＋1.5、＋1.25、＋1.0、＋0.75、＋0.5、＋0.25、±0、－0.25、－0.5、－0.75、－1.0、－1.25、－1.5、－2.0）で調節でき、明るめや暗めに撮影するときに使用します。

操作のしかた

TAPE | CARD

1 メインダイヤルを A（オート）、Tv、Av のいずれかにする

2 AEレベルを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「AEシフト」➤ 設定内容を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

別売のズームリモートコントローラーZR-2000からAEレベル補正を行うときは、カスタムファンクションの「LANC AE SHIFT」で設定します（📖 118）。

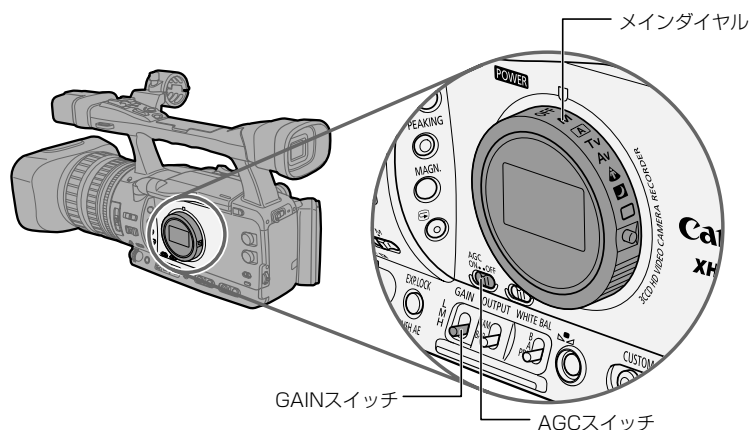
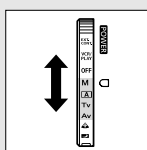
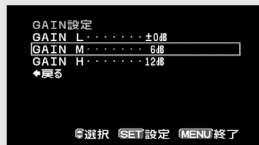
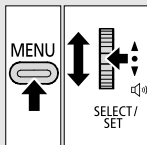
撮影編

ゲイン調整

ゲインはGAINスイッチのL、M、Hのそれぞれで独立して設定できます。GAINを自動調整にするときは、AGC（Auto Gain Control）スイッチをONにします。

AGC ON	ゲインは自動調整になります。
−3dB	室内、低照度やコントラストの低いシーンでノイズの少ない撮影ができます。
±0dB	夜景などの撮影のときに、ノイズが少なく、色のりのよい撮影ができます。
3dB／6dB／12dB／18dB／36dB*1／TUNE 0−18dB*2	暗いとき（絞り解放時）、室内や低照度のシーンで明るく撮影できます。

*1 カメラモードのみ
*2 ゲインファインチューニング時

TAPE | **CARD**

1 メインダイヤルを M、A（オート）、Tv、Avにする

2 ゲインを選ぶ

ゲインを設定する

① MENUボタンを押す

②「カメラ設定」➤「GAIN設定」➤ L、M、Hを選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

③ ゲインを選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
- ＋36dBはカメラモード時のみ設定できます。

④ MENUボタンを押す

設定したゲインを選ぶ

① AGCスイッチをOFFにし、GAINスイッチでL、M、Hのいずれかを選ぶ

❍ ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。特に、+36dB選択時は、超高感度になりますが、画面全体にノイズが現れます。また、色むら、白い点、縦線などが画面に現れることがあります。
❍ AGCがONのとき、AGC LIMITを設定してゲインの最大値を制限できます。AGC LIMITは、切（18dB)、15dB、12dB、9dB、6dB、3dBから選択できます。

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「AGC LIMIT」➤設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して値を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

撮影編

ゲインファインチューニング

ゲインを0dBから18dBまで0.5dB刻みで調整できます。

1 ゲインを設定する

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」→「GAIN設定」→L、M、Hを順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③「TUNE 0.0dB」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを上方向に回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
・「FINE TUNING」が表示され、ゲインが0.5dB刻みで調整できるようになる。
④ ゲインを選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して値を選び、ダイヤルを押して設定します。
⑤ MENUボタンを押す

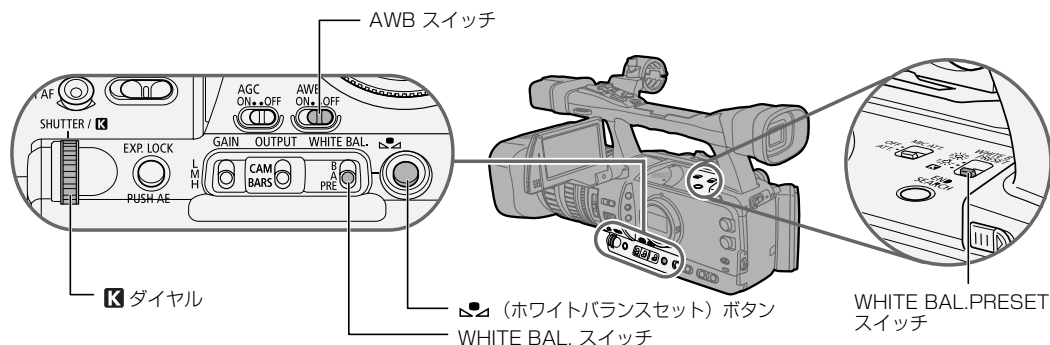
2 設定したゲインを選ぶ

・ AGCスイッチをOFFにし、GAINスイッチでL、M、Hのいずれかを選ぶ。

ホワイトバランス

本機では、ホワイトバランスはオートのほかに、☀（5600Kの太陽光）、☼（3200Kのランプ）、色温度設定があり、さらにホワイトバランスセットでは2つまで登録できます。
● 蛍光灯は、オートまたはセットで撮影してください。

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

オートの設定をする

AWBスイッチをONにする（AWB : Auto White Balance）。

屋外または屋内の設定をする

1. AWBスイッチをOFFにし、WHITE BAL.スイッチをPREにする
2. WHITE BAL. PRESETスイッチを☀（屋外）または☼（屋内）にする

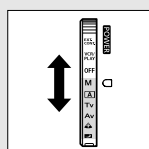
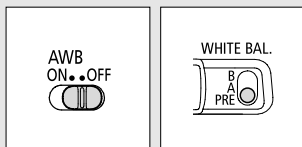
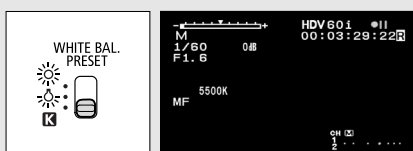
☀（屋外）を使うケース：
- 夜景や花火などを撮るとき
- 朝日や夕焼けなどを撮るとき

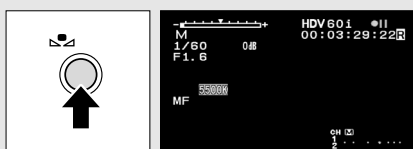
☼（屋内）を使うケース：
- パーティ会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- スタジオなどでビデオライトの照明で撮るとき
- ナトリウムランプの照明で撮るとき

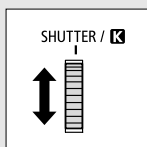
屋外、屋内では設定を微調整できます。ホワイトバランスセットボタンを押すと、表示が点滅します。K ダイヤルを回して調整します（+9～－9）。調整が終わったら、ホワイトバランスセットボタンを押し、表示を点灯させます。

色温度設定

色温度の調整範囲は2000K～15000Kまでで、100K単位で設定でできます。

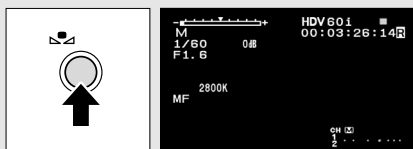
1 メインダイヤルを ▢（全自動）以外の撮影モードにする

2 AWBスイッチをOFFにし、WHITE BAL.スイッチをPREにする

3 WHITE BAL.PRESETスイッチを🄺にする

● 現在設定されている色温度が出る

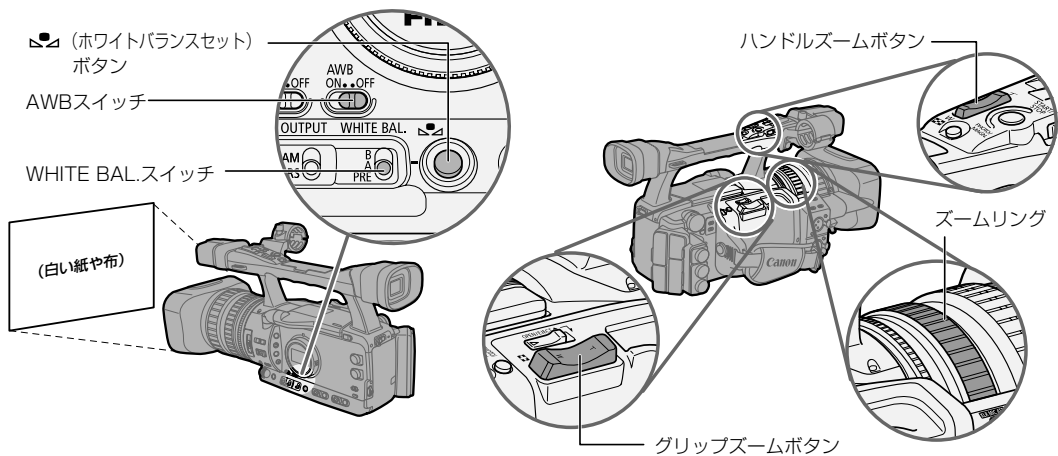
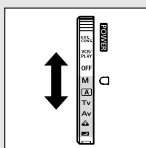
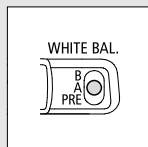
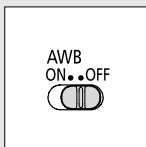
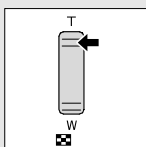
4 WHITE BAL. （セット）ボタンを押す

● 色温度表示が点滅する

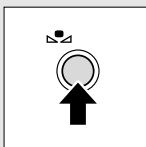
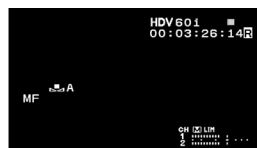
5 🄺ダイヤルを回して色温度を選ぶ

6 WHITE BAL. （セット）ボタンを押す

● 色温度表示が点灯に変わる

撮影編

次のページへ

ホワイトバランス…つづき

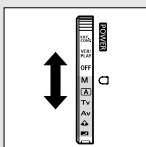
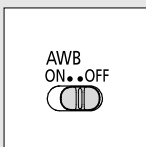
ホワイトバランスのセット

1 メインダイヤルを ▢(全自動)以外の撮影モードにする

2 AWBスイッチをOFFにし、WHITE BAL.スイッチをAまたはBにする

3 ズームなどを使って白い紙などを画面いっぱいに写す

- セットの作業が終わるまで、写し続けてください。

4 WHITE BAL. （セット）ボタンを押す

● Aまたは Bが速く点滅し、セットが完了すると点灯する。

❍ ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（速い点滅から遅い点滅に変わります）ことがありますが、この場合でも、オートよりも適切なホワイトバランスになっていますので、そのまま撮影できます。
❍ ホワイトバランスセットで登録したデータは、内蔵2次電池が充電されていれば、電源の入／切に関係なく保持されます。
❍ カスタムプリセットのRGBゲイン、カラーマトリクス、RGBマトリクスの設定がホワイトバランス設定に優先します。
❍ 次のような場合は自動では色合いを調節できないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、ホワイトバランスのセットなどをしてください。
・ 照明条件が急に変わるとき
・ クローズアップ撮影をするとき
・ 単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
・ 水銀灯と一部の蛍光灯で撮影するとき

登録したホワイトバランスセットで撮影する

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

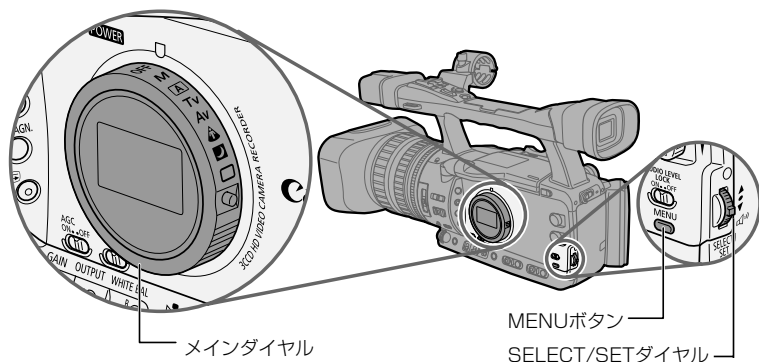
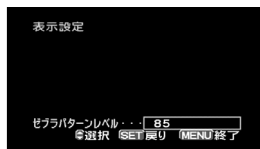
1 メインダイヤルを （全自動）以外の撮影モードにする

2 AWBスイッチをOFFにし、WHITE BAL.スイッチを登録したAまたはBにする

● 登録したホワイトバランスになる。

ホワイトバランスセットをするときは
❍ 照明の十分な場所で行ってください。また光源が変わったときはセットし直してください。
❍ 内蔵のNDフィルターを入／切したときも、セットし直してください。

撮影編

ゼブラパターン

本機ではゼブラパターン表示の輝度レベルを7段階の%（70、75、80、85、90、95、100）から選択できます（ピーキング使用中は表示されません。）。
● ゼブラパターンは画面のみに表示されます。

TAPE | CARD

ゼブラパターンレベルを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「ゼブラパターンレベル」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

ゼブラパターンを入/切する

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「ゼブラパターン」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

カラーコレクション（色補正）

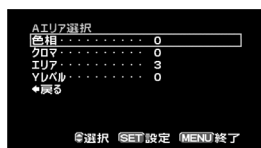
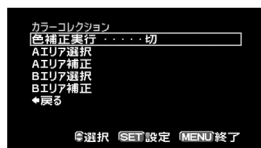
色相、クロマ、エリア、Yレベルを調整して、設定した任意の色だけを、撮影時に補正して記録できます。2種類の設定が可能です。
検出した任意の色部分は、検出パターンと通常画面が交互に表示されます。検出パターンは、画面ではゼブラパターンで表示され、接続したテレビ、パソコンでは白く表示されます。

設定のしかた

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

撮影編

❶ 補正する色を設定する

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「カラーコレクション」➤「Aエリア選択」または「Bエリア選択」➤設定項目を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して調整する項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ 必要な調整を行う
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、効果を確認しながらダイヤルを押して設定します。

❷ 色合いを調整する

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「カラーコレクション」➤「Aエリア補正」または「Bエリア補正」➤「Rゲイン」または「Bゲイン」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して調整する項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ 必要な調整を行う
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、画面で効果を確認しながらダイヤルを押して設定します。

④「カメラ設定」➤「カラーコレクション」➤「色補正実行」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して「切」以外を選び、ダイヤルを押して設定します。
⑤ MENUボタンを押す

色相

検出する色の色相を調整します。色相環を16分割した0～15から選びます。目安としては0＝紫、3＝赤、6=オレンジ、9＝緑、12＝青になります。

クロマ

検出する色の彩度を－6～0～6の13段階で調整します。＋側にするほど、鮮やかで濃い色を検出します。

エリア

検出する色の色彩の幅を4段階で調整します。＋側にすると広い範囲の色彩を検出し、－側にすると狭い範囲の色彩を検出します。

次のページへ

カラーコレクション（色補正）…つづき

Yレベル

検出する色の明るさを−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると明るい色を検出し、−側にすると暗い色を検出します。

Rゲイン

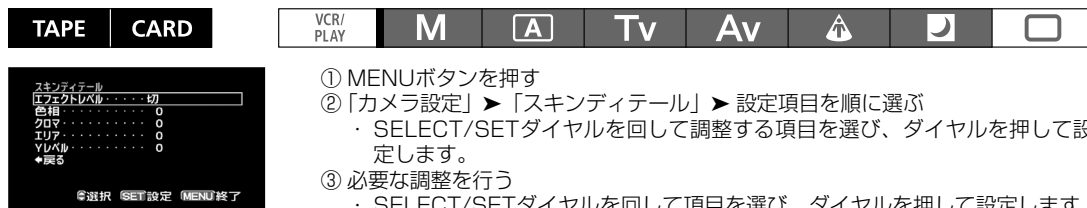
−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると、赤みが強くなり、−側にするとシアンの色味が強くなります。

Bゲイン

−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると、青みが強くなり、−側にすると黄の色味が強くなります。

スキンディテール

スキンディテールを使うと、色相、クロマ、エリア、Yレベルを設定して、肌色部分を検出し、柔らかく表現できます。
検出した肌色部分は検出パターンと通常画面が交互に表示されます。検出パターンは、画面ではゼブラパターンで表示され、接続したテレビ、パソコンでは白く表示されます。
ハイにすると、肌色部分がもっとも柔らかく表現されます。

TAPE | CARD

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「スキンディテール」➤ 設定項目を順に選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して調整する項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

③ 必要な調整を行う
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

④「エフェクトレベル」で「ハイ」、「ミドル」または「ロー」を選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
-「切」以外にすると画面に「」が出ます。

⑤ MENUボタンを押す

色相

検出する肌色部分の色相を−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると緑の強い肌色を検出し、−側にすると赤みの強い肌色を検出します。

クロマ

検出する肌色部分の彩度を−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると鮮やかな色を検出し、−側にすると薄い色を検出します。

エリア

検出する肌色の色彩の幅を−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると広い範囲の色彩を検出し、−側にすると狭い範囲の色彩を検出します。

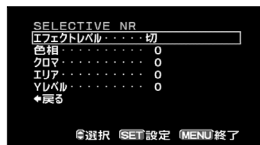
Yレベル

検出する肌色の明るさを−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると明るい肌色を検出し、−側にすると暗い肌色を検出します。

S-NR セレクティブNR

セレクティブNRを使うと、色相、クロマ、エリア、Yレベルを設定して、任意の色を検出し、その色のノイズを低減できます。また、クロマキー合成を行う場合、背景にかけると合成の抜けが良くなります。
検出した色部分は検出パターンと通常画面が交互に表示されます。検出パターンは画面ではゼブラパターンで表示され、接続したテレビやパソコンでは白く表示されます。
「エフェクトレベル」を「ハイ」にすると、ノイズ低減レベルが最大になります。

TAPE | CARD

VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「SELECTIVE NR」➤ 設定項目を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して調整する項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ 必要な調整を行う
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
④「エフェクトレベル」で「ハイ」、「ミドル」または「ロー」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
・「切」以外にすると画面に「 S-NR 」が出ます。
⑤ MENUボタンを押す

色相

検出する色の色相を調整します。赤みの強い青（6）〜シアン〜黄色みの強い緑（−6）の範囲で指定します。
色相の黄⇔赤の領域に対してノイズを低減したいときは、スキンディテールを使います。

クロマ

検出する色の彩度を−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると鮮やかな色を検出し、−側にすると薄い色を検出します。

エリア

検出する色の色彩の幅を−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると広い範囲の色彩を検出し、−側にすると狭い範囲の色彩を検出します。

Yレベル

検出する色の明るさを−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると明るい肌色を検出し、−側にすると暗い肌色を検出します。

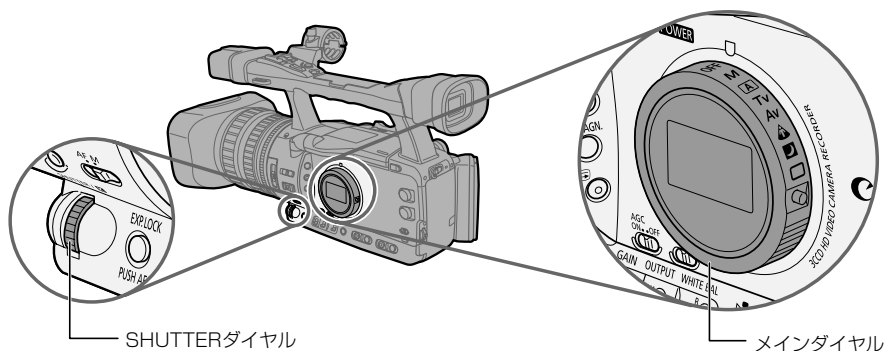
クリアスキャン

クリアスキャン機能では、パソコンの画面などを撮影するときに出る黒い帯を出ないようにして撮影できます。
● 設定できる周波数は60.1Hz〜203.9Hzです。

撮影編

操作のしかた

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 メインダイヤルをMまたはTvにする

2 SHUTTERダイヤルを回して「CS」を表示させる

・・・ 1/8000秒 ↔ 1/15000秒 ↔ CS（クリアスキャン）

3 周波数を選ぶ

MENU

SELECT/SET

カメラ設定
クリアスキャン・・・・・ 60.1Hz
選択 SET戻り MENU終了

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「クリアスキャン」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ 画面を見ながら、黒い帯が出ないように周波数を選ぶ
④ MENUボタンを押す

カスタムキー

本機ではさまざまな機能の中から使用頻度の高い2つをカスタムキー（専用ボタン）に設定できます。カスタムキーは、カメラモード、VCR/PLAYモード、カードカメラモード、カードVCR/PLAYモードでそれぞれ独立して設定できます。
ご購入時は、下記のように設定されています。

	カメラモード	VCR/PLAYモード	カードカメラモード	カードVCR/PLAYモード
CUSTOM KEYS 1	タイムコード	オンスクリーン	ゼブラパターン	オンスクリーン
CUSTOM KEYS 2	インデックス記録	データコード	オンスクリーン	CVF+LCD BW

カスタムキーの設定は、カメラモード／カードカメラモードでは「表示設定」サブメニューの「ガイド」で「カスタムキー」を選ぶと、VCR/PLAYモード／カードVCR/PLAYモードでは「表示設定」サブメニューで「カスタムキー」で「入」を選ぶと画面に表示できます。

以下の機能がカスタムキーに設定可能です。
□の機能はカスタムキーを使った場合のみ操作可能です（インデックス記録のみリモコンでも操作できます）。

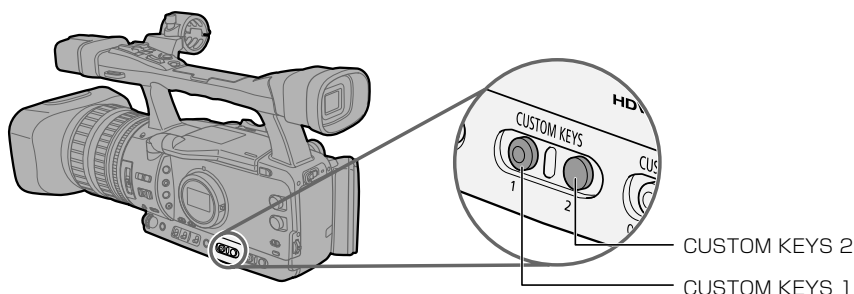
カメラモード
- タイムコード
- [インデックス記録]
- ゼブラパターン
- [VCRストップ]
- オンスクリーン
- [TC HOLD]
- レベルメーター
- CVF+LCD BW
- MAGN.ボタンロック
- SHTR D.ロック
- E.LCK B.ロック
- [CPマイナスキー＊]
- SDI出力 XH G1s
- FOCUS LIMIT
- 手ぶれ補正
- OUTPUT CH

＊カスタムキー 2のみ

VCR/PLAYモード
- タイムコード
- オンスクリーン
- データコード
- レベルメーター
- [TC HOLD]
- CVF+LCD BW
- SDI出力 XH G1s
- OUTPUT CH

カードカメラモード
- ゼブラパターン
- オンスクリーン
- CVF+LCD BW
- MAGN.ボタンロック
- SHTR D.ロック
- E.LCK B.ロック
- [CPマイナスキー＊]
- SDI出力 XH G1s
- FOCUS LIMIT
- 手ぶれ補正
- OUTPUT CH

＊カスタムキー 2のみ

カードVCR/PLAYモード
- オンスクリーン
- CVF+LCD BW
- SDI出力 XH G1s

設定のしかた

TAPE | CARD

VCR/PLAY | M | A | Tv | Av | | |

① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「カスタムキー 1」/「カスタムキー 2」➤ 設定項目を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
・ カスタムキーを使わないときは「(未設定)」を選びます。
③ MENUボタンを押す

操作のしかた

ここでは、カスタムキーに設定した機能で使用するボタンを「　」に入れて<「インデックス」ボタン>のように表記しています。

タイムコード

「タイムコード」ボタンを押すと、タイムコードの設定メニュー画面になります。

インデックス記録

撮影場面の任意の位置にインデックス信号を記録できます。再生時に頭出しできますので、編集などに便利です（📖 127)。

● インデックス信号をあとから記録することはできません。また、消去できません。

撮影一時停止中

❶「インデックス記録」ボタンを押す

● インデックス表示が出る。

❷ START/STOPボタンを押す

● 撮影が始まり、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

撮影中

❶「インデックス記録」ボタンを押す

● インデックス表示が出て、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

ゼブラパターン

ゼブラパターン表示の入／切を行います。「ゼブラパターン」ボタンを押すたびに切り換わります。

VCRストップ

撮影一時停止中にVCR部分を停止できます。「システム設定」➤「パワーセーブ」を「切」に設定していると、テープ、ヘッドを気にすることなく、撮影準備を行えます。
もう一度「VCRストップ」ボタンを押すと撮影一時停止に戻ります。
VCRストップ状態でSTART/STOPボタンを押しても、撮影は始まります。

● カスタムキーだけで操作できます。

オンスクリーン

画面の情報を本機と接続したモニターTVにも表示できます。
「オンスクリーン」ボタンを押すたびに切り換わります。

次のページへ

カスタムキー…つづき

データコード

データコード表示の入/切を行います。
「データコード」ボタンを押すたびに切り換わります。

TC HOLD（タイムコードホールド）

「TC HOLD」ボタンを押すと、本機に表示されるタイムコード値を保持できます。保持中でもタイムコードは歩進します。再度「TC HOLD」ボタンを押すと、歩進していたタイムコードが表示されます。

- タイムコード保持中は画面に「H」が表示されます。また、液晶表示パネルにHOLDが表示されます。
- TIME CODE端子*、HD/SD SDI端子*、LANC端子、HDV/DV端子に出力されるタイムコードはホールドされません。A/V1端子とVIDEO 2端子の映像信号に重畳されるタイムコードはホールドされます。
- 電源の入/切、メインダイヤルのカメラモード／VCR/PLAYモードの切り換え、テープ/カードの切り換えを行うことで、タイムコードのホールドは解除されます。
- カスタムキーだけで操作できます。

＊ XH G1s のみ

レベルメーター

レベルメーター表示の入/切を行います。
「レベルメーター」ボタンを押すたびに切り換わります。

CVF+LCD BW

画面の白黒表示の入/切を行います（「入」にしても、表示文字などはカラーで表示されます）。
「CVF+LCD BW」ボタンを押すたびに切り換わります。

MAGN.ボタンロック

誤操作を防ぐために、MAGN.（拡大）ボタンを無効にできます。押すたびに有効、無効が切り換わります。

SHTR D.ロック

誤操作を防ぐため、SHUTTER（シャッター）ダイヤルを無効にできます。押すたびに有効、無効が切り換わります。

E.LCK B.ロック

誤操作を防ぐために、EXP. LOCK/PUSH AEボタンを無効にできます。押すたびに有効、無効が切り換わります。

CPマイナスキー

CUSTOM PRESET SELECTボタンでは、押すたびにカスタムプリセット番号をプラス方向に選びますが、「CPマイナスキー」ボタンでは、押すたびにマイナス方向に選びます。

- カスタムキーだけで操作できます。

SDI出力 XH G1s

「SDI出力」ボタンを押すと、SDI出力の設定メニュー画面になります。

FOCUS LIMIT

フォーカスリミットの入/切を行います。
「FOCUS LIMIT」ボタンを押すたびに切り換わります。

手ぶれ補正

手ぶれ補正の入／切を行います。「手ぶれ補正」ボタンを押すたびに切り換わります。

OUTPUT CH

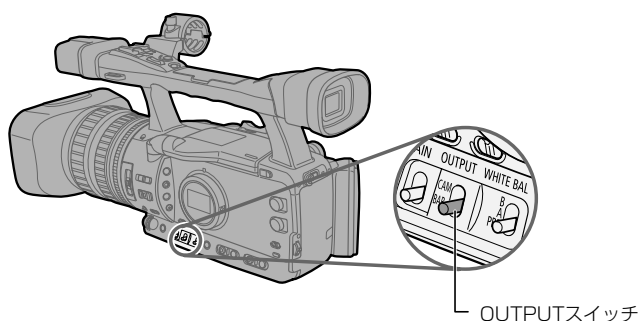
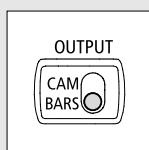
音声出力（A/V1端子、ヘッドホン端子）から出力するチャンネルを切り換えます。押すたびに出力チャンネルが切り換わります。

カラーバー／テストトーンを記録する

カラーバーを記録する

本機では、カラーバーを出力、録画できます。
カラーバーは、カスタムファンクションのCOLOR BARSで、SMPTE準拠（タイプ1）、ARIB準拠（タイプ2）から選べます。（🕮 118）。

OUTPUTスイッチ

TAPE CARD

1 OUTPUTスイッチを「BARS」にする

- 画面にカラーバーが出ます。
- START/STOPボタンを押すことで、テープにカラーバーを記録できます。

テストトーンを記録する

カラーバーと一緒にテストトーン（1kHz、−12dB/−18dB/−20dB）を記録できます。
本機を再生するときに、接続した機器で入力レベルを調整できる場合は、事前に調整できます。
機器に合わせて、レベルを選びます。

TAPE CARD

① カスタムファンクションで1kHz TONEを−12dB/−18dB/−20ｄBから選ぶ（🕮 118）
② OUTPUTスイッチを「BARS」にする
- 選択したレベルのテストトーンが出力されます。
- START/STOPボタンを押すことで、テープにカラーバーとテストトーンを記録できます。

出力信号形式

HD/SD SDI端子（XH G1s）、コンポーネント端子、HDV/DV端子からの出力信号形式は、記録/再生の映像信号形式やメニューの設定に応じて切り換わります。コンポーネント端子（VIEWFINDER COMPONENT OUT）、A/V1端子、VIDEO 2端子からは480/60iになります。

撮影時の出力信号形式

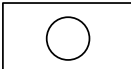
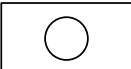
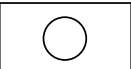
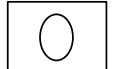
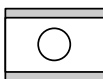
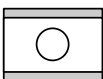
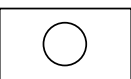
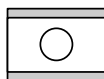
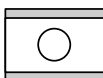
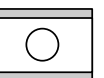
撮影信号形式と各端子から出力される信号形式は次の表のとおりです。
HD撮影時、HD/SD SDI端子からはHD非圧縮YPbPr信号が出力されます。
ダウンコンバートの入/切はメニューで設定できます。

撮影フレームレート	HD/SD SDI端子 XH G1s		コンポーネント端子（HD/SD COMPONENT OUT）		HDV/DV端子
		ダウンコンバート*3*5*7		ダウンコンバート*4*5	
HD 60i	1080/60i	480/60i	1080/60i	480/60i	1080/60i
HD 30F	1080/60i*1	480/60i	1080/60i*1	480/60i	1080/30p
HD 24F	1080/60i*2*6	480/60i	1080/60i*2	480/60i	1080/24p
SD (60i、30F*1、24F*9)	480/60i		480/60i		480/60i

再生時の出力信号形式

再生信号形式と各端子から出力される信号形式は次の表のとおりです。
HDVで記録されたテープの再生時、HD/SD SDI端子からはHDVから変換した信号が出力されます。
ダウンコンバートの入/切はメニューで設定できます。

再生信号形式	レターボックス	HD/SD SDI端子 XH G1s		コンポーネント端子（HD/SD COMPONENT OUT）		HDV/DV端子	
			ダウンコンバート*3*5		ダウンコンバート*4*5		ダウンコンバート*8
HDV 1080/60i	切	1080/60i	480/60i	1080/60i	480/60i	1080/60i	480/60i
	入	480/60i		480/60i			
HDV 1080/30p	切	1080/60i*1	480/60i	1080/60i*1	480/60i	1080/30p	480/60i
	入	480/60i*1		480/60i*1			
HDV 1080/24p	切	1080/60i*2*6	480/60i	1080/60i*2	480/60i	1080/24p	480/60i
	入	480/60i*2		480/60i*2			
DV 480/60i	入/切	480/60i		480/60i		480/60i	

*1 60iに変換。
*2 2:3プルダウン方式で60iに変換。
*3 「信号設定」➤「SDI出力映像」を「SD固定」に設定する。
*4 「信号設定」➤「コンポーネント出力」を「480i」に設定する。
*5 16:9の映像を横方向に圧縮（スクイーズ）して4:3に変換。
*6 TIME CODE端子またはSDI端子から出力されるタイムコード中のユーザービットを2:3プルダウン情報（🕮 52）に設定可能（🕮 149）。
*7 「信号設定」➤「SDI出力」を「入（OSD）」にしても、画面表示は重畳されない。
*8 「信号設定」➤「DV変換」を「入」に設定する。「表示設定」➤「オンスクリーン」を「入」にしても、画面表示は出力されない。
*9 「カメラ設定」➤「24Fプルダウン」の設定に応じて、2:3プルダウン方式または2:3:3:2プルダウン方式で60iに変換。

モニターTVとの接続

記録規格と各端子の出力は以下になります。

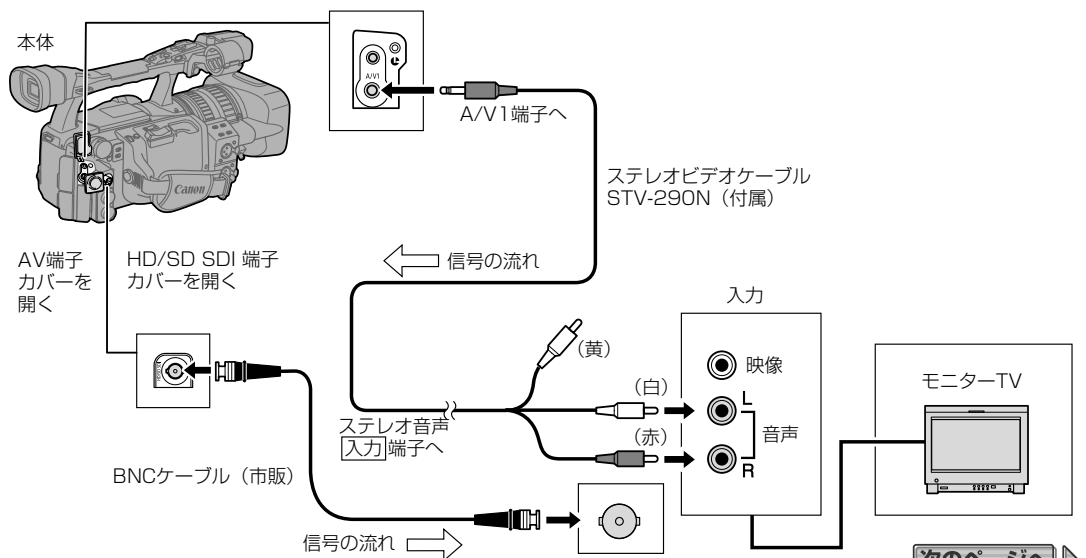
		HD/SD SDI 端子*1	コンポーネント端子	HDV/DV端子	A/V1／VIDEO 2端子
HD規格	レターボックス「切」のとき	1920×1080	D3（1440×1080）*2	MPEG TS	
	レターボックス「入」のとき	SD SDI	D1（SD）	MPEG TS	
SD規格4：3		640×480	D1（SD）ノーマル	DV（SD）	
SD規格16：9	レターボックス「切」のとき	640×480	D1（SD）	DV（SD）	
	レターボックス「入」のとき	SD SDI	D1	DV（SD）	

*1 XH G1s のみ
*2 VIEWFINDER COMPONENT OUT端子はD1出力で、画面表示も出力される。

ハイビジョンモニターTVとの接続

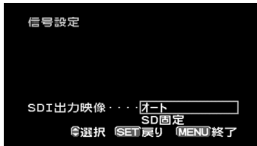
1 HD/SD SDI 端子で接続する XH G1s

● HD/SD SDI 端子からの出力信号にオーディオ信号とタイムコード信号が重畳されています。

次のページへ

モニターTVとの接続…つづき

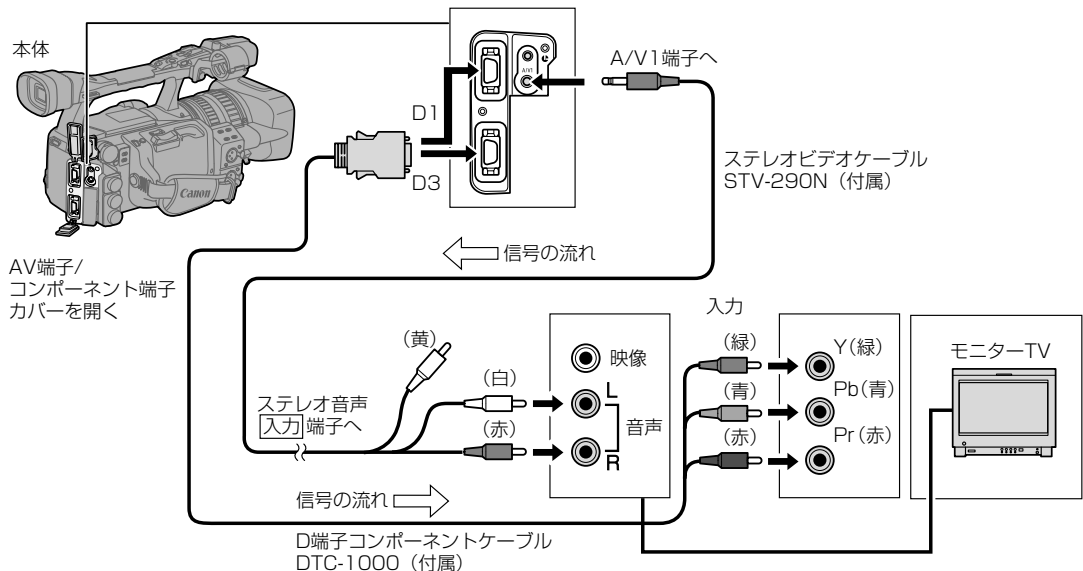
● HD/SD SDI出力を「入」にする

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「SDI出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して「入」または「入（OSD)」を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

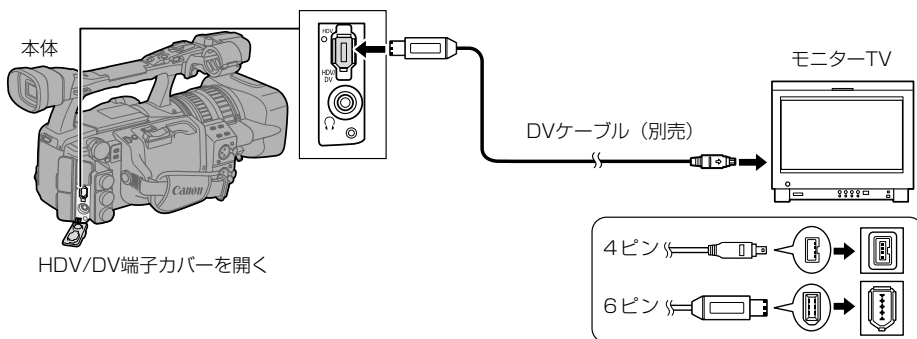
● HD/SD SDI出力を選択する（HDまたはSD）

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「SDI出力映像」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

SDI出力を「入（OSD*)」にすると画面に SDI が表示され、SDIから出力される映像信号に画面表示が重畳されます（*OSD：On Screen Display）。

❍ SDIからの映像に重畳される画面表示は、 DISP.ボタンの設定（□ 35）に連動します。また、セーフティーエリア、水平マーカー、グリッド、エリアマーカーは表示されません。
❍ SDI出力を「入（OSD)」にすると、「信号設定」サブメニューの「コンポーネント出力」は無効になります。

2 コンポーネント端子で接続する

● 接続するモニターTVに合わせて、コンポーネント出力を切り換える

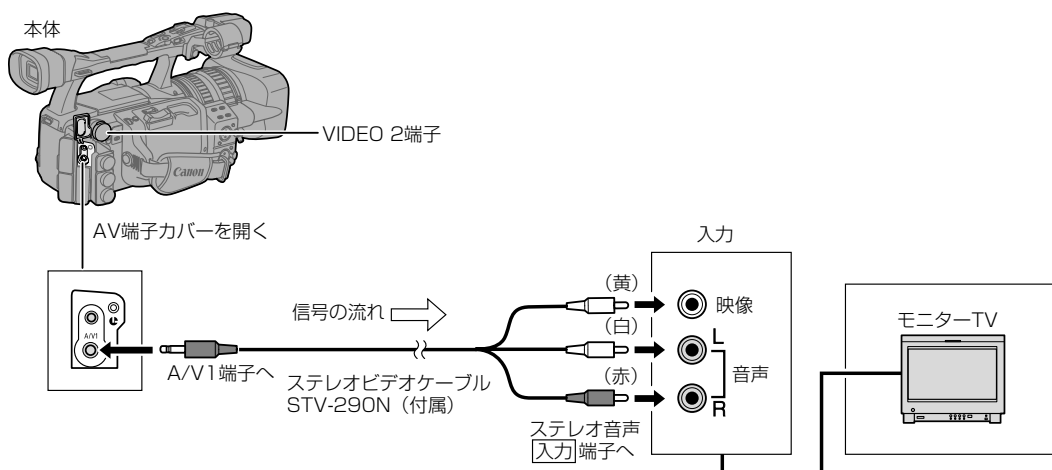
① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「コンポーネント出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

3 HDV/DV端子で接続する

- モニターTVにDVケーブルで接続する場合は、本機を認識させるため、モニターTV側の設定が必要な場合があります。
- 必要に応じてDV変換機能を入/切して、HDV規格で撮影したテープをDV規格に変換するかどうかを選択します（再生時のみ）。

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「DV変換」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

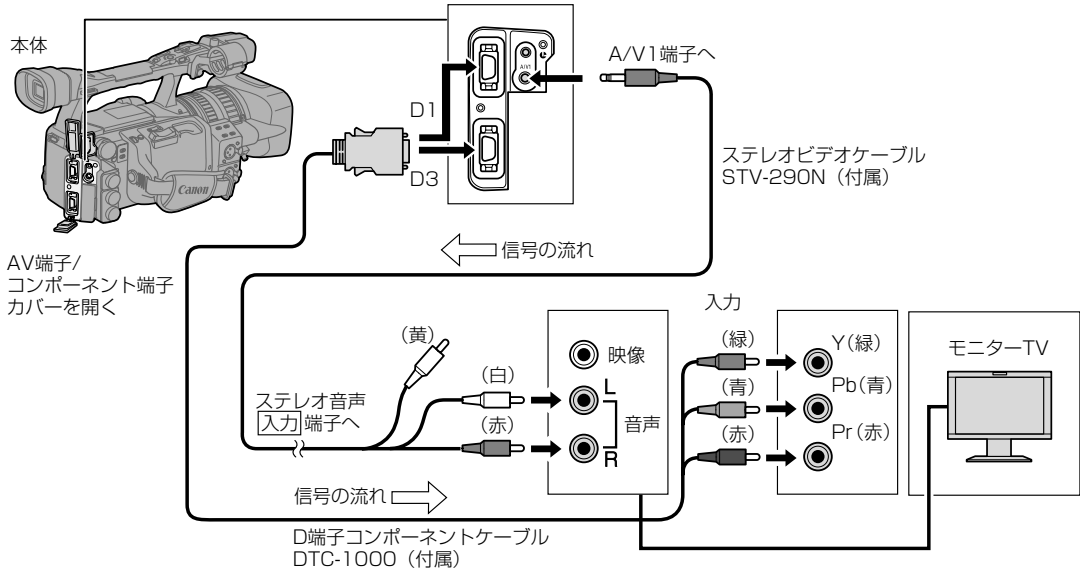
4 A/V1端子またはVIDEO 2端子で接続する

- VIDEO 2端子（BNC端子）を使用する場合は、市販のBNCケーブルを使用してください。

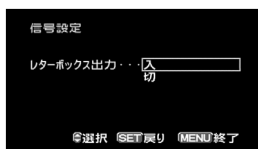
次のページへ

モニターTVとの接続…つづき

ワイド/4：3モニターTV（ハイビジョン非対応モニター）との接続

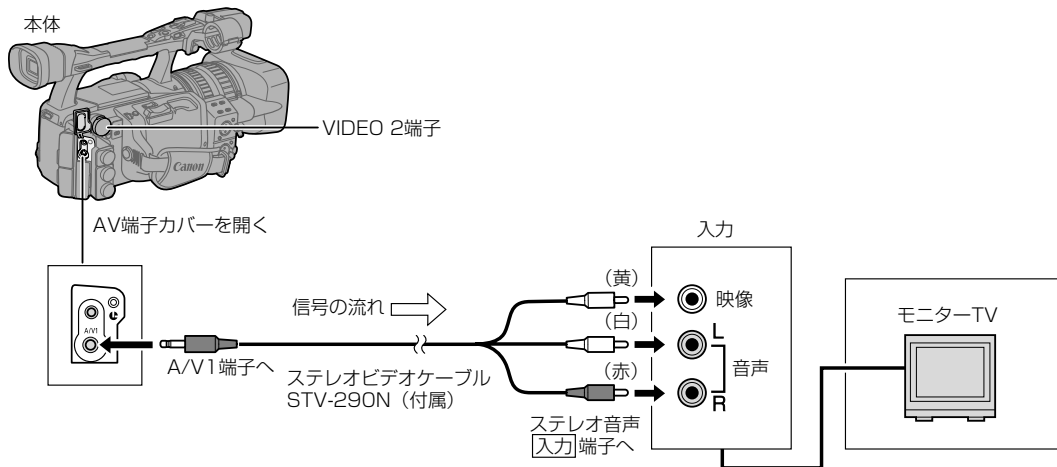
接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

1 コンポーネント端子で接続する

● 接続するモニターTVに合わせて、コンポーネント出力を切り換える

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「コンポーネント出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

● 4：3モニターTVに接続するときは、レターボックス出力の設定を行う（再生時のみ）

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「レターボックス出力」➤「入」を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

2 A/V1端子またはVIDEO 2端子で接続する

● VIDEO 2端子（BNC端子）を使用する場合は、市販のBNCケーブルを使用してください。

❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。

❍ **ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**
本機のワイドテレビ用「16：9」機能（📖38）で撮影した映像をテレビで見るときに、A/V1端子またはVIDEO 2端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

音声出力を選択する

音声出力チャンネルを選ぶ

音声出力（A/V1端子、ヘッドホン端子）から出力するチャンネルを選択します。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」→「OUTPUT CH」→設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

出力チャンネル

カメラモード

	OUTPUT CH			
	CH❶/CH❷	CH❶/H❶	CH❷/CH❷	ALL CH/ALL CH
撮影時	CH1/CH2	CH1/CH1	CH2/CH2	ALL CH/ALL CH

VCR/PLAYモード

		OUTPUT CH			
		CH❶❸/CH❷❹	CH❶❸/CH❶❸	CH❷❹/CH❷❹	ALL CH/ALL CH
再生時	2CH	CH1/CH2	CH1/CH1	CH2/CH2	ALL CH/ALL CH
HDV/DV入力時*2	4CH*1	「音声モニター」の設定によって決まる（🕮 97）。			
アナログ入力時*2		CH1/CH2	CH1/CH1	CH2/CH2	ALL CH/ALL CH

*1 他機でオーディオ4CH記録したテープを本機で再生する場合など。
*2 入力信号を記録する（🕮 99）。

音声出力レベルを切り換える

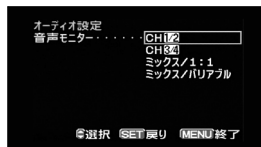
音声出力（A/V1端子）の出力レベルを切り換えます。2Vrmsにすると、出力レベルが6dB上がります。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「OUTPUTレベル」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して「1Vrms」または「2Vrms」を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

❍ ヘッドホン端子の出力レベルは変わりません。

音声モニターを選ぶ

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「音声モニター」➤ 設定内容を順に選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び（下表参考）、ダイヤルを押して設定します。
- 音声モニターの設定は、リモコンのAUDIO MONITORボタン（□ 17）でもできます。
- 「ミックス／バリアブル」を選んだときのチャンネル1/2とチャンネル3/4のバランスは、「ミックスバランス」（□ 160）またはリモコンのMIX BALANCEボタン（□ 17）で行います。

③ MENUボタンを押す

音声モニター	OUTPUT CH	出力信号				
		2ch記録時		4ch記録時		
		L端子	R端子	L端子	R端子	CH1/2とCH3/4のミックス比
CH1/2	CH13/CH24	CH1	CH2	CH1	CH2	
	CH13/CH13	CH1	CH1	CH1	CH1	
	CH24/CH24	CH2	CH2	CH2	CH2	
	ALL CH/ALL CH	CH1+CH2	CH1+CH2	CH1+CH2	CH1+CH2	
CH3/4	CH13/CH24			CH3	CH4	
	CH13/CH13			CH3	CH3	
	CH24/CH24			CH4	CH4	
	ALL CH/ALL CH			CH3+CH4	CH3+CH4	
ミックス/1:1	CH13/CH24			CH1+CH3	CH2+CH4	固定
	CH13/CH13			CH1+CH3	CH1+CH3	固定
	CH24/CH24			CH2+CH4	CH2+CH4	固定
	ALL CH/ALL CH			CH1+CH2+CH3+CH4	CH1+CH2+CH3+CH4	固定
ミックス/バリアブル	CH13/CH24			CH1+CH3	CH2+CH4	可変
	CH13/CH13			CH1+CH3	CH1+CH3	可変
	CH24/CH24			CH2+CH4	CH2+CH4	可変
	ALL CH/ALL CH			CH1+CH2+CH3+CH4	CH1+CH2+CH3+CH4	可変

デジタルビデオ（DV）コントロール機能

本機のHDV／DV端子とDV端子を持つほかのビデオ機器などを接続することで、本機のSTART/STOPボタンで接続した機器の録画、一時停止を操作できます。

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

IEEE1394端子には、4ピンと6ピンがあり、本機のHDV/DV端子は6ピンです。端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-250F（4ピン-6ピン）または、市販の6ピン－6ピンのケーブルなどを使います。

① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「DVコントロール」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して「入 DV」を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

① 本機が録画一時停止中
START/STOPボタンを押す
本機：録画
接続した機器：録画

② 本機が録画中
START/STOPボタンを押す
本機：録画一時停止
接続した機器：録画一時停止

③ カセットが入っていないなど本機が録画できない場合
START/STOPボタンを押す
接続した機器：本機のSTART/STOPボタンを押すたびに、録画と録画一時停止を繰り返す

④ 接続した機器が録画中に本機にカセットを入れた場合
START/STOPボタンを押す

本機：録画一時停止
接続した機器：録画
➡
本機：録画
接続した機器：録画を継続

本機と接続した機器が録画中にSTART/STOPボタンを押すとともに録画一停止になる（②と同じ）

- 本機と接続した機器が録画中に、本機のSTART/STOPボタン以外で本機の録画が終了した（テープが終わりになるなど）場合は、接続した機器はそのまま録画を続けます。
- 本機の録画が終了したときに、接続した機種によっては、一瞬音声が途切れることがあります。

接続した機器が録画中	DV ●
接続した機器が録画一時停止または停止中	DV ■
接続した機器が録画、録画一時停止、停止以外の場合	DV - - -
DVコントロール機能が「入」でHDV/DV端子にDVコントロール可能な機器が接続されていない場合	DV

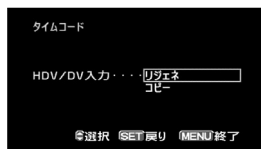
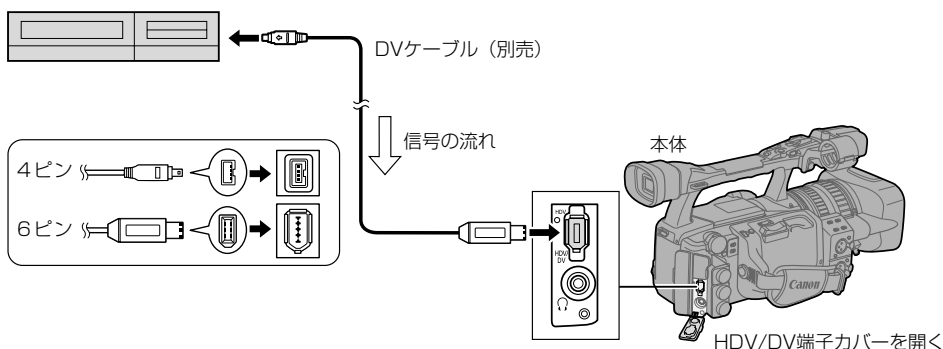
DVコントロール機能では
- DVコントロールの設定は電源を切っても記憶しています（内蔵型リチウム2次電池で記憶）。接続した機器のテープを上書きしてしまうことがありますので、DVコントロールを使用したあとは、設定を確認してください。
- DVコントロール対応のキヤノンビデオカメラを2台接続してDVコントロールするときは、「接続した機器」にあたるビデオカメラはかならずDVコントロールを「切」にしてください。
- DVコントロールする場合、接続可能なビデオ機器は本機を含め3台までです。
- 接続する機器によっては正常に動作しないことがあります。

入力信号を記録する（HDV/DV入力、アナログ入力）

本機はHDV/DV端子入力（SDまたはHD規格）、アナログ入力（SD規格）を記録できます。

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

HDV/DV入力

HDV/DV入力時にはコピーするテープのオリジナルのタイムコードを記録することもできます。
リジェネ：本機のタイムコードを記録します。
コピー：　オリジナルテープのタイムコードをコピーできます。

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「タイムコード」➤「HDV/DV入力」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

1 ●ボタンとⅡボタン（リモコンではREC PAUSEボタン）を押す

- 録画一時停止になります。
- 録画一時停止中/録画中は、画面で映像を確認できます。
- ●ボタンだけを押すと、すぐに録画を開始します。

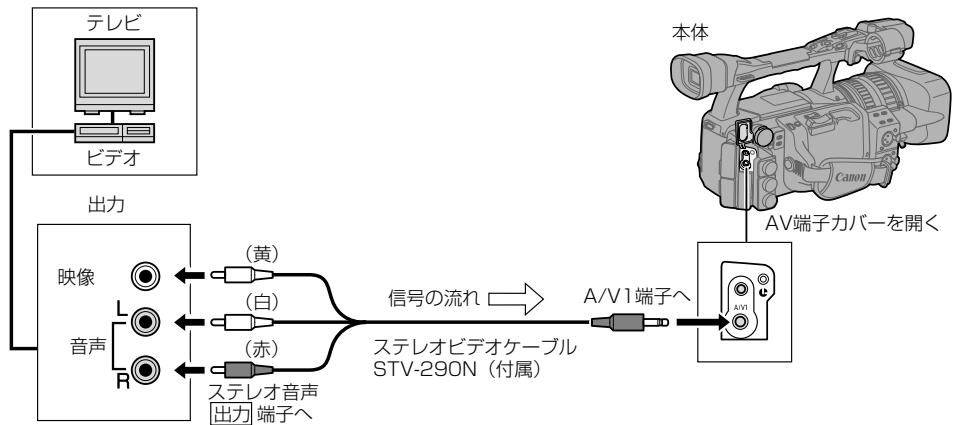
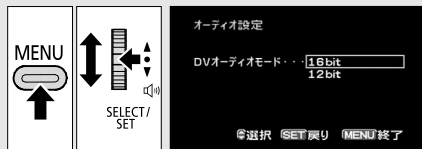
2 Ⅱボタン（リモコンではPAUSE Ⅱボタンを押す）

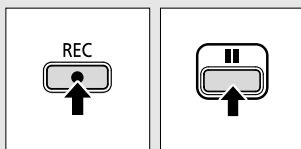
- 録画が始まります。
- 録画を終えるときは■ボタンを押します。

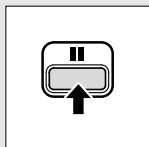
接続編

次のページへ

入力信号を記録する（HDV/DV入力、アナログ入力）…つづき

アナログ入力

1 DVオーディオモードを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「DVオーディオモード」➤ 設定内容を順に選ぶ
· SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

2 ●ボタンと❚❚ボタン（リモコンではREC PAUSEボタン）を押す

- 録画一時停止になります。
- 録画一時停止中/録画中は、画面で映像を確認できます。
- ●ボタンだけを押すと、すぐに録画を開始します。

3 ❚❚ボタン（リモコンではPAUSE❚❚ボタン）を押す

- 録画が始まります。
- 録画を終えるときは■ボタンを押します。

アナログ－デジタル変換

アナログ入力信号をSD規格のデジタル信号に変換して、HDV/DV端子から出力できます。

設定のしかた

① MENUボタンを押す
② 「信号設定」➤「AV➡DV」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・「入」を選ぶと、「AV➡DV」の表示が出ます。

❍ 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
例：著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等
❍ 通常は「AV➡DV」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のHDV/DV端子からデジタル信号を入力できません。
❍ IEEE1394端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

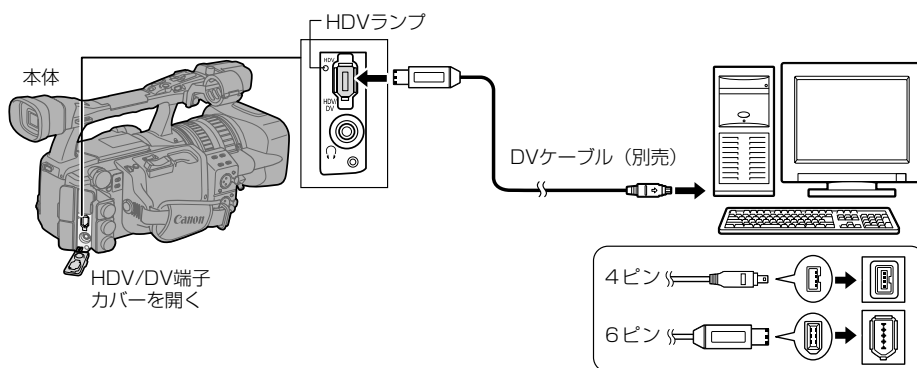
❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
❍ リモコンでも操作できます。リモコンのAV→DVボタンを押します。ボタンを押すたびに、「入」と「切」を切り換えられます。

接続編

パソコンとの接続（DVケーブルIEEE1394接続）

本機とパソコンを接続するときは、パソコンがIEEE1394（DV）端子を搭載していて、ビデオ信号を取り込める編集ソフトウェアがインストールされていることが必要です。パソコンの使用環境については、ソフトウェアの説明書をご覧ください。

操作のしかた

パソコンのIEEE1394（DV）端子は、4ピンと6ピンがあり、本機のHDV/DV端子は6ピンです。端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-250F（4ピン−6ピン）または、市販の6ピン−6ピンのケーブルを使います。

❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
❍ 本機とパソコンを接続したときにパソコン上で操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
① 本機とパソコンからDVケーブルを抜いてから、本機とパソコンの電源を切る。
② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。
❍ HDV/DV端子のHDVランプの点灯/消灯が示す規格の信号を扱えるパソコンと接続してください。扱えない信号を入出力すると、パソコンが本機を正しく認識しなかったり、正しく動作しないことがあります。

❍ パソコンやソフトウェアの説明書もあわせてご覧ください。
❍ VCRメニューの「再生規格」、「DV変換」は接続したパソコンの環境に合わせて設定してください。
❍ テープの動画をパソコンに取り込むとき

HDV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「HDV」にして、「DV変換」を「切」にしてください。

DV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「DV」にしてください。

HDV規格で記録したテープをDV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「HDV」にして、「DV変換」を「入」にしてください。

❍ パソコンから本機にビデオ信号を取り込むとき

HDV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「HDV」にして、「DV変換」を「切」にしてください。

DV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「DV」にしてください。

カスタムプリセット

本機には撮影時に画作りを行うための23種類のカスタムプリセットが用意されています（動画撮影時は23項目、静止画撮影時は17項目）。設定したカスタムプリセットは本機に9セット（7～9はシーン設定値）、カードに20セットまで保存でき、本機とカードに保存したカスタムプリセットは相互にコピーできます。また、動画撮影時に、静止画とカスタムプリセット設定を同時にカードに保存できます。
XL H1S/XL H1AとXH G1/XH A1のカスタムプリセット設定を本機で使用できます。また、本機のカスタムプリセット設定をXL H1S/XL H1AとXH G1/XH A1で使用することもできます。

1	GAM	ガンマ*1	光の階調に関わるグループ
2	KNE	ニー	
3	BLK	ブラック	
4	PED	マスターペデスタル*1	
5	SET	セットアップレベル*1	
6	SHP	シャープネス	輪郭やノイズに関わるグループ
7	HDF	水平ディテール周波数	
8	DHV	水平/垂直ディテールバランス	
9	COR	コアリング	
10	NR1	ノイズリダクション1*1	
11	NR2	ノイズリダクション2*1	
12	CMX	カラーマトリクス*1	色の方向性や強さに関わるグループ
13	CGN	カラーゲイン	
14	CPH	色相	
15	RGN	Rゲイン	
16	GGN	Gゲイン	
17	BGN	Bゲイン	
18	RGM	R-Gマトリクス	色の変換に関わるグループ
19	RBM	R-Bマトリクス	
20	GRM	G-Rマトリクス	
21	GBM	G-Bマトリクス	
22	BRM	B-Rマトリクス	
23	BGM	B-Gマトリクス	

*1 動画撮影時のみ

カスタムプリセット…つづき

設定のしかた

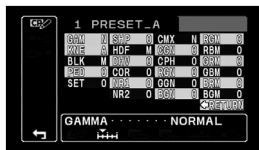
TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

❶ カスタムプリセットを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムプリセット」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ カスタムプリセットサブメニューで を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
・ カスタムプリセット設定メニューが出ます。
④ SELECT/SETダイヤルを回して「SELECT CP」を選び、ダイヤルを押す

⑤ SELECT/SETダイヤルを回して設定するカスタムプリセットを選び、ダイヤルを押して設定する
・ カスタムプリセット設定メニューに戻ります。

❷ カスタムプリセットを設定する

① SELECT/SETダイヤルを回して「TUNE」を選び、ダイヤルを押す
・ カスタムプリセット設定項目選択画面が出ます。

② SELECT/SETダイヤルを回して設定する項目を選び、ダイヤルを押して設定する
・ 設定する画面が出ますので、画面で効果を確認しながら、SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

③ カスタムプリセットの設定が終わったら、SELECT/SETダイヤルを回して「⬅ RETURN」を選び、ダイヤルを押す
・ カスタムプリセット設定メニューに戻ります。

❸ カスタムプリセットの名前を変更する

① SELECT/SETダイヤルを回して「RENAME」を選び、ダイヤルを押す
・ カスタムプリセットの先頭の文字が点滅します。

② SELECT/SETダイヤルを回してアルファベット、数字、記号を選び、ダイヤルを押す
・ 続いて右隣の桁の設定になります。最後の桁を設定して、ダイヤルを押すと、カスタムプリセット設定メニューに戻ります。

❹ カスタムプリセット設定をプロテクトする

① SELECT/SETダイヤルを回して「PROTECT」を選び、ダイヤルを押す
- カスタムプリセット名の右に🔑が出ます。
- プロテクトを解除するときは、プロテクト設定しているカスタムプリセットを選び、「PROTECT」を選び、ダイヤルを押します。🔑が消えます。

❺ カスタムプリセット設定を初期値に戻す（リセット）

① SELECT/SETダイヤルを回して「RESET」を選び、ダイヤルを押す
- 確認画面が出ます。

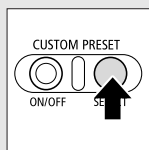
② SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す

❻ カスタムプリセットサブメニューに戻る

① SELECT/SETダイヤルを回して「↶」を選び、ダイヤルを押す

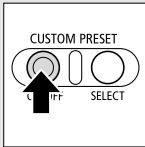
カスタマイズ編

カスタムプリセットを使って撮影する

1 CUSTOM PRESET SELECTボタンを押す

- プリセット番号を選びます（カスタムキー2を「CPマイナスキー」に設定すると便利です（📖88)。
- カスタムプリセットを使用しないときはCP OFFを選びます（約4秒後に表示は消えます）。
- 操作後4秒間、カスタムプリセットの名称が出ます。

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

2 CUSTOM PRESET ON/OFFボタンを押す

- 設定したカスタムプリセット画面になります。
- 操作後4秒間、カスタムプリセットの名称が出ます。OFFにしたときは点滅します。

カスタムプリセット設定をカードにコピーする

カスタムプリセット設定は20セットまでカードに保存できます。21以上の設定を保存/コピーしようすると上書きされます（上書きされるカスタムプリセット設定は、選択できます）。

VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

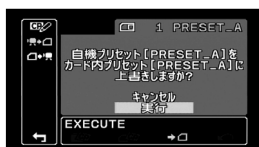
❶ コピーするプリセットを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムプリセット」➤「→」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
・ カスタムプリセット→コピー設定メニューが出ます。

③ カスタムプリセット→コピー設定メニューで、SELECT/SETダイヤルを回して「SELECT CP」を選び、ダイヤルを押す

④ SELECT/SETダイヤルを回してコピーするカスタムプリセットを選び、ダイヤルを押して設定する

❷ カード内のカスタムプリセットを選ぶ

① カスタムプリセット→コピー設定メニューで、SELECT/SETダイヤルを回して「SAVE POSITION」を選び、ダイヤルを押す
② SELECT/SETダイヤルを回して保存先のカスタムプリセットを選び、ダイヤルを押して設定する
・ カードにカスタムプリセット設定がない場合は、新規カスタムプリセット（NEW_FILE）になります。

❸ カスタムプリセット設定をカードにコピーする

① カスタムプリセット→コピー設定メニューで、SELECT/SETダイヤルを回して「EXECUTE」を選び、ダイヤルを押す
・ 確認画面が出ます。
② SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す

カスタムプリセット設定をカードから本機にコピーする

TAPE | CARD

VCR/PLAY | M | A | Tv | Av | | |

❶ コピーするプリセットを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムプリセット」➤「」を選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
- カスタムプリセットコピー設定メニューが出ます。

③ カスタムプリセットコピー設定メニューで、SELECT/SETダイヤルを回して「IMPORT」を選び、ダイヤルを押す

④ SELECT/SETダイヤルを回してコピーするカスタムプリセットを選び、ダイヤルを押して設定する

❷ 本機のカスタムプリセットを選ぶ

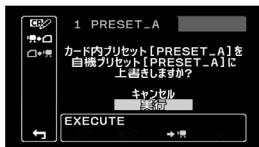
① カスタムプリセットコピー設定メニューでSELECT/SETダイヤルを回して「SELECT POSITION」を選び、ダイヤルを押す
② SELECT/SETダイヤルを回して保存先のカスタムプリセットを選び、ダイヤルを押して設定する

❸ カスタムプリセット設定を本機にコピーする

① カスタムプリセットコピー設定メニューでSELECT/SETダイヤルを回して「EXECUTE」を選び、ダイヤルを押す

② SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す

カスタマイズ編

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

使用しているカスタムプリセット設定を静止画と一緒にカードに保存する

カメラモードで使用しているカスタムプリセット設定とその場面の静止画をカードに保存できます。場面に合わせてカスタムプリセット設定を再現する時に便利です。
静止画記録を「PHOTO＋CP DATA」にして、静止画と一緒にカスタムプリセットを保存するときは、通常のカスタムプリセットと異なり、カードの容量いっぱいまで静止画/カスタムプリセットを保存できます。

カスタムファンクションの10 PHOTO BUTTON（静止画記録）でPHOTO+CP DATAを選択します（📖118）。

PHOTOボタンを押す

使用しているカスタムプリセット設定と静止画がカードに記録されます。

静止画と同時に記録したカスタムプリセットをコピーする

1 コピーするプリセット設定を保存した静止画を画面に出す

- CARD＋、CARD－ボタンで静止画を選びます。
- カスタムプリセット設定と一緒に保存された静止画を選ぶと、画面に CP が出ます。

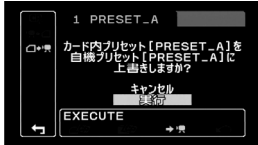
❶ を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「静止画記録CP」➤「 」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
・ カスタムプリセット コピー設定メニューが出ます。

❷ カスタムプリセットの保存先を選ぶ

① SELECT/SETダイヤルを回して「SELECT POSITION」を選び、ダイヤルを押す
② SELECT/SETダイヤルを回して保存先のカスタムプリセットを選び、ダイヤルを押して設定する
・ 静止画の場合、固定になります。

❸ カードのカスタムプリセット設定を本機にコピーする

① SELECT/SETダイヤルを回して「EXECUTE」を選び、ダイヤルを押す
・ 確認画面が出ます。
② SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す

❍ 本機では、カスタムプリセット7〜9にシーン設定値を用意しています。
・ この3つの設定値はプロテクト設定されており、解除しない限り、上書きされません。プロテクト設定を解除して、設定を変更した場合、メニュー➤システム設定➤設定初期化を行うことで、プロテクト設定された元の設定値に戻すことができます。
・ カスタムプリセットメニューの中で「リセット」を行うと、1〜6の初期値と同じ状態になります。

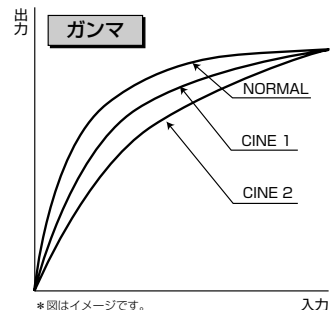
❍ **カスタムプリセット7**　VIDEO.C
民生用の薄型テレビでの再生に適した設定になります。
BLK（ブラック）：PRESS
SET（セットアップレベル）：−2
PED（マスターペデスタル）：−2

❍ **カスタムプリセット8**　CINE.V
テレビモニター再生時に、シネマライクな映像にする時に適しています。
GAM（ガンマ）：CINE1
KNE（ニー）：LOW
BLK（ブラック）：STRETCH
SHP（シャープネス）：−4
CMX（カラーマトリクス）：CINE1
CGN（カラーゲイン）：−20
CPH（色相）：5
RGM（RGマトリクス）：10
RBM（RBマトリクス）：−5
GRM（GRマトリクス）：−5
GBM（GBマトリクス）：−5
BRM（BRマトリクス）：5
BGM（BGマトリクス）：12

❍ **カスタムプリセット9**　CINE.F
撮影した素材をフィルム化（キネコ）して上映する場合に適しています。
GAM（ガンマ）：CINE2
KNE（ニー）：LOW
BLK（ブラック）：STRETCH
SHP（シャープネス）：6
CMX（カラーマトリクス）：CINE2
RGN（Rゲイン）：−8
＊上記の以外の項目はセンター値になります。

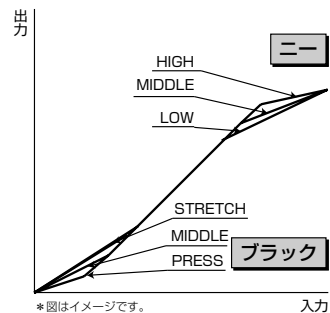
GAM（ガンマ） TAPE CARD

画面全体のテイストを決めるガンマカーブを「NORMAL」、「CINE1」、「CINE2」から選択します。

ノーマルはビデオガンマになります。
シネマ1はフィルムからテレシネしたガンマに適しています。
シネマ2はキネコなどフィルムレコーディング用に適しています。

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

KNE（ニー） TAPE CARD

画面内のハイライト部をコントロールするニーポイントを**「AUTO」**、「HIGH」、「MIDDLE」、「LOW」から選択します。

BLK（ブラック） TAPE CARD

画面内のシャドウ部をコントロールするブラックレベルを「STRETCH」、**「MIDDLE」**、「PRESS」から選択します。

PED（マスターペデスタル） TAPE CARD

ビデオの輝度信号のベースとなるペデスタルレベル下限を規定します。－側で黒が沈み、＋側で黒が浮きます。－9～**0**～＋9の範囲で調整します。

SET（セットアップレベル） TAPE CARD

マスターペデスタルで規定した映像信号上で最も暗い黒のレベルを規定します。－側で画面が暗く、＋側で画面が明るくなります。－9～**0**～＋9の範囲で調整します。

- マスターペデスタルの設定に応じて、セットアップレベルが0を下回らないように可変範囲が変化します。このため、マスターペデスタルを－側に設定している場合には、セットアップレベルを調整しても変化しない範囲があらわれる場合があります。

SHP（シャープネス） TAPE CARD

撮影される映像の鮮明度合いを調節するシャープネスを－9～**0**～＋9の範囲で調整します。シャープネスを上げすぎると発生する特有のノイズ成分はコアリングで低減します。

HDF（H DTL FREQ）（水平ディテール周波数） TAPE CARD

撮影される映像の水平方向の鮮明度合いを調節する水平ディテール周波数を「HIGH」、**「MIDDLE」**、「LOW」から選択します。

DHV（DTL HV BAL）（水平/垂直ディテールバランス） TAPE CARD

撮影される映像の水平、垂直方向の鮮明度バランスを－9～**0**～＋9の範囲で調整します。－9では水平だけ、＋9では垂直だけになります。

COR（コアリング） TAPE CARD

シャープネスを上げたことで発生するノイズ成分を低減するコアリングを－9～**0**～＋9の範囲で調整します。

NR1（ノイズリダクション1） TAPE CARD

暗い場所の撮影やゲインを上げたときの撮影で発生するざらつきノイズを低減します。**「OFF」**、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。

- ゲインの設定によって、画面のざらつきが少ない場合は効果がわかりにくい場合があります。

「OFF」以外に設定すると、動いている被写体では残像が出ることがあります。

NR2（ノイズリダクション2） TAPE CARD

動きのある被写体を撮影するときにNR1と同様にノイズを低減します。全体にスキンディテールをかけたようなソフトフォーカスの映像になります。**「OFF」**、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。
- NR1と異なり、残像は出ません。

CMX（カラーマトリクス） TAPE CARD

基礎的な色調を設定して画全体のムードを決めます。**「NORMAL」**、「CINE1」、「CINE2」から選択します。

CGN（カラーゲイン） TAPE CARD

色の濃淡をコントロールするカラーゲインを－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

CPH（色相） TAPE CARD

色のバランスを整えるため、赤紫から黄緑への幅で色調を調整します。－9～**0**～＋9の範囲で調整し、＋側で赤紫側へシフトし、－側で黄緑側へシフトします。

RGN（Rゲイン） TAPE CARD

赤色の濃淡をコントロールするRゲインを－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

GGN（Gゲイン） TAPE CARD

緑色の濃淡をコントロールするGゲインを－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

BGN（Bゲイン） TAPE CARD

青色の濃淡をコントロールするBゲインを－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

RGM（R-Gマトリクス） TAPE CARD

シアンからグリーンにわたる色調とレッドからマゼンタにわたる色調が変化し、シアンとレッドが最も影響を受けます。－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

RBM（R-Bマトリクス） TAPE CARD

シアンからブルーにわたる色調とレッドからイエローにわたる色調が変化し、シアンとレッドが最も影響を受けます。－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

GRM（G-Rマトリクス） TAPE CARD

マゼンタからレッドにわたる色調とグリーンからシアンにわたる色調が変化し、マゼンタとグリーンが最も影響を受けます。－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

GBM（G-Bマトリクス） TAPE CARD

マゼンタからブルーにわたる色調とグリーンからイエローにわたる色調が変化し、マゼンタとグリーンが最も影響を受けます。－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

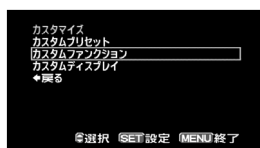
BRM（B-Rマトリクス） TAPE CARD

イエローからレッドにわたる色調とブルーからシアンにわたる色調が変化し、イエローとブルーが最も影響を受けます。－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

BGM（B-Gマトリクス） TAPE CARD

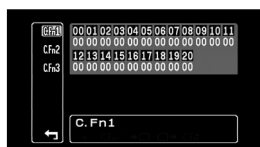
イエローからグリーンにわたる色調とブルーからマゼンタにわたる色調が変化し、イエローとブルーが最も影響を受けます。－50～**0**～＋50の範囲で調整します。

カスタムファンクション

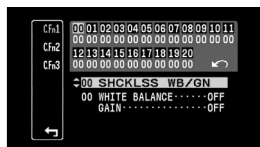
おもにカメラモードで使用する機能を撮影スタイルに応じて細かく変更できます。
設定した内容は、本機/カードともに1～3のカスタムファンクションに保存できます。また、カードを使うことで、複数のXH G1S／XH A1Sを簡単に同じ状態に設定できます。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

カスタムファンクションを設定する

❶ 設定するカスタムファンクションの番号を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムファンクション」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

③ カスタムファンクションサブメニューで、カスタムファンクション番号を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

❷ カスタムファンクションを設定する

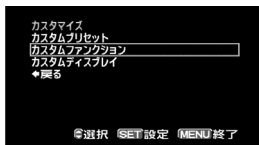
① SELECT/SETダイヤルを回して「変更」を選び、ダイヤルを押す
・ カスタムファンクション設定項目選択画面が出ます。
② SELECT/SETダイヤルを回して設定する項目を選び、ダイヤルを押して設定する
・ 設定する画面が出ますので、SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
・ 複数の設定項目がある場合は、順番にすべての組み合わせが選択できます。

③ カスタムファンクションの設定が終わったら、SELECT/SETダイヤルを回して「RETURN」を選び、ダイヤルを押す
・ カスタムファンクション設定メニューに戻ります。

❸ カスタムファンクション設定を初期値に戻す（リセット）

① SELECT/SETダイヤルを回して「リセット」を選び、ダイヤルを押す
・ 確認画面が出ます。

② SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す

設定したカスタムファンクションを使う

❶ 使用するカスタムファンクションの番号を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムファンクション」を選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

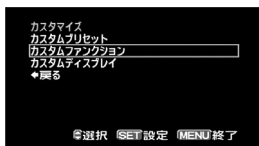
③ カスタムファンクションサブメニューで、カスタムファンクション番号を選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

❷ 選択したカスタムファンクションを有効にする

① SELECT/SETダイヤルを回して「セット適用」を選び、ダイヤルを押す
　・確認画面が出ます。

② SELECT/SETダイヤルを回して「有効」を選び、ダイヤルを押す
　・ 選択したカスタムファンクションが有効になり、カスタムファンクション番号に「✓」が付きます。
　・ カスタムファンクションを設定しても有効にしない場合は、未設定と同じ状態になります。

カスタムファンクション設定をカードにコピーする

❶ コピーするカスタムファンクションを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムファンクション」を選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

③ カスタムファンクションサブメニューで、カスタムファンクション番号を選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

次のページへ

カスタムファンクション…つづき

❷ カードにコピーする

① SELECT/SETダイヤルを回して「カードへ保存」を選び、ダイヤルを押す

② SELECT/SETダイヤルを回して保存先のファイル番号を選び、ダイヤルを押す
・確認画面が出ます。

③ SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す
・選択したカスタムファンクションがカードにコピーされ、保存終了を示す画面が出ます。

カスタムファンクション設定をカードから本機にコピーする

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムファンクション」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ カスタムファンクションサブメニューで、カスタムファンクション番号を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

④ SELECT/SETダイヤルを回して「カードから読み込み」を選び、ダイヤルを押す
⑤ SELECT/SETダイヤルを回してカードのファイル番号を選び、ダイヤルを押す
・ 確認画面が出ます。

⑥ SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す
・ カスタムファンクションがカードからコピーされ、保存終了を示す画面が出ます。

XL H1S/XL H1AとXH G1/XH A1のカスタムファンクション設定は本機で使用できません。

カスタムファンクションはメインダイヤルの位置によって使用できる機能が異なります。

テープモード

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2" colspan="2">項目</th><th colspan="8">メインダイヤル</th></tr>
<tr><th>M</th><th>A</th><th>Tv</th><th>Av</th><th>スポットライト</th><th>ナイト</th><th>全自動</th><th>VCR/PLAY</th></tr>
<tr><td rowspan="2">00</td><td rowspan="2">SHCKLSS WB/GN</td><td>WHITE BALANCE</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>GAIN</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>01</td><td colspan="2">AE RESPONSE</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×
(MIDに固定)</td><td>×
(MIDに固定)</td><td>×
(MIDに固定)</td><td>×</td></tr>
<tr><td>02</td><td colspan="2">ZOOM RING CTRL</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×
(NORMALに固定)</td><td>×</td></tr>
<tr><td>03</td><td colspan="2">ZOOM SPEED</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×
(NORMALに固定)</td><td>×</td></tr>
<tr><td>04</td><td colspan="2">FOCUS RING CTRL</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">05</td><td rowspan="3">BUTTONS OPER.1</td><td>MAGN.</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>WB SET</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>PUSH AF</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">06</td><td rowspan="2">BUTTONS OPER.2</td><td>REC REVIEW</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>END SEARCH</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">07</td><td rowspan="3">RINGS DIRECTION</td><td>ZOOM</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>FOCUS</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>IRIS</td><td>○</td><td>○*1</td><td>○*1</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">08</td><td rowspan="2">OPER. DIRECTION</td><td>CURSOR</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>SHUTTER</td><td>○</td><td>○*1</td><td>○</td><td>○*1</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>09</td><td colspan="2">IRIS LIMIT</td><td>○</td><td>○*1</td><td>○*1</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">10</td><td rowspan="3">PHOTO BUTTON</td><td>PHOTO+ CP DATA</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×
(PHOTOのみ)</td><td>×</td></tr>
<tr><td>PHOTO</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>MAGNIFYING</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">11</td><td rowspan="3">MARKER LEVEL</td><td>MARKER</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>ASPECT</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SAFETY</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">F.AST BW-MOD</td><td>MAGN.</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>PEAKING</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>13</td><td colspan="2">OBJ DST UNIT</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>14</td><td colspan="2">ZOOM INDICATOR</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>15</td><td colspan="2">COLOR BARS</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>16</td><td colspan="2">1kHz TONE</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">17</td><td rowspan="2">LANC AE SHIFT</td><td>AE SHIFT</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>IRIS</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>18</td><td colspan="2">TALLY LAMP</td><td>○*2</td><td colspan="6">○*2</td><td>○*2</td></tr>
<tr><td>19</td><td colspan="2">LED</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">CUSTOM REC</td><td>CHARACTER REC</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>MAGNIFYING REC</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
</table>

次のページへ

カスタムファンクション…つづき

カードモード

No.	項目		メインダイヤル							
			M	A	Tv	Av	スポットライト	ナイト	全自動	VCR/PLAY
00	SHCKLSS WB/GN	WHITE BALANCE	×	×						×
		GAIN	×	×						×
01	AE RESPONSE		×（MIDに固定）							×
02	ZOOM RING CTRL		○	○					×（NORMALに固定）	×
03	ZOOM SPEED		×（FASTに固定）	×（FASTに固定）						×
04	FOCUS RING CTRL		○	○						×
05	BUTTONS OPER.1	MAGN.	○	○					×	×
		WB SET	○	○					×	×
		PUSH AF	○	○					×	×
06	BUTTONS OPER.2	REC REVIEW	×	×						×
		END SEARCH	×	×						×
07	RINGS DIRECTION	ZOOM	○	○						×
		FOCUS	○	○						×
		IRIS	○	○*1	○*1	○	×	×	×	×
08	OPER. DIRECTION	CURSOR	○	○						○
		SHUTTER	○	○*1	○	○*1	×	×	×	×
09	IRIS LIMIT		○	○*1	○*1	○	×	×	×	×
10	PHOTO BUTTON		×	×						×
11	MARKER LEVEL	MARKER	○	○						×
		ASPECT	×	×						×
		SAFETY	×	×						×
12	F.AST BW-MOD	MAGN.	○	○					×	×
		PEAKING	○	○					×	×
13	OBJ DST UNIT		○	○						×
14	ZOOM INDICATOR		○	○						×
15	COLOR BARS		×	×						×
16	1kHz TONE		×	×						×
17	LANC AE SHIFT	AE SHIFT	×	○	○	○	×	×	×	×
		IRIS	○	○	○	○	×	×	×	×
18	TALLY LAMP		×	×						×
19	LED		○	○						○
20	CUSTOM REC	CHARACTER REC	×	×						×
		MAGNIFYING REC	×	×						×

*1：露出ロック時のみ有効
*2：カスタムファンクションの「LED」が「OFF」以外に有効。「OFF」時はOFFに固定

00 SHCKLSS WB/GN （ショックレスホワイトバランス/ゲイン） TAPE CARD

ホワイトバランス、ゲインを切り換えた時に、なめらかに切り換わるように設定できます。
ショックレスゲインは、－3dB/+36dBへの移行時、また－3dB/+36dBからの移行時には機能しません。
WHITE BALANCE：**OFF**、ON
GAIN：**OFF**、ON

01 AE RESPONSE （AEレスポンス） TAPE CARD

AEのレスポンスを設定できます。
MIDDLE、HIGH、LOW

02 ZOOM RING CTRL（ズームリングレスポンス） TAPE CARD

ズームリングのレスポンスを設定できます。
NORMAL、SLOW、FAST

03 ZOOM SPEED（ズームスピード） TAPE CARD

ズームボタン（グリップ部／ハンドル部）のズームスピードセットを設定できます。
・ズームスピードが2秒未満の場合、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。
NORMAL、SLOW、FAST

04 FOCUS RING CTRL（フォーカスリング レスポンス） TAPE CARD

フォーカスリングのレスポンスを設定できます。
NORMAL、SLOW、FAST

05 BUTTONS OPER.1（ボタン操作時間） TAPE CARD

誤操作を防ぐために、ボタンを押す時間を設定できます。
「LONG PUSH(長押し)」を選択したときは1秒以上押しつづけてください。
MAGN.（拡大表示）：**ONE PUSH**、LONG PUSH
WB SET（ホワイトバランス）：**ONE PUSH**、LONG PUSH
PUSH AF（プッシュAF）：**ONE PUSH**、LONG PUSH

06 BUTTONS OPER.2（ボタン操作時間） TAPE CARD

誤操作を防ぐために、ボタンを押す時間を設定できます。
「LONG PUSH（長押し）」を選択したときは1秒以上押しつづけてください。
REC REVIEW（レックレビュー）：**ONE PUSH**、LONG PUSH
END SEARCH（エンドサーチ）：**ONE PUSH**、LONG PUSH

07 RINGS DIRECTION（リング操作方向） TAPE CARD

ズームリング、フォーカスリング、絞りリングの操作方向を設定します。
ZOOM（ズームリング）：**NORMAL**（上方向：W）、REVERSE（下方向：W）
FOCUS（フォーカスリング）：**NORMAL**（上方向：近）、REVERSE（下方向：近）
IRIS（絞りリング）：**NORMAL**（上方向：閉）、REVERSE（下方向：閉）

08 OPER. DIRECTION（操作方向） TAPE CARD

インデックス画面やカスタムプリセットなど、SELECT/SETダイヤルを上下に回して、左右に並んだ項目を選択する場合の移動方向とシャッターボタンの操作方向を設定します。
CURSOR（SELECT/SETダイヤル）：**NORMAL**（上方向：左移動）、REVERSE（下方向：左移動）
SHUTTER（シャッターダイヤル）：**NORMAL**（上方向：高速）、REVERSE（下方向：高速）

次のページへ

カスタムファンクション…つづき

09 IRIS LIMIT（絞りリミット） TAPE CARD

絞り制限を設定できます。ONにするとF9.5まで絞ることができ、OFFにするとマニュアルモード、Avモード、露出ロック時にCLOSEまで絞ることができます。
OFF、ON

10 PHOTO BUTTON（フォトボタン） TAPE CARD

テープへの動画記録時のPHOTOボタンの機能を割り当てます。
PHOTO + CP DATAでは動画記録と同時にカードに静止画とカスタムプリセット設定を記録し、PHOTOでは静止画のみを記録します。MAGNIFYINGでは画面表示が2倍に拡大されます（カメラモードのみ）。
PHOTO + CP DATA、PHOTO、MAGNIFYING、OFF

11 MARKER LEVEL（マーカー輝度） TAPE CARD

MARKER（水平/センター/グリッドマーカー）、ASPECT（アスペクトマーカー）、SAFETY（セーフティゾーンマーカー）の輝度を100%（白）、40%（グレー）から設定します。
MARKER（水平/センター/グリッドマーカー）：**100%**、40%
ASPECT（アスペクトマーカー）：**100%**、40%
SAFETY（セーフティゾーンマーカー）：**100%**、40%

12 F.AST BW-MOD（フォーカスアシスト白黒連動モード） TAPE CARD

フォーカスアシスト機能を使う時に液晶画面とファインダーを自動的に白黒にするかどうかを設定します。
MAGN.（拡大表示連動）：**OFF**、ON
PEAKING（ピーキング連動）：**OFF**、ON

13 OBJ DST UNIT（被写体距離単位） TAPE CARD

マニュアルフォーカス時の被写体との距離の表示単位を設定します。
m（meter）、ft（feet）

14 ZOOM INDICATOR（ズーム表示） TAPE CARD

ズーム表示を設定します。
BAR（ズームバー）、NUMBER（数値）

15 COLOR BARS（カラーバー） TAPE CARD

カラーバーをSMPTE（Society of Motion Picture and Television Engineers）準拠、ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）準拠から設定します。
TYPE 1（SMPTE準拠）、TYPE 2（ARIB準拠）

16 1kHz TONE（テストトーン） TAPE CARD

オーディオの1kHzテストトーンを設定します。
OFF、－12dB、－18dB、－20dB

17 LANC AE SHIFT（LANC AEシフト） TAPE CARD

ズームリモートコントローラーからAEレベル補正を制御するか、絞りを制御するかを切り換える。
AE SHIFT、IRIS

18 TALLY LAMP（タリーランプ） TAPE CARD

タリーランプの点灯、点滅、消灯を設定します。タリーランプをOFFに設定していても、リモコンを受光すると点灯します。
ON、BLINK（点滅）、OFF

19 LED TAPE CARD

タイプ1ではHDV/DV端子のLEDを含むすべてのLEDが点灯します。タイプ2ではHDV/DV端子を除くすべてのLEDが点灯します。

TYPE 1、TYPE 2、OFF

20 CUSTOM REC（カスタム記録）TAPE CARD

画面上の文字記録の入/切や拡大動画（MAGNIFYINGにより2倍に拡大した動画）記録の入/切を設定します。

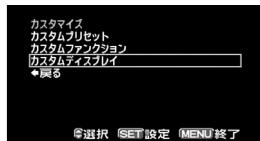
CHARACTER REC：**OFF**、ON
MAGNIFYING REC：**OFF**、ON

・CHARACTER RECをONにすると、メニューの「オンスクリーン」は選択できません。また、コンポーネント出力は「1080i/480i」になり、「480i」は選択できません。
・MAGNIFYING RECがONで拡大動画記録中にPHOTOボタンを押しても静止画は記録されません。

画面上の文字記録（CHARACTER REC）や拡大動画（MAGNIFYING REC）をONにして撮影すると、その状態でテープに記録されます。

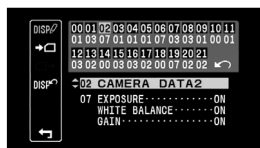
カスタマイズ編

カスタムディスプレイ

画面に表示する項目を選択できます。設定した内容は、本機/カードともに1種類が保存できます。
・カスタムディスプレイで設定した表示内容は、DISP.ボタンで表示レベルを切り換えて表示します（📖35）。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

カスタムディスプレイを設定する

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムディスプレイ」を選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ SELECT/SETダイヤルを回して「変更」を選び、ダイヤルを押す
　・ カスタムディスプレイ設定項目選択画面が出ます。

④ SELECT/SETダイヤルを回して設定する項目を選び、ダイヤルを押して設定する
　・ 設定する画面が出ますので、SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

⑤ カスタムディスプレイの設定が終わったら、SELECT/SETダイヤルを回して「RETURN」を選び、ダイヤルを押す
⑥ MENUボタンを押す
⑦ DISP.ボタンを押して、表示レベルを切り換えて表示する

カスタムディスプレイ設定を初期値に戻す（リセット）

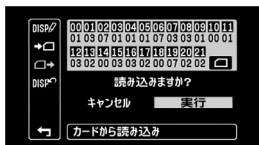
① SELECT/SETダイヤルを回して「リセット」を選び、ダイヤルを押す
　・確認画面が出ます。

② SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す

カスタムディスプレイ設定をカードにコピーする

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムディスプレイ」を選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ SELECT/SETダイヤルを回して「カードへ保存」を選び、ダイヤルを押す
　・ 確認画面が出ます。

④ SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す
　・ カスタム表示設定がカードにコピーされ、保存終了を示す画面が出ます。

カスタムディスプレイ設定をカードから本機にコピーする

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムディスプレイ」を選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ SELECT/SETダイヤルを回して「カードから読み込み」を選び、ダイヤルを押す
・ 確認画面が出ます。
④ SELECT/SETダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す
・ カスタム表示設定が本機にコピーされ、保存終了を示す画面が出ます。

XL H1S/XL H1AとXH G1/XH A1のカスタムディスプレイ設定は本機で使用できません。

カスタマイズ編

00 REC PROGRAMS（撮影モード） TAPE CARD

OFF、**ON**

01 CAMERA DATA1 （カメラデータ1） TAPE CARD

F NUMBER（F値）：OFF、**ON**
SHUTTER SPEED（シャッタースピード）：OFF、**ON**

02 CAMERA DATA 2（カメラデータ2） TAPE CARD

EXPOSURE（露出）：OFF、**ON**
WHITE BALANCE（ホワイトバランス）：OFF、**ON**
GAIN（ゲイン）：OFF、**ON**

03 ZOOM（ズーム） TAPE CARD

ズーム位置、ズームスピード
OFF、**ON（NORMAL）**、ON（ALWAYS）（常時表示）

04 FOCUS（フォーカス） TAPE CARD

フォーカスモードと距離表示
OFF、**ON（NORMAL）**、ON (ALWAYS)（常時表示）

05 ND（NDフィルター） TAPE CARD

OFF、**ON**

06 IMAGE EFFECTS（画質効果） TAPE CARD

SKIN DETAIL（スキンディテール）：OFF、**ON**
SELECTIVE NR（セレクティブNR）：OFF、**ON**
COLOR CORRECTION（カラーコレクション）：OFF、**ON**

次のページへ

カスタムディスプレイ…つづき

07 F.ASSIST FUNC.（フォーカスアシスト） TAPE CARD

PEAKING（ピーキング）：OFF、**ON**
MAGN.（拡大表示）：OFF、**ON**

08 CUSTOMIZE（カスタマイズ機能） TAPE CARD

CUSTOM PRESET（カスタムプリセット）：OFF、**ON**
CUSTOM FUNCTION（カスタムファンクション）：OFF、**ON**

09 RECORDING STD（録画規格） TAPE CARD

OFF、**ON**

10 DV REC MODE（DV録画モード） TAPE CARD

OFF、ON

11 FRAME RATE（フレームレート） TAPE CARD

OFF、**ON**

12 TAPE（動画記録） TAPE CARD

TIME CODE（タイムコード）：OFF、**ON**
OPERATION MODE（動作モード）：OFF、**ON**
DV CONTROL（DVコントロール）：**OFF**、ON

13 TAPE REMAINDER（テープ残量） TAPE CARD

OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）

14 TAPE/CARD（動画/静止画共通） TAPE CARD

EXT CONTROL：**OFF**、ON
IMG STAB （手ぶれ補正）：**OFF**、ON
IMG SIZE/QUALITY（静止画サイズ/画質）：**OFF**、ON

15 LIGHT METERING（測光方式） TAPE CARD

SPOT AE POINT（スポット測光枠）：OFF、**ON**
LIGHT METERING（測光方式）：OFF、**ON**

16 CARD（静止画記録） TAPE CARD

DRIVE MODE（ドライブモード）：OFF、**ON**
FLASH（ストロボ）：OFF、**ON**

17 CARD REMAINDER（カード残量） TAPE CARD

OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）

18 AUDIO（オーディオ） TAPE CARD

LOW CUT （ローカット）：**OFF**、ON
DV AUDIO（DVオーディオモード）：**OFF**、ON
OUTPUT CH（出力CH）：**OFF**、ON

19 WARNING/STATUS（警告） TAPE CARD

CONDENSATION（結露）：OFF、**ON**
CHARACTER REC：OFF、**ON**
SDI（SDI警告） XH G1s ：OFF、**ON**

20 BATTERY（バッテリー） TAPE CARD

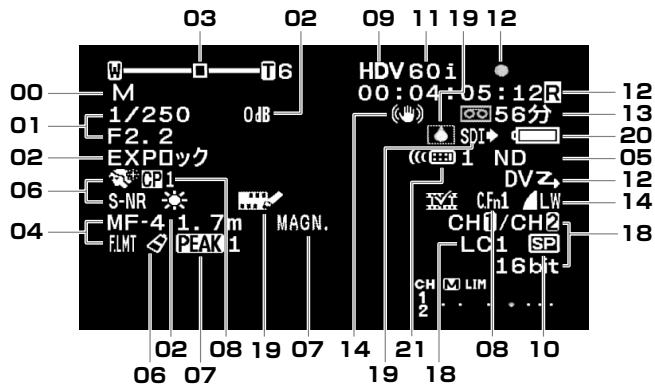
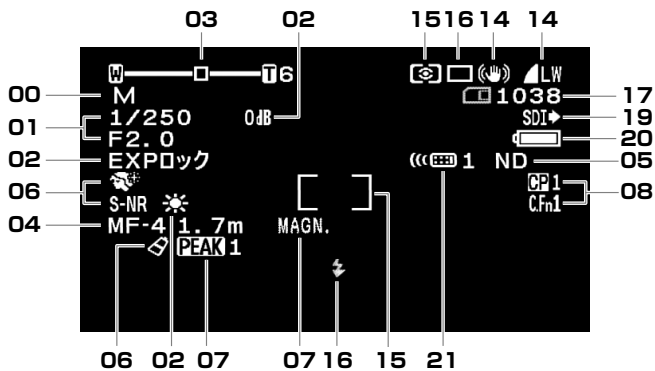
OFF、NORMAL、WARNING（警告時のみ表示）

21 WIRELESS REMOTE（リモコン） TAPE CARD

OFF、NORMAL、WARNING（警告時のみ表示）

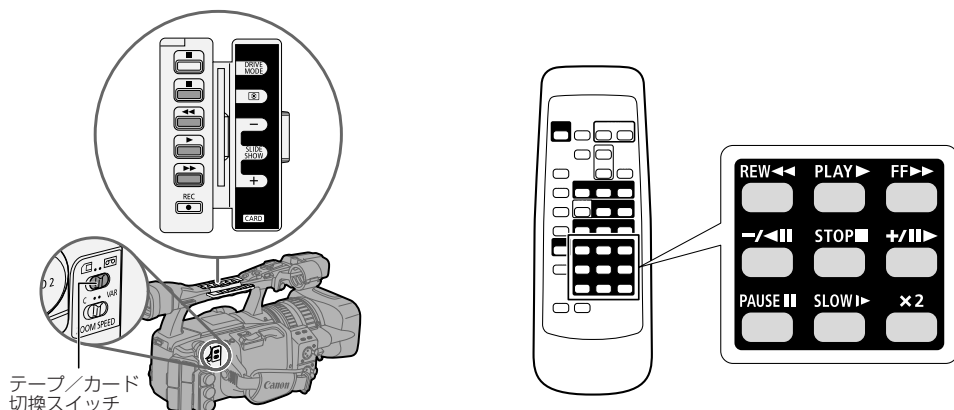
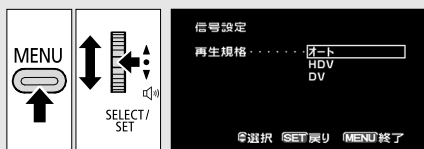
カスタムディスプレイの表示位置

番号はカスタムディスプレイの項目番号です（□ 121～123)。

カメラモード

カードカメラモード

テープの再生

再生画面がおかしいときは

ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1	**メインダイヤルを「VCR/PLAY」にし、テープ/カード切換スイッチを「📼」にする**	● 動画再生モードになります。
2	**再生するテープに合わせて再生規格を選択する**	① MENUボタンを押す ②「信号設定」➤「再生規格」➤ 設定内容を順に選ぶ ・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。 ③ MENUボタンを押す
3	**▶（再生）ボタンを押す**	● 再生が始まる。 ● 再生を終えるときは（■）ボタンを押す。

特殊再生

● 早送り再生、巻戻し再生、再生一時停止以外はリモコンのみの操作になります。

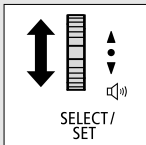
HDV

早送り再生 ▶▶	再生/早送り中にFF▶▶（早送り）ボタンを押し続けると、約8倍の早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生/巻戻し中にREW◀◀（巻戻し）ボタンを押し続けると、約8倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶II	再生中にPAUSE II（一時停止）ボタンを押します。
逆方向再生 ◀×1	再生中にリモコンの−/◀IIボタンを押します。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り II▶	再生一時停止中にリモコンの+/II▶ボタンを押すと、押すたびに1コマずつ送られます。押し続けると連続コマ送りになります。
スロー再生 I▶	再生中にリモコンのSLOW I▶（スロー）を押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

DV

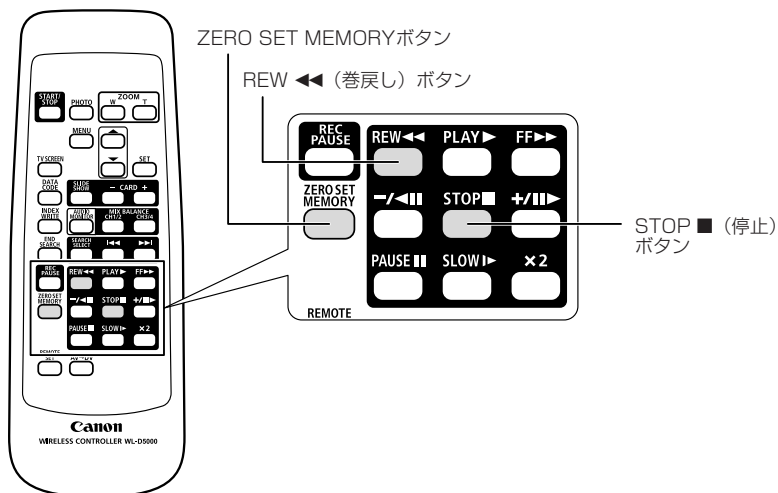
早送り再生 ▶▶	再生／早送り中にFF ▶▶（早送り）ボタンを押し続けると、約9.5倍の早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生／巻戻し中にREW◀◀（巻戻し）ボタンを押し続けると、約9.5倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶❚❚	再生中にPAUSE❚❚（一時停止）ボタンを押します。
逆方向再生 ◀×1	再生中にリモコンの－/◀❚❚ボタンを押します。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り ◀❚❚　❚❚▶	再生一時停止中にリモコンの＋/❚❚▶または－/◀❚❚ボタンを押すと、押すたびに１コマずつ送られます。押し続けると連続コマ送りになります。
スロー再生 ◀❚　❚▶	再生／逆方向再生中にリモコンのSLOW❚▶（スロー）ボタンを押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
2倍速再生 ◀×2　×2▶	再生／逆方向再生中にリモコンの×2ボタンを押します。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。

ヘッドホンまたは内蔵スピーカーの音量を調節する

1 音量を調節する

① SELECT/SETダイヤルを回して音量を調節する
- 音量が小さくなる方向に回し続けると、音量がOFFになります。

- ❍ 特殊再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。
- ❍ 再生機能によっては、画面が多少乱れることがあります。
- ❍ 再生一時停止が約4分30秒以上続くと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度再生ボタンを押します。
- ❍ HDV規格のテープでは、早送り再生/巻戻し再生、逆方向再生では画面が乱れます。
- ❍ HDV記録、DV記録が切り換わるところでは、画面が乱れます。

ゼロセットメモリー

ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。
リモコンで操作します。

操作のしかた

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

1 再生中 ZERO SET MEMORYボタンを押す

ZERO SET MEMORY

- ZERO SET MEMORYボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」になり、「M」の表示が出ます。
- ZERO SET MEMORYボタンをもう一度押すと、設定が解除されます。

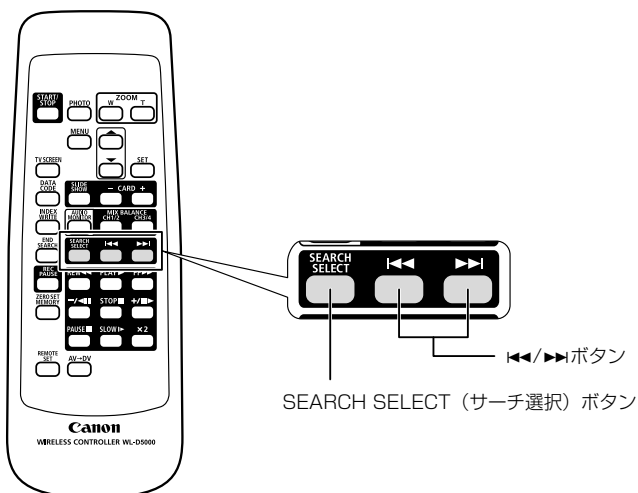
2 再生が終わったら、STOP ■ ボタンを押す

3 REW ◀◀ ボタンを押す

- カウンター表示に「−」がついているときは、早送りボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止します。カウンター表示がタイムコードに戻り、「M」が消えます。

❍ タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の記録部分が混在していると、ゼロセットメモリーが正しく動作しないことがあります。

インデックスサーチ

インデックス信号を記録（□ 87）した場面をサーチします。リモコンで操作します。

操作のしかた

1 SEARCH SELECTボタンを押す

- 「インデックスサーチ」を選びます。
- 「➡ INDEX 」の表示が出ます。

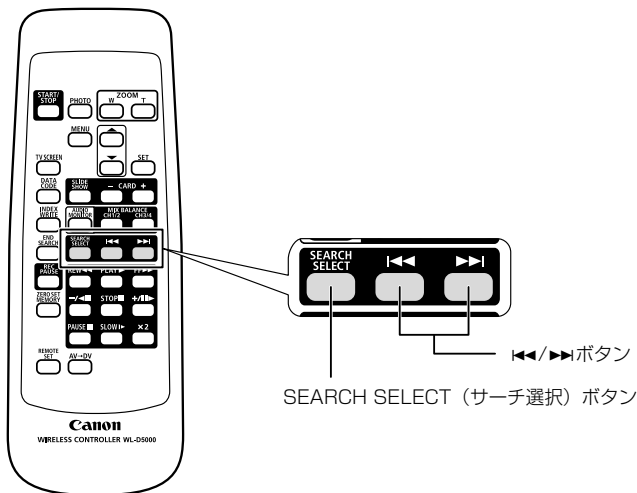
2 ⏮/⏭ボタンを押す

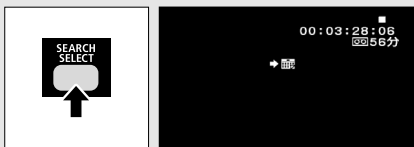
- 押した数だけ前／後ろのインデックス（最多10まで）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、STOP■（停止）ボタンを押します。

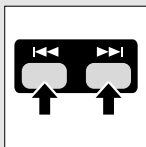
❍ 再生を始める位置が多少ずれることがあります。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の記録部分が混在していると、インデックスサーチが正しく動作しないことがあります。

再生編

日付サーチ

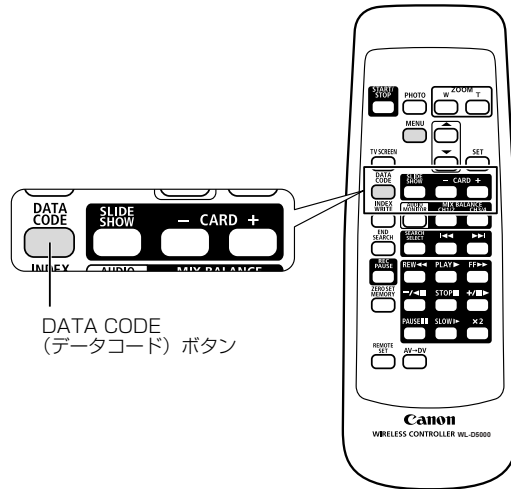
撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（ 🕮129）を使って撮影時の日付の変わり目をサーチします。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。リモコンで操作します。

操作のしかた

1 SEARCH SELECTボタンを押す

- 「日付サーチ」を選びます。
- 「 ➜📅 」の表示が出ます。

2 ⏮/⏭ボタンを押す

- 押した数だけ前／後ろの日付の変わり目（最多10まで）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、STOP■（停止）ボタンを押します。

❍ 日付サーチを行うときは、1日／1エリア当たり1分以上の記録部分が必要です。
❍ データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の記録部分が混在していると、日付サーチが正しく動作しないことがあります。

再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）

本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピード、絞り値（F値）とゲイン）が自動的に記録されます。撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。

データコードの表示内容を選ぶ

1 表示内容を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「データコード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
●「表示設定」サブメニューに戻ります。
③ MENUボタンを押す

データコードを表示する

2 データコードを表示する

● テープを再生し、DATA CODEボタンを押します。

データコードは、一度電源を切ると、表示されなくなります。

再生編

リモコンコードを設定する

キヤノン製のほかのビデオカメラもお使いになっているときは、2台のリモコンコードを別にしてお使いください。ご購入時には、リモコンコードは「1」に設定されています。誤動作を防ぐためにはリモコンコードを「2」に変更してください。「切」を選ぶと、リモコンの信号を受け付けません。
本機のリモコンコードの設定（受信コード）を変更したら、必ずリモコンも設定（送信コード）を変更してください。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | Tv | Av

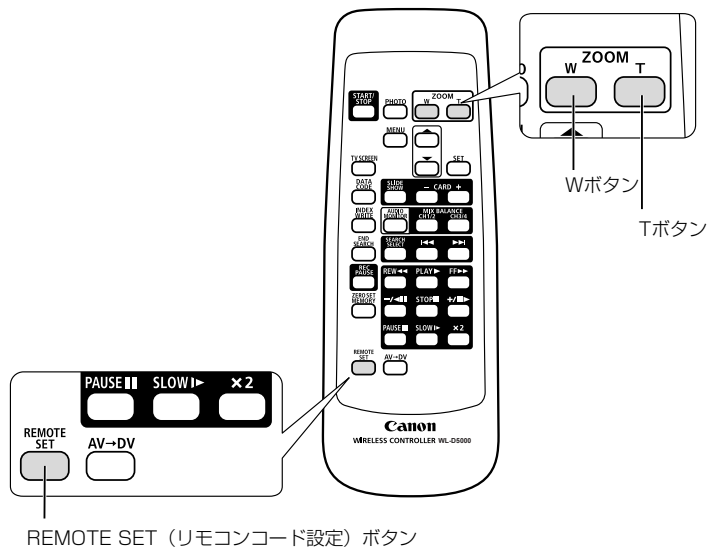
本機の受信コードを変更する

リモコンコードは「システム設定」サブメニューの「リモコンコード」で設定します（□ 155）。

リモコンの送信コードを変更する

本機とリモコンで設定されているリモコンコードが異なる場合には、リモコンは使用できません。REMOTE SET（リモコンコード設定）ボタン以外のボタンを押すと、画面に本機で設定されているリモコンコードが4秒間、点滅して表示され、確認できます。

設定1にする
リモコンのREMOTE SETボタンを押しながら、Wボタンを約2秒間押します。

設定2にする
リモコンのREMOTE SETボタンを押しながら、T ボタンを約2秒間押します。

❍ リモコンコードの設定を確認しても、リモコンで操作できない場合には、リモコンの電池を交換してください。
❍ 電池を交換すると、リモコンコードは「1」に戻ります。必要に応じて、再度設定し直してください。

静止画の画質／サイズを選ぶ

カードに記録する静止画の画質、サイズを選びます。

画質	スーパーファイン、ファイン、ノーマル
サイズ	LW 1920×1080ピクセル、SW 848×480ピクセル、L 1440×1080ピクセル、S 640×480ピクセル

本機では静止画をJPEG（Joint Photographic Experts Group）圧縮して、記録します。画質やサイズの設定、撮影条件や被写体により、1枚のカードに記録できる静止画の枚数は異なります。記録できる枚数の目安は、次のとおりです。カスタムプリセット設定を保存したカードの場合は、下記の記録できる枚数よりも少なくなります。画面に表示される「静止画の記録可能枚数」の最大値は9999枚です。

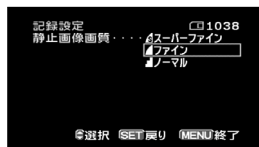
記録できる枚数

サイズ	画質	記録可能枚数			1枚あたりのデータ量
		32MBカード	1GBカード	2GBカード	
LW 1920×1080	スーパーファイン	約20枚	約710枚	約1460枚	約1360KB
	ファイン	約30枚	約1055枚	約2190枚	約910KB
	ノーマル	約60枚	約2080枚	約4385枚	約460KB
SW 848×480	スーパーファイン	約105枚	約3550枚	約7680枚	約280KB
	ファイン	約150枚	約5030枚	約10240枚	約190KB
	ノーマル	約305枚	約10070枚	約20485枚	約100KB
L 1440×1080	スーパーファイン	約25枚	約940枚	約1915枚	約1020KB
	ファイン	約40枚	約1400枚	約2925枚	約690KB
	ノーマル	約80枚	約2745枚	約5585枚	約350KB
S 640×480	スーパーファイン	約140枚	約4645枚	約10240枚	約215KB
	ファイン	約205枚	約6710枚	約15360枚	約149KB
	ノーマル	約370枚	約12080枚	約30725枚	約82KB

TAPE　CARD

VCR/PLAY　M　A　Tv　Av

※テープ時のみ

画質を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「静止画像画質」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

サイズを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「静止画像サイズ*」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
　* VCR/PLAY時は「HD時静止画サイズ」
③ MENUボタンを押す

※選択できるサイズは各モードによって異なります。下表を参照してください。

<table>
<tr><th>カードカメラモード</th><th>カメラモード</th><th>VCR/PLAYモード</th></tr>
<tr><td rowspan="3">LW 1920×1080
SW 848×480
L 1440×1080
S 640×480</td><td>「HD」または「SD16：9」のとき
LW 1920×1080
SW 848×480</td><td>「HD」のとき
LW 1920×1080
SW 848×480</td></tr>
<tr><td rowspan="2">「SD4：3」のとき
L 1440×1080
S 640×480</td><td>「SD16：9」のとき
SW 848×480</td></tr>
<tr><td>「SD4：3」のとき
S 640×480</td></tr>
</table>

静止画編

画像番号をリセットする

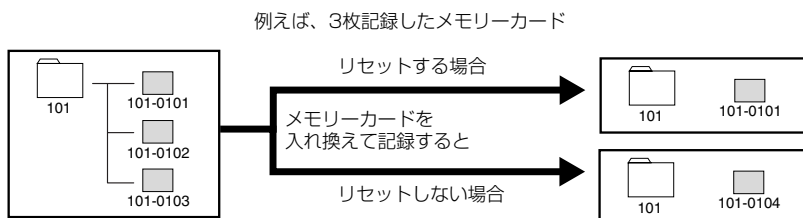
本機では、カードを換えたとき画像番号を連続して付けたり、番号をリセットしたりできます。

番号をオートリセットする	別のカードに入れ換えると、静止画の番号が、101-0101から始まります。すでに静止画が記録されているカードを入れたときは、その続きの画像番号になります。
番号をリセットしない（通し番号）	別のカードに入れ換えても、最後に記録した静止画の続き番号が、次の静止画に付けられます（カード内の画像番号のほうが大きい場合は、その続き番号が付けられます）。画像番号を「通し番号」に設定して記録すると、記録した静止画の画像番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するときなどに便利です。 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

カードに記録した静止画は、自動的に画像番号が付けられ、ひとつのフォルダーに100枚ずつ保存されます（画像番号0101～9900）。

例えば、3枚記録したメモリーカード

101
101-0101
101-0102
101-0103
リセットする場合
メモリーカードを
入れ換えて記録すると
リセットしない場合
101
101-0101
101
101-0104

TAPE | CARD

※テープ時のみ

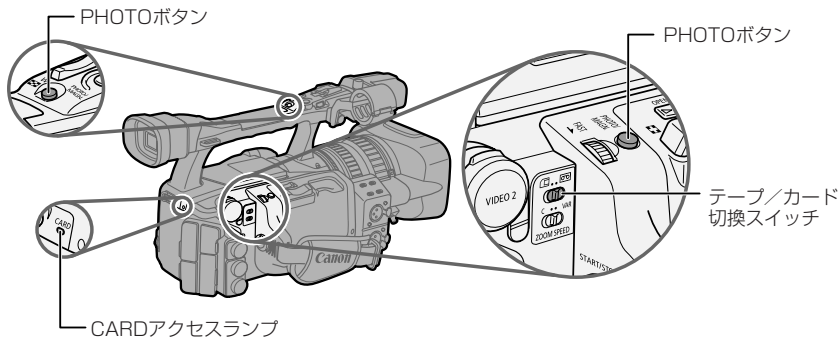
記録設定
画像番号・・・・・・・オートリセット
通し番号
選択 SET 戻り MENU 終了

① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「画像番号」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

カードに静止画を記録する

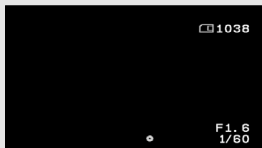
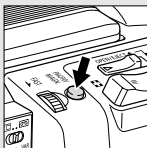
カードに静止画を記録することができます。また、動画をテープに撮影中、同時に、カードにも静止画を記録したり、テープに記録されている映像を静止画にしてカードに記録することもできます。

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 メインダイヤルを撮影モードにし、テープ/カード切換スイッチを「□」にする

- 静止画撮影モードになります。

2 PHOTOボタンを浅く押し続ける

1038
F1.6
1/60

- ピント調整が終わると●が緑色の点灯に変わります。
- 露出がロックされます。
- PHOTOボタンを浅く押したまま、フォーカスリングでピントを調整できます。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

3 PHOTOボタンを深く押す

- ●マークが消えます。
- シャッターを切るように画面が一度途切れます。
- CARDアクセスランプが点滅し、静止画の書き込み表示が出ます。

❍ SD/SDHCメモリーカードには、誤消去防止のツマミがついています。SD/SDHCメモリーカードに静止画を記録するときには、記録できる状態になっていることを確認してください。誤消去防止ツマミがロックの状態のときに記録しようとすると「カードの誤消去防止ツマミを確認してください」と表示されます。

❍ 画面右上にカードの動作表示（▶□）が出ていたり、CARDアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。

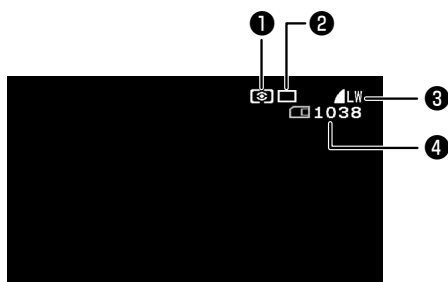
・カードを取り出さない。
・電源を切らない。メインダイヤルやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
・バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

静止画編

次のページへ

カードに静止画を記録する…つづき

- ❍ 2の操作で、より正確にピントを合わせるため、一時的にピントが合わなく見えることがあります。
- ❍ **メニュー（📖 164）で「フォーカス優先」を「入」に設定しているとき**
  ●が緑色の点灯に変わる前にPHOTOボタンを深く押すと、ピントを合わせるのに約2秒*かかることがあります。
  * ナイトモード時には、4秒までかかることがあります。
  自動ではピントが合いにくい被写体のときは、そのままピントをロックします。PHOTOボタンを浅く押したままフォーカスリングでピントを合わせることをおすすめします。
- ❍「フォーカス優先」を「切」に設定しているときは、2の操作では、●が緑色に点灯し、ピントと露出がそのままロックされます。
- ❍ パワーセーブ
  カードカメラモードでは、本機をバッテリーパックで使用しているとき、撮影待機中には、省電のため、操作をしなくなってから約5分で電源が切れます。メニュー（📖 167）の「パワーセーブ」で、電源を切るか（「入」）、切らない（「切」）が選択できます。「入」を選んでいて電源が切れた場合は、メインダイヤルを一度「OFF」にしてからカメラモードに戻し、電源を入れなおしてください。

静止画記録中の画面表示について

①測光方式（📖 138）

選んだ測光方式を表示します。

②ドライブモード（📖 136）

選んだドライブモードを表示します。

③画質／サイズ表示

静止画の画質とサイズを表示します。

④静止画の記録可能枚数表示

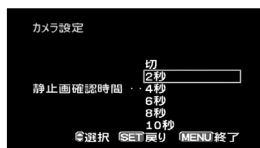
記録可能枚数6枚以上：　6 緑色表示
記録可能枚数1～5枚：　5 黄色表示*
記録可能枚数0枚：　0 赤色表示*
* カード再生時はすべて緑色表示になります。

- 記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

「▶」書き込み表示

静止画をカードに書き込んでいるときに表示します。

カードに記録した静止画を確認する（静止画確認時間）

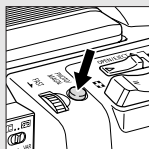
カードに静止画を記録した直後に、選んだ時間（2、4、6、8、10秒）、静止画を確認できます。

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「静止画確認時間」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

- ❍ 静止画記録時に、PHOTOボタンを深く押し続けている間も、記録した静止画を確認できます。
- ❍ 静止画記録時に静止画を確認している間、または静止画記録直後にSELECT/SETダイヤルを押すと、「画像設定」メニューが出ます。画像プロテクト（📖 144）、画像消去（📖 143）ができます。
- ❍ ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。

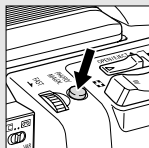
フォーカス優先の設定を変える

PHOTOボタンを押したときにすぐに静止画記録をしたいときは、メニュー（□ 164）の「フォーカス優先」を「切」に設定します。

使用しているカスタムプリセット設定値を静止画と一緒にカードに保存する

カスタムファンクション（□ 118）の「10 PHOTO BUTTON（フォトボタン）」で「PHOTO+CP DATA」を選ぶと、カメラモードで使用しているカスタムプリセット設定値とその場面の静止画をカードに保存できます。場面に合わせたカスタムプリセット設定を再現するときに便利です（カメラモード時のみ）。

● 画面は動画のまま、静止画がカードに記録されます。

カスタムファンクションの「10 PHOTO BUTTON（フォトボタン）」を「OFF」に設定していて、PHOTOボタンを押すと「OFF」が出ます。

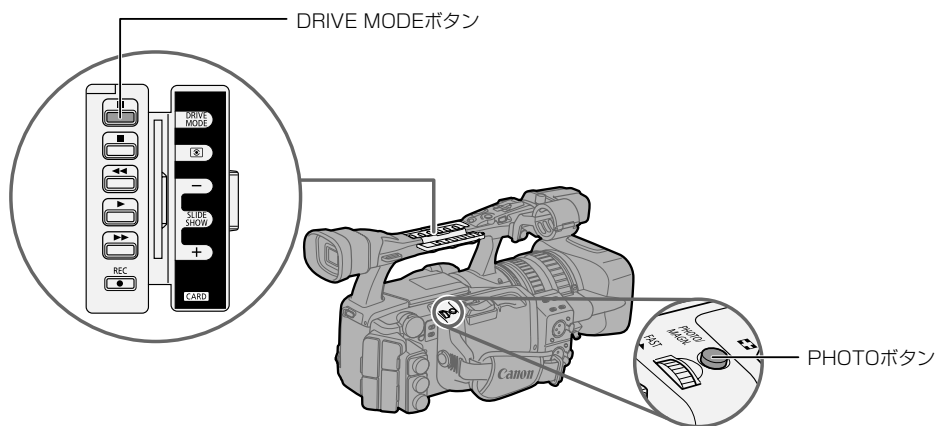
テープの映像を静止画として記録する

● CARDアクセスランプが点滅します。

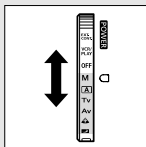
VCRメニューの「レターボックス出力」（「信号設定」サブメニュー）を「入」にしていると、操作できません。

静止画編

ドライブモードを選ぶ（連写／高速連写／AEB）

連写	PHOTOボタンを押し続けている間、連続撮影できます（記録枚数については、次ページをご参照ください）。
高速連写	
AEB	自動的に露出を約1／2段変えて、3枚の静止画を連続撮影します。
単写	PHOTOボタンを押すと、1枚の静止画を撮影します。

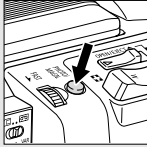
TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

設定のしかた

1 （全自動）以外の撮影モードにする

2 DRIVE MODEボタンを押す

- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ設定の表示が出ます。

連写／高速連写で撮影する

TAPE CARD | VCR/PLAY M A Tv Av

1 PHOTOボタンを深く押し続ける

● PHOTOボタンを押し続けている間、静止画が連続でカードに記録されます。

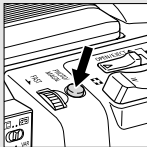
1回の連写で記録できる最大枚数

1秒あたりの記録枚数		連続記録可能枚数
連写	高速連写	
約3枚	約5枚	60枚

＊ 記録できる枚数や1秒当たりの記録枚数は、目安です。撮影条件や被写体によって変わります。また、上記の枚数が記録できる空き容量が必要です。

自動的に露出を変えて撮影する（AEB）

TAPE CARD | VCR/PLAY M A Tv Av

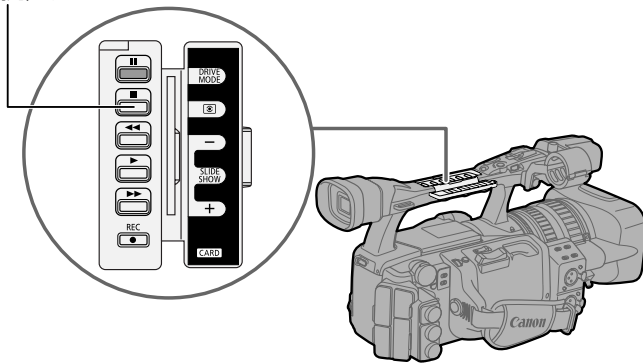
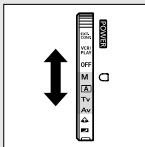
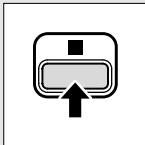
1 PHOTOボタンを深く押す

● 露出を変えた3枚の静止画が、自動的にカードに記録されます。

AEBでは、3枚連続して記録されますので、カードに十分な空き容量があることを確認してください。

測光方式を選ぶ

次の中から測光方式を選んで撮影できます。

評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を分割して測光します。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光などをカメラが判断し、主な被写体を常に適正な露出にします。
中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
スポット測光	画面中央部のスポット測光枠（[ ]）内を測光します。

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 （全自動）、（ナイト）、（スポットライト）以外の撮影モードにする

2 ボタンを押す

- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ表示の設定が出ます。
- スポット測光を選んだ場合は、[ ]が出ます。

別売のストロボを使う

一眼レフカメラ　キヤノンEOS用のE-TTL（Ⅱ）自動調光システムに対応したスピードライト420EX/430EX/430EX Ⅱ/550EX/580EX/580EX Ⅱにより、低照度下でより自然に静止画撮影できます。

- スピードライトの使用説明書もあわせてご覧ください。

スピードライトの取り付け（580EX Ⅱの場合）

※ EOS用オフカメラシュー、コネクティングコードは使用できません。

- ストロボを取り付け/取りはずすときは、ビデオカメラの電源を切ってください。

1 スピードライトの取り付け脚部をホットシューに奥まで差し込む

2 取り付け脚ロックレバーを右方向へスライドさせる

- カチッと音がして固定されます。

取りはずすときは、ロック解除ボタンを押しながら、取り付け脚ロックレバーを左方向にスライドさせて、本機からはずします。

操作のしかた（580EX Ⅱの場合）

TAPE	CARD

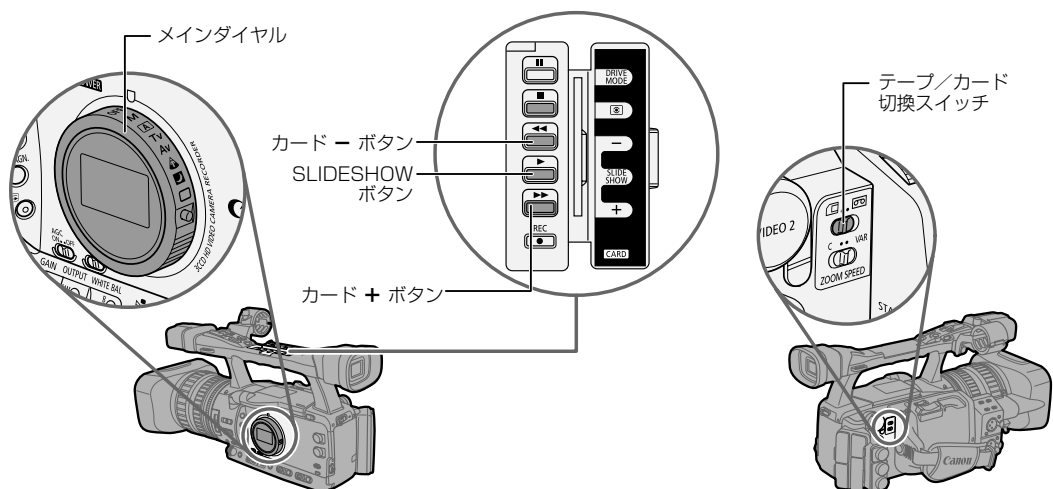
VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 ビデオカメラのメインダイヤルを「M」を除く撮影モードにし、スピードライトの電源を入れる

- スピードライト充電中は白色の が点滅する。
- 充電が完了すると、 が緑色になり点灯する。
- 白色の が長時間点滅し続けているときは、スピードライトの電池を交換してください。

2 PHOTOボタンを押して静止画撮影する

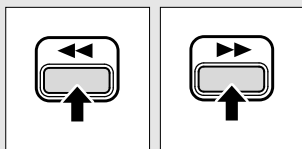
- ❍ 必ず充電が完了したのを確認してから撮影してください。充電中でも撮影はできますが、スピードライトは発光しません。
- ❍ スピードライトを使用しないときは、スピードライトの電源を切ってください。
- ❍ マニュアルモードと露出ロック時はスピードライトは発光しません。
- ❍ Tvモード時で、ストロボ撮影時に設定可能なシャッタースピードは、以下の通りです。
  1/4秒～1/500秒
- ❍ スピードライト420EX/430EX/430EX Ⅱ/550EX/580EX/580EX Ⅱのバウンス機能には対応していません。
- ❍ スピードライト420EX/430EX/430EX Ⅱ/550EX/580EX/580EX Ⅱのワイヤレス多灯ストロボには対応していません。
- ❍ スピードライトトランスミッターST-E2と420EX/430EX/430EX Ⅱ/550EX/580EX/580EX Ⅱのワイヤレス制御には対応していません。
- ❍ 暗い被写体では、本体のPHOTOボタンを浅く押し続けるとスピードライトのフォーカス用の補助光が発光することがあります（AF撮影時で、かつ「フォーカス優先」が「入」のとき）。
- ❍ AEB撮影時はスピードライトは発光しません。

カードに記録した静止画を再生する

静止画を再生する（静止画再生モード）

TAPE	CARD	VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 メインダイヤルを「VCR/PLAY」にし、テープ/カード切換スイッチを「 」にする

- 静止画再生モードになります。
- 青い画面の後に、最後に記録した静止画が出ます。

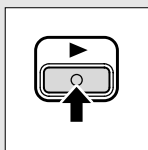
2 カード+ ／− ボタンを押す

- カード＋ ボタンを押すと次の静止画に進み、カード− ボタンを押すと前の静止画に戻ります。

❍ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだり、本機で記録した静止画をパソコンで直接加工したり、ファイル名を変更した場合、本機で再生できなくなる場合があります。
❍ 本機以外のビデオカメラなどで記録した静止画は､正しく再生されないことがあります。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、CARDアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
・カードを取り出さない。
・電源を切らない。メインダイヤルやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
・バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

静止画を探す（スライドショー/インデックス画面/カードジャンプ機能）

本機では、静止画を連続して順番に見たり（スライドショー）、6枚を一度に見たり（インデックス画面）できます。さらに、見たい静止画をすばやく探し出せるカードジャンプ機能があります。

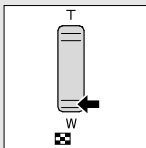
静止画を順番に再生する（スライドショー）

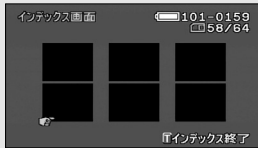
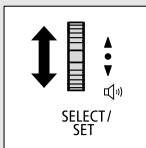
1 SLIDESHOWボタンを押す

- 出ている静止画から順番に再生します。
- ボタンをもう一度押すと、スライドショーを終了します。

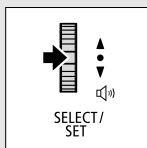
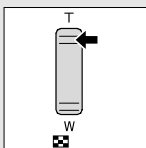
インデックス画面で静止画を選ぶ

TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

1 静止画再生中

ズームボタンをW側に押す

- 6枚の静止画が出るインデックス画面になります。

2 SELECT/SETダイヤルを回す

- 「☞」を再生したい静止画に合わせます。
- カード＋／－ボタンでインデックス画面を切り換えられます。

3 ズームボタンをT側に押すか、またはSELECT/SETダイヤルを押す

- インデックス画面が終了し、選んだ1枚の静止画が画面に出ます。

静止画編

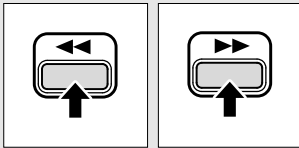
次のページへ

カードに記録した静止画を再生する…つづき

静止画をすばやく探し出す（カードジャンプ機能）

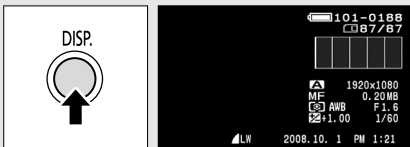
1枚ずつ再生せずに、離れた静止画まで一気にジャンプできます。
カード再生モード時の画面の右上に出る数字は、記録した静止画の合計枚数（全枚数）と再生している静止画が何枚目になるか（表示番号）を表しています（ （表示番号）/（全枚数））。

TAPE　CARD　VCR/PLAY　M　A　Tv　Av

1 カード+ ／– ボタンを押し続ける

- ボタンを押している間、表示番号のみが連続的に変わります。
- ボタンを離すと、表示番号の静止画が画面に出ます。

撮影情報を表示する

DISP.ボタンを押して、撮影した静止画のヒストグラムや撮影情報を表示することができます。

1 DISP.ボタンを押す

静止画を消去する（画像消去）

不要になった静止画を1枚消去したり、すべての静止画を一度に消去したりできます。全消去を行うと、すべての静止画が消去されます。カスタムファンクションの「10 PHOTO BUTTON（フォトボタン)」を「PHOTO+CP DATA」にして記録した静止画（□ 118）を消去すると、カスタムプリセットも消去されます。

TAPE	CARD		VCR/ PLAY	M	A	Tv	Av			

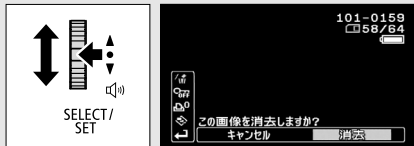
一度消去した静止画はもとに戻せません。消去する前に静止画を確認してください。

プロテクト設定している静止画（□ 144）は消去できません。

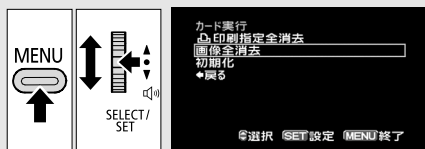
①静止画を見ながら1枚消去する

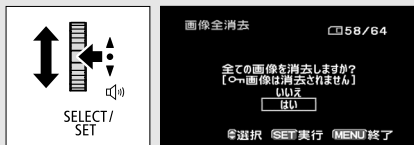
1 SELECT/SETダイヤルを押す

- 「画像設定」メニューが出ます。
- カードカメラモードの場合、静止画を確認している間、または静止画記録直後にSELECT/SETダイヤルを押すと、メニューが出ます。

2 「画像消去」を選ぶ

- SELECT/SETダイヤルを回して「画像消去」を選び、ダイヤルを押します。
- 「消去」を選んで、SELECT/SETダイヤルを押すと、静止画が消去されます。
- 消去した静止画の1つ後の画像が出ます。
- 「 ↵ 」を選ぶと、メニューが消えます。

②静止画を全消去する

1 「画像全消去」を選ぶ

① MENUボタンを押す
② 「カード実行」➤「画像全消去」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

2 「はい」を選び、消去する

- SELECT/SETダイヤルを押すと、🔑（プロテクトした）静止画を除いたすべての静止画が消去されます。消去が終了すると、「カード実行」サブメニューに戻ります。

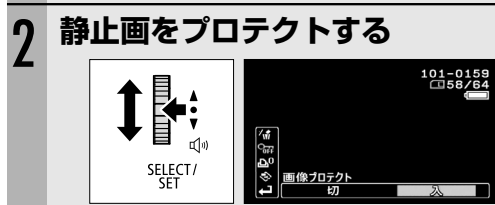
静止画をプロテクトする（画像プロテクト）

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

プロテクト設定をしても、カードを初期化するとすべての静止画は消去されます。

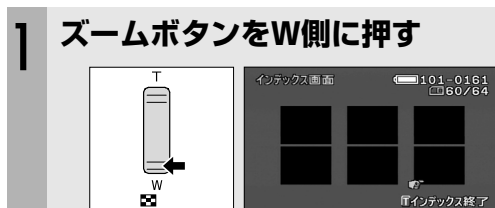
①静止画を見ながらプロテクトする

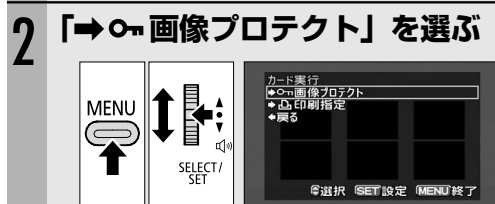
1 SELECT/SETダイヤルを押す

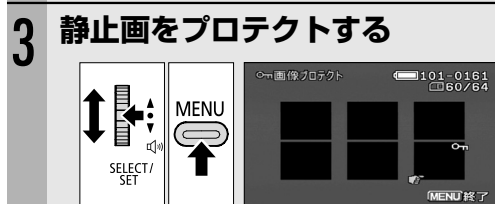
● 「画像設定」メニューが出ます。

2 静止画をプロテクトする

● SELECT/SETダイヤルを回して「画像プロテクト」を選び、ダイヤルを押します。SELECT/SETダイヤルで「入」を選んでダイヤルを押します。「O┳」が出ます。「切」を選ぶと解除します。
● 「↵」を選ぶと、メニューが消えます。

②インデックス画面で静止画をプロテクトする

1 ズームボタンをW側に押す

● インデックス画面になります。
● プロテクトする静止画を選びます（「インデックス画面で静止画を選ぶ」操作2（□ 141））。

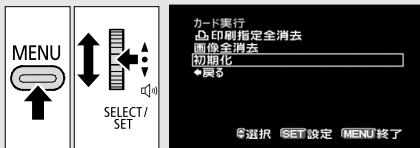
2 「➡O┳画像プロテクト」を選ぶ

① MENUボタンを押す
② 「カード実行」➤「➡O┳画像プロテクト」を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

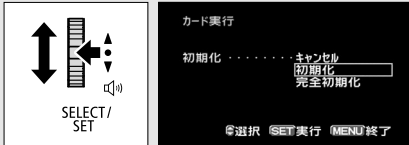
3 静止画をプロテクトする

● SELECT/SETダイヤルを押すと「O┳」が出て、プロテクトされます。もう一度押すと、解除します。
● SELECT/SETダイヤルを上／下に回すと、他の静止画を選べます。
● MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

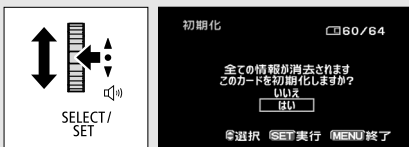
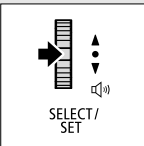
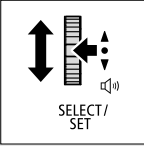
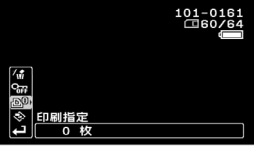
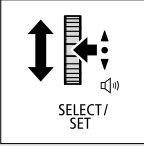
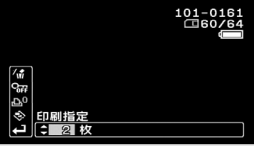
カードを初期化する

初期化は、新しいカードを使うときや、「カードエラーです」という表示が出たときに行います。また、カードに記録した静止画などの情報すべてを消去するときにも行います。初期化には「初期化」と「完全初期化」があります。「初期化」はデータそのものが格納された場所まで初期化しませんので、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選択してください。

- ❍ 初期化を行うと、プロテクト設定した静止画やカスタムプリセットまで、すべての情報が消えます。
- ❍ 初期化して一度消去した静止画やカスタムプリセットなどはもとに戻せません。初期化する前に確認してください。
- ❍ カードへの記録/読み出しに時間がかかるようになったと思われるときは、「完全初期化」を選択することをおすすめします。
- ❍「完全初期化」はカードによっては数分かかることがあります。
- ❍ 付属のSDメモリーカード以外のカードを使用する際には、はじめに本機で初期化してください。

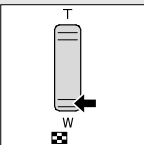
1 「初期化」を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「初期化」を順に選ぶ
・ SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

2 初期化の方法を選ぶ

● SELECT/SETダイヤルを回して初期化の方法を選び、ダイヤルを押します。

3 「はい」を選び、初期化する

● SELECT/SETダイヤルを回して「はい」を選び、ダイヤルを押すと、カードは初期化され、すべての情報が消去されます。
●「完全初期化」の場合は初期化に時間がかかることを示すメッセージが表示されますので、SELECT/SETダイヤルを回して「はい」を選びます。
● 完全初期化は途中で中止することができます。初期化中にSELECT/SETダイヤルを押してください。この場合、カードは問題なく使用できますが、データはすべて消去されます。

静止画編

静止画を🖨印刷指定する

カードに記録した静止画の中から、印刷したい静止画とその枚数を指定できます。本機は印刷フォーマットのDPOF（ディーポフ）（Digital Print Order Format）に対応しています。🖨印刷指定は、最大998枚の静止画まで設定できます。

①-1 静止画を見ながら🖨印刷指定をする

TAPE CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

1 SELECT/SETダイヤルを押す

SELECT/SET

● 画像設定メニューが出ます。

2 「🖨印刷指定」を選ぶ

SELECT/SET

101-0161
60/64
印刷指定
0 枚

● SELECT/SETダイヤルを回して、「🖨印刷指定」を選び、ダイヤルを押します。

3 🖨印刷指定をする

SELECT/SET

101-0161
60/64
印刷指定
2 枚

● SELECT/SETダイヤルを回して、枚数を選びます。
● ダイヤルを押すと、🖨印刷指定されます。
●「↵」を選ぶと、メニューが消えます。

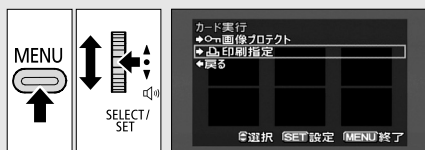
①-2 インデックス画面で🖨印刷指定をする

TAPE CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

1 ズームボタンをW側に押す

T
W

● インデックス画面になります。
● 印刷指定する静止画を選びます（「インデックス画面で静止画を選ぶ」操作2（📖141））。

2 「➡ 🖨 印刷指定」を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「➡ 🖨印刷指定」を順に選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

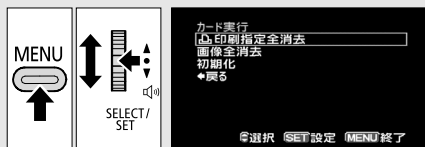
3 🖨 印刷指定をする

- SELECT/SETダイヤルを押すと「 🖨 0」が付きます。ダイヤルを回して、枚数を選びます。
- SELECT/SETダイヤルを押すと、 🖨印刷指定されて次の静止画を選べます。
- MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

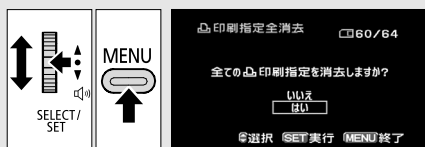
🖨 印刷指定を消去するとき

🖨 印刷指定をしている静止画を選びます。①-1または2の操作で枚数「0」を選び、SELECT/SETダイヤルを押すと「 🖨 」が消えます。

①-3 すべての印刷指定を消去する

1 「🖨 印刷指定全消去」を選ぶ

静止画1枚再生中

① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「印刷指定全消去」を順に選ぶ
- SELECT/SETダイヤルを回して項目を選び、ダイヤルを押して設定します。

2 「はい」を選び、🖨 印刷指定を消去する

- SELECT/SETダイヤルを押すと、すべての 🖨印刷指定が消去されます。
- MENUボタンを押すと、静止画1枚再生画面になります。

静止画編

メニュー一覧

本機では、画面に表示されるメニューで、撮影や再生に必要なさまざまな設定を行います。

メニューの階層

本機のメニューは、動画/静止画の撮影/再生の各モードによってそれぞれ次のように切り換わります。

「カメラ メニュー」・・・・・・動画撮影時
「VCR メニュー」・・・・・・・動画再生時
「カード/カメラ メニュー」・・・静止画撮影時
「カード再生 メニュー」・・・・静止画再生時

MENU

- 信号設定
  - タイムコード*1
  - GENLOCK調整 XH G1s *2
  - 信号規格*6
  - フレームレート*6
  - 再生規格*3
  - コンポーネント出力
  - SDI出力 XH G1s
  - SDI出力映像 XH G1s
  - UB出力 XH G1s *1
  - AV→DV*3
  - DV変換*3
  - レターボックス出力*3
- カメラ設定*2
  - 24Fプルダウン*4
  - AEシフト
  - AGC LIMIT
  - GAIN設定
  - AFモード
  - 手ぶれ補正
  - スキンディテール
  - SELECTIVE NR
  - カラーコレクション
  - フォーカスP.スピード
  - クリアスキャン*6
  - フォーカス優先*5
  - 静止画確認時間*5
  - FOCUS LIMIT
- 記録設定*7
  - DV録画モード*3*4
  - UB記録 XH G1s *6
  - UB選択*1
  - 静止画像画質
  - 静止画像サイズ*2
  - HD時静止画サイズ*3
  - 画像番号
- オーディオ設定*7
  - 音声モニター*3
  - ミックスバランス*3
  - DVオーディオモード*3*4
  - モニター選択*6
  - OUTPUTレベル
  - OUTPUT CH*7
  - CH1 INPUT*2
  - CH2 INPUT*2
  - XLR REC CH*2
  - LOW CUT*2
  - MIC 感度*2
  - XLR 1 TRIM*2
  - XLR 2 TRIM*2
  - XLR ALC LINK*2
  - オーディオリミッター*2
- 表示設定
  - CVF調整
  - LCD調整
  - CVF+LCD BW
  - CVF+LCD ON
  - ピーキング調整*2
  - 言語
  - マーカー*2
  - アスペクトマーカー*6
  - セーフティーゾーン*6
  - ゼブラパターン*2
  - ゼブラパターンレベル*2
  - オンスクリーン
  - レベルメーター*1
  - ガイド*2
  - カスタムキー*8
  - データコード*3
  - 日付オート表示*3
  - UB表示*1
- システム設定
  - カスタムキー 1
  - カスタムキー 2
  - リモコンコード
  - パワーセーブ*2
  - 日時設定
  - おしらせ音
  - DVコントロール*6
  - MAGN.ボタンロック*2
  - SHTR D.ロック*2
  - E. LCK B. ロック*2
  - ALL DISPLAY*2
  - 設定初期化
  - CAM.F.VER.*9
- カスタマイズ
  - カスタムプリセット*2
  - カスタムファンクション*10
  - カスタムディスプレイ*2
  - 静止画記録CP*9

*1「カメラ メニュー」、「VCR メニュー」のみ。
*2「カメラ メニュー」、「カード/カメラ メニュー」のみ。
*3「VCR メニュー」のみ。
*4 SDモード時の「カメラ メニュー」のみ。
*5「カード/カメラ メニュー」のみ。
*6「カメラ メニュー」のみ。
*7「カメラ メニュー」、「VCR メニュー」、「カード/カメラ メニュー」のみ。
*8「VCR メニュー」、「カード再生 メニュー」のみ。
*9「カード再生 メニュー」のみ。
*10「VCR メニュー」ではサブメニューで表示される。

カメラメニュー　＊SDのみ　※太字はご購入時の設定です。

サブメニュー項目	設定内容	意味		📖
信号設定				
タイムコード	フレーム設定	**ドロップ**	ドロップ方式でタイムコードを記録する。	50
		ノンドロップ	ノンドロップ方式でタイムコードを記録する。	
	カウントアップ方式	**レックラン**	本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進する。	
		レックランプリセット	スタート値設定画面へ。	
		フリーラン	本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進する。スタート値設定画面へ。	
	スタート値設定	**セット**	タイムコードを設定する。スタート値設定画面へ。	
		リセット	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。	
XH G1s GENLOCK調整	−1023～1023	GENLOCKを位相差0を中心として約±0.4H（−1023～＋1023）の範囲で調整する。		52
信号規格	**HD**	信号規格を選択する。		38
	SD16：9			
	SD4：3			
フレームレート	**60i**	フレームレートを選択する。		48
	30F			
	24F			
コンポーネント出力	480i	480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。		92
	1080i/480i	1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。		
XH G1s SDI出力	入（OSD）	HD/SD SDI端子の出力を入/切する。「入」にすると映像に音声とタイムコードが重畳され、「入（OSD）」にすると画面表示も重畳される。		60、92
	入			
	切			
XH G1s SDI出力映像	**オート**	HD/SD SDI端子の出力を選択する。オートでは信号に合わせて自動切り換えになります。		92
	SD固定			
XH G1s UB出力	HD 24P 2:3	「HD 24P 2:3」にすると、SDI端子やTIME CODE端子から出力されるタイムコードのユーザービットとして2:3プルダウン情報を出力できる。「設定UB」にすると、設定しているユーザービットを出力する。		52
	設定UB			
カメラ設定				
24Fプルダウン＊	**2：3**	2：3プルダウン方式で24pを記録する。		49
	2：3：3：2	2：3：3：2プルダウン方式で24pを記録する。		
AEシフト	−2.0 −1.5 −1.25 −1.0 −0.75 −0.5 −0.25 **±0** +0.25 +0.5 +0.75 +1.0 +1.25 +1.5 +2.0	AEレベルを15段階に調整する。		73

メニュー編

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容		意味	
AGC LIMIT	**切 (18dB)** 15dB 12dB 9dB 6dB 3dB		ゲインがオートのとき、ゲインリミッターを設定してゲインの最大値を制限できる。	75
GAIN設定	GAIN L	−3dB **±0dB** 3dB 6dB 12dB 18dB 36dB TUNE 0.0dB	GAINスイッチのL、M、Hに割りあてるゲイン値を選択する。 「TUNE 0.0dB」では、0.0dBから18.0dBまで0.5刻みで設定できる（ゲインファインチューニング）。	74
	GAIN M	−3dB ±0dB 3dB **6dB** 12dB 18dB 36dB TUNE 0.0dB		
	GAIN H	−3dB ±0dB 3dB 6dB **12dB** 18dB 36dB TUNE 0.0dB		
AFモード	**ハイスピードAF** ノーマルAF		AFモードを選択する。	42
手ぶれ補正	**入** 切		手ぶれ補正機能を入/切する。	61
スキンディテール	エフェクトレベル	**切** ロー ミドル ハイ	スキンディテールの補正度合いを設定する。	83
	色相 クロマ エリア Yレベル		色相を調整する。 クロマを調整する。 エリアを調整する。 Yレベルを調整する。	
SELECTIVE NR	エフェクトレベル	**切** ロー S-NR ミドル S-NR ハイ S-NR	SELECTIVE NRの補正度合いを設定する。	84
	色相 クロマ エリア Yレベル		色相を調整する。 クロマを調整する。 エリアを調整する。 Yレベルを調整する。	

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容		意味	📖
カラーコレクション	色補正実行	**切** A B A&B	カラーコレクション機能を使わない。 Aエリアにカラーコレクションをかける。 Bエリアにカラーコレクションをかける。 AとBの両方のエリアにカラーコレクションをかける。	81
	Aエリア選択	色相 クロマ エリア Yレベル	Aエリアの色相を調整する。 Aエリアのクロマを調整する。 Aエリアのエリアを調整する。 AエリアのYレベルを調整する。	
	Aエリア補正	Rゲイン Bゲイン	AエリアのRゲインを調整する。 AエリアのBゲインを調整する。	
	Bエリア選択	色相 クロマ エリア Yレベル	Bエリアの色相を調整する。 Bエリアのクロマを調整する。 Bエリアのエリアを調整する。 BエリアのYレベルを調整する。	
	Bエリア補正	Rゲイン Bゲイン	BエリアのRゲインを調整する。 BエリアのBゲインを調整する。	
フォーカスP.スピード	**4**		フォーカスプリセットのスピードを4（高速）～1（低速）の4段階から選択する。	46
	3			
	2			
	1			
クリアスキャン			パソコンなどの画面を撮影するときに選択する（選択範囲60.1～203.9Hz）。	85
FOCUS LIMIT	入 F.LMT		マクロ領域のフォーカス制限を入／切します。	46
	切			
記録設定				
DV録画モード＊	**SP**		SP（標準）モードで録画する。	–
	LP		LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。 LPモードについて： ・LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。 ・本機でLPモードで録画したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。 ・テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。	
XH G1s UB記録	**内部記録**		本機の内部設定のユーザービットを記録する。	54
	外部入力		TIME CODE端子から入力されたユーザービットを記録する。	
UB選択	**00 00 00 00**		UB（ユーザービット）のセット/リセット選択画面 ➤ セットを選ぶと、ユーザービット設定画面へ。	54
	時刻		ユーザービットに時刻を適用する。	
	日付		ユーザービットに日付を適用する。	
静止画像画質	S スーパーファイン		カードに記録する静止画の画質を設定する。	131
	ファイン			
	ノーマル			

メニュー編

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
静止画像サイズ	HDVまたはDV16：9のとき **LW 1920×1080** SW 848×480	カードに記録する静止画のサイズを設定する。	131
	DV4：3のとき **L 1440×1080** S 640×480		
画像番号	オートリセット	カードを入れ換えると番号はリセットされる。	132
	通し番号	画像番号は、最後の番号の続きになる。	
オーディオ設定			
DVオーディオモード＊	**16bit**	音声を48kHz、16bit　2チャンネルで記録する。	55
	12bit	音声を32kHz、12bit　2チャンネルで記録する（3、4チャンネルは記録しない）。	
モニター選択	**ノーマル**	撮影時の音声をそのまま出力する（画面とわずかなずれがでます。テープへの記録ではずれません）。	59
	ラインアウト	撮影時の音声を画面に同期させて出力する。	
OUTPUTレベル	**1Vrms**	A/V1端子の音声出力レベル切り換え。	96
	2Vrms		
OUTPUT CH	**CH❶/CH❷**	音声出力から出力するチャンネルを切り換える。	96
	CH❶/CH❶		
	CH❷/CH❷		
	ALL CH/ALL CH		
CH1 INPUT	**INT/EXT MIC**	CH1の音声入力を選択する。	55
	XLR MIC		
	XLR LINE		
CH2 INPUT	**INT/EXT MIC**	CH2の音声入力を選択する。	55
	XLR MIC		
	XLR LINE		
XLR REC CH	**CH1**	XLR端子から録音するチャンネルを選択する。	57
	CH1/CH2		
LOW CUT	**OFF**	内蔵マイクを使用する場合、収録する音や撮影場所に合わせて録音時の最適な特性を選択する。	56
	LC1		
	LC2		
MIC 感度	**ノーマル**	マイクの感度を選択する。	56
	高感度		
XLR 1 TRIM	+12dB	XLR 1のゲイン調整。	57
	+6dB		
	0dB		
	−6dB		
	−12dB		
XLR 2 TRIM	+12dB	XLR 2のゲイン調整。	57
	+6dB		
	0dB		
	−6dB		
	−12dB		
XLR ALC LINK	LINK	CH1/CH2のレベル調整の連動／独立を切り換える。	58
	SEP		
オーディオリミッター	入	大入力の音声による歪防止を入／切する。	59
	切		

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定			
CVF調整	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	23
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー*1	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス*1	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
	バックライト	明るい **ノーマル** バックライトの明るさを調整する。	
LCD調整	明るさ	液晶画面の明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	23
	コントラスト	液晶画面のコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	液晶画面の色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	液晶画面のシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
	バックライト	明るい **ノーマル** バックライトの明るさを調整する。	
CVF＋LCD BW*1	入 **切**	ファインダーと液晶画面の白黒モードを入/切する。	24
CVF＋LCD ON	入 **切**	ファインダーと液晶画面の同時使用を入/切する。	24
ピーキング調整*1	ピーキング1	ゲイン（切、1～15） 周波数（1～4） ピーキング1/2のゲインと周波数設定。	44
	ピーキング2	ゲイン（切、1～15） 周波数（1～4）	
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポーランド語、ロシア語、簡体中文、**日本語** ・画面下のSETとMENUは切り換わらない。	30
マーカー	**切**	水平/センターマーカー/グリッドを表示しない。	36
	水平マーカー	水平マーカーを表示する。	
	センターマーカー	センターマーカーを表示する。	
	グリッドマーカー	グリッドマーカーを表示する。	
アスペクトマーカー	**切** 4：3 13：9 14：9 1.66：1 1.75：1 1.85：1 2.35：1	アスペクトマーカー表示を選択する。	36
セーフティーゾーン	**切** 80% 90%	セーフティゾーン表示を切、80%、90%で選択する。	36

*1 VIEWFINDER COMPONENT OUT端子の出力も同時に変わります。

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
ゼブラパターン	入	ゼブラパターン表示を入/切する。	80
	切		
ゼブラパターンレベル	70	ゼブラパターンの表示レベルを選択する。	80
	75		
	80		
	85		
	90		
	95		
	100		
オンスクリーン	**入**	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	87
	切		
レベルメーター	**入**	画面のオーディオレベル表示を入/切する。	58
	切		
ガイド	**切**	ガイド情報を画面に表示しない。	33、86
	カスタムキー	カスタムキーの設定情報を画面に表示する。	
	日時表示	日時を画面に表示する。	
UB表示	入	ユーザービットの画面表示を入/切する。	54
	切		
システム設定			
カスタムキー 1	**タイムコード**	カスタムキー 1で使用する機能を選択する。 カスタムキー 1を使用しないときは「未設定」を選択する。	86
	インデックス記録		
	ゼブラパターン		
	VCRストップ		
	オンスクリーン		
	TC HOLD		
	レベルメーター		
	CVF+LCD BW		
	MAGN.ボタンロック		
	SHTR D.ロック		
	E.LCK B.ロック		
	SDI出力 XHG1s		
	FOCUS LIMIT		
	手ぶれ補正		
	OUTPUT CH		
	（未設定）		
カスタムキー 2	タイムコード	カスタムキー 2で使用する機能を選択する。 カスタムキー 2を使用しないときは「未設定」を選択する。	86
	インデックス記録		
	ゼブラパターン		
	VCRストップ		
	オンスクリーン		
	TC HOLD		
	レベルメーター		
	CVF+LCD BW		
	MAGN.ボタンロック		
	SHTR D.ロック		
	E.LCK B.ロック		
	CPマイナスキー		
	SDI出力 XHG1s		
	FOCUS LIMIT		
	手ぶれ補正		
	OUTPUT CH		
	（未設定）		

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
リモコンコード	1	コードを「1」または「2」に設定したリモコンを受け付けます。「切」では、リモコンの信号は受け付けません。	130
	2		
	切		
パワーセーブ	**入**	「入」の場合、バッテリーパック使用時に本機を5分間操作しないと電源が切れる。	35
	切		
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	32
	日付/時刻	日時を設定する。	
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2008.1.1 AM12:00** M.D,Y : JAN. 1, 2008 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2008 12:00AM	
おしらせ音	大	操作音などの音量を設定します。	–
	小		
	切		
DVコントロール	入 DV	DVコントロール機能を入/切する。	98
	切		
MAGN.ボタンロック	**無効**	MAGN.ボタンのロックの有効/無効を切り換える。	44、88
	有効		
SHTR D.ロック	**無効**	SHUTTERダイヤルのロックの有効/無効を切り換える。	66、88
	有効		
E.LCK B.ロック	**無効**	EXP.LOCK/PUSH AEボタンのロックの有効/無効を切り換える。	67、72、88
	有効		
ALL DISPLAY	**有**	すべての画面表示をする／しないを切り換える。	35
	無		
設定初期化	**いいえ**	すべての設定を工場出荷時に戻す。	–
	はい		

カスタマイズ					
カスタムプリセット	EDIT	SELECT CP	1 PRESET_A	設定するプリセットを選択する。	103～105
			2 PRESET_B		
			3 PRESET_C		
			4 PRESET_D		
			5 PRESET_E		
			6 PRESET_F		
			7 VIDEO.C	民生用の薄型テレビ再生用	
			8 CINE.V	フィルムトーン映像再生	
			9 CINE.F	キネコを目的とした録画	
		TUNE	選択したカスタムプリセットの設定を編集する。		
		RENAME	選択したカスタムプリセットの名前を変える。		
		PROTECT	選択したカスタムプリセットの設定をプロテクトする。		
		RESET	選択したカスタムプリセットの設定と名前を初期値に戻す。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目		設定内容		意味	
カスタムプリセット	EDIT	GAM（ガンマ）	**NORMAL**	ガンマを設定する。	109～111
			CINE1		
			CINE2		
		KNE（ニー）	**AUTO**	ニーを設定する。	
			HIGH		
			MIDDLE		
			LOW		
		BLK（ブラック）	STRETCH	ブラックを設定する。	
			MIDDLE		
			PRESS		
		PED（マスターペデスタル）	−9～**0**～9	マスターペデスタルを調整する。	
		SET（セットアップレベル）	−9～**0**～9	セットアップレベルを調整する。	
		SHP（シャープネス）	−9～**0**～9	シャープネスを調整する。	
		HDF（H DTL FREQ）	HIGH	水平ディテール周波数を設定する。	
			MIDDLE		
			LOW		
		DHV（DTL HV BAL）	−9～**0**～9	ディテール周波数の水平と垂直を調整する。−9では水平だけ、+9では垂直だけになる。	
		COR（コアリング）	−9～**0**～9	コアリングを調整する。	
		NR1	**OFF**	ノイズリダクション1を設定する。	
			HIGH		
			MIDDLE		
			LOW		
		NR2	**OFF**	全体にスキンディテールをかけたように設定する。	
			HIGH		
			MIDDLE		
			LOW		
		CMX（カラーマトリクス）	**NORMAL**	カラーマトリクスを設定する。	
			CINE1		
			CINE2		
		CGN（カラーゲイン）	−50～**0**～50	カラーゲインを調整する。	
		CPH（色相）	−9～**0**～9	色相を調整する。	
		RGN（Rゲイン）	−50～**0**～50	Rゲインを調整する。	
		GGN（Gゲイン）	−50～**0**～50	Gゲインを調整する。	
		BGN（Bゲイン）	−50～**0**～50	Bゲインを調整する。	
		RGM（RGマトリクス）	−50～**0**～50	R-Gマトリクスを調整する。	
		RBM（RBマトリクス）	−50～**0**～50	R-Bマトリクスを調整する。	
		GRM（GRマトリクス）	−50～**0**～50	G-Rマトリクスを調整する。	
		GBM（GBマトリクス）	−50～**0**～50	G-Bマトリクスを調整する。	
		BRM（BRマトリクス）	−50～**0**～50	B-Rマトリクスを調整する。	
		BGM（BGマトリクス）	−50～**0**～50	B-Gマトリクスを調整する。	
		SELECT CP	コピーするカスタムプリセットを選択する。		106～109
		SAVE POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
		EXECUTE	実行する。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
		IMPORT	コピーするカスタムプリセットを選択する。		
		SELECT POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
		EXECUTE	実行する。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カスタムファンクション	00 SHCKLSS WB/GN （ショックレスホワイトバランス/ゲイン）	WHITE BALANCE：**OFF**、ON GAIN：**OFF**、ON	
	01 AE RESPONSE （AEレスポンス）	**MIDDLE**、HIGH、LOW	
	02 ZOOM RING CTRL （ズームリングレスポンス）	**NORMAL**、FAST、SLOW	
	03 ZOOM SPEED （ズームスピード）	**NORMAL**、FAST、SLOW	
	04 FOCUS RING CTRL （フォーカスリング レスポンス）	**NORMAL**、FAST、SLOW	
	05 BUTTONS OPER.1 （ボタン操作1）	MAGN.（拡大表示）：**ONE PUSH**、LONG PUSH WB SET（ホワイトバランス）：**ONE PUSH**、LONG PUSH PUSH AF（プッシュAF）：**ONE PUSH**、LONG PUSH	117
	06 BUTTONS OPER.2 （ボタン操作2）	REC REVIEW（レックレビュー）：**ONE PUSH**、LONG PUSH END SEARCH（エンドサーチ）：**ONE PUSH**、LONG PUSH	
	07 RINGS DIRECTION （リング操作方向）	ZOOM（ズームリング）：**NORMAL**（上方向：W）、REVERSE（下方向：W） FOCUS（フォーカスリング）：**NORMAL**（上方向：近）、REVERSE（下方向：近） IRIS（絞りリング）：**NORMAL**（上方向：閉）、REVERSE（下方向：閉）	
	08 OPER. DIRECTION （操作方向）	CURSOR（SELECT/SETダイヤル）：**NORMAL**（上方向：左移動）、REVERSE（下方向：左移動） SHUTTER（シャッターダイヤル）：**NORMAL**（上方向：高速）、REVERSE（下方向：高速）	
	09 IRIS LIMIT （絞りリミット）	**OFF**、ON	
	10 PHOTO BUTTON	**PHOTO+CP DATA**、PHOTO、MAGNIFYING、OFF	
	11 MARKER LEVEL （マーカー輝度）	MARKER（水平/センター/グリッドマーカー）：**100%**、40% ASPECT（アスペクトマーカー）：**100%**、40% SAFETY（セーフティゾーンマーカー）：**100%**、40%	
	12 F.AST BW-MOD （フォーカスアシスト白黒連動モード）	MAGN.（拡大表示連動）：**OFF**、ON PEAKING（ピーキング連動）：**OFF**、ON	
	13 OBJ DST UNIT （被写体距離単位）	**m（meter）**、ft（feet）	118
	14 ZOOM INDICATOR （ズーム表示）	**BAR**（ズームバー）、NUMBER（数値）	
	15 COLOR BARS （カラーバー）	**TYPE 1**（SMPTE準拠）、TYPE 2（ARIB準拠）	
	16 1kHz TONE（テストトーン）	**OFF**、−12dB、−18dB、−20dB	
	17 LANC AE SHIFT （LANC AEシフト）	**AE SHIFT**、IRIS	
	18 TALLY LAMP（タリーランプ）	**ON**、BLINK（点滅）、OFF	
	19 LED	**TYPE 1**、TYPE 2、OFF	
	20 CUSTOM REC （カスタム記録）	CHARACTER REC（表示文字記録）：**OFF**、ON MAGNIFYING REC（拡大動画記録）：**OFF**、ON	119

メニュー編

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カスタムディスプレイ	00 REC PROGRAMS （撮影モード）	OFF、**ON**	121
	01 CAMERA DATA1 （カメラデータ1）	F NUMBER（F値）：OFF、**ON** SHUTTER SPEED（シャッタースピード）：OFF、**ON**	
	02 CAMERA DATA 2 （カメラデータ2）	EXPOSURE（露出）：OFF、**ON** WHITE BALANCE（ホワイトバランス）：OFF、**ON** GAIN（ゲイン）：OFF、**ON**	
	03 ZOOM（ズーム）	ズーム位置、ズームスピード OFF、**ON（NORMAL）**（操作時のみ表示）、 ON（ALWAYS）（常時表示）	
	04 FOCUS（フォーカス）	OFF、**ON（NORMAL）**、ON（ALWAYS）	
	05 ND（NDフィルター）	OFF、**ON**	
	06 IMAGE EFFECTS （画質効果）	SKIN DETAIL（スキンディテール）：OFF、**ON** SELECTIVE NR（セレクティブNR）：OFF、**ON** COLOR CORRECTION（カラーコレクション）：OFF、**ON**	
	07 F.ASSIST FUNC. （フォーカスアシスト）	PEAKING（ピーキング）：OFF、**ON** MAGN.（拡大表示）：OFF、**ON**	122
	08 CUSTOMIZE （カスタム機能）	CUSTOM PRESET（カスタムプリセット）：OFF、**ON** CUSTOM FUNCITON（カスタムファンクション）： OFF、**ON**	
	09 RECORDING STD （録画規格）	OFF、**ON**	
	10 DV REC MODE （録画モード）	**OFF**、ON	
	11 FRAME RATE （フレームレート）	OFF、**ON**	
	12 TAPE（動画記録）	TIME CODE（タイムコード）：OFF、**ON** OPERATION MODE（動作モード）：OFF、**ON** DV CONTROL（DVコントロール）：**OFF**、ON	
	13 TAPE REMAINDER （テープ残量）	OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）	
	14 TAPE/CARD （動画/静止画共通）	EXT CONTROL（外部コントロール）：**OFF**、ON IMG STAB （手ぶれ補正）：**OFF**、ON IMG SIZE/QUALITY（静止画サイズ/画質）：**OFF**、ON	
	15 LIGHT METERING （測光方式）	SPOT AE POINT（スポット測光枠）：OFF、**ON** LIGHT METERING（測光方式）：OFF、**ON**	
	16 CARD（静止画記録）	DRIVE MODE：OFF、**ON** FLASH（ストロボ）：OFF、**ON**	
	17 CARD REMAINDER （カード残量）	OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）	
	18 AUDIO（オーディオ）	LOW CUT （ローカット）：**OFF**、ON DV AUDIO（DVオーディオモード）：**OFF**、ON OUTPUT CH（出力CH）：**OFF**、ON	
	19 WARNING/STATUS （警告）	CONDENSATION（結露）： OFF、**ON** CHARACTER REC ： OFF、**ON** SDI（SDI警告）XHG1s ： OFF、**ON**	
	20 BATTERY（バッテリー）	OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）	123
	21 WIRELESS REMOTE （リモコン）	OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）	

VCRメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味		📖
信号設定				
タイムコード	フレーム設定	**ドロップ**	ドロップ方式でタイムコードを記録する。	50
		ノンドロップ	ノンドロップ方式でタイムコードを記録する。	
	カウントアップ方式	**レックラン**	本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進する。	
		レックランプリセット	スタート値設定画面へ。	
		フリーラン	本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進する。 スタート値設定画面へ。	
	スタート値設定	**セット**	タイムコードを設定する。 スタート値設定画面へ。	
		リセット	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。	
	HDV/DV入力	**リジェネ**	タイムコードを生成する。	99
		コピー	タイムコードをコピーする。	
再生規格	**オート**	テープ再生時は、自動でHDV/DV規格の信号を切り換えて再生する。HDV/DV端子に接続している場合は、自動でHDV/DV規格の信号を切り換えて、HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。		102、124
	HDV	テープ再生時は、HDV規格で記録された部分だけを再生する。HDV/DV端子に接続している場合は、HDV規格の信号だけを、HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。		
	DV	テープ再生時は、DV規格で記録された部分だけを再生する。HDV/DV端子に接続している場合は、DV規格の信号だけを、HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。		
コンポーネント出力	480i	480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。		92
	1080i/480i	1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。		
XH G1s SDI出力	入（OSD）	HD/SD SDI端子の出力を入/切する。 「入」にすると映像に音声とタイムコードが重畳され、「入（OSD）」にすると画面表示も重畳される。		60、92
	入			
	切			
XH G1s SDI出力映像	**オート**	HD/SD SDI端子の出力を選択する。 オートでは信号に合わせて自動切り換えになります。		92
	SD固定			
XH G1s UB出力	HD 24P 2:3	「HD 24P 2:3」にすると、SDI端子やTIME CODE端子から出力されるタイムコードのユーザービットとして2:3プルダウン情報を出力できる。「設定UB」にすると、設定しているユーザービットを出力する。		52
	設定UB			
AV→DV	入	アナログ入力した映像/音声信号をデジタル変換し、HDV/DV端子から出力することを入/切する。		101
	切			

次のページへ

メニュー一覧…つづき

VCRメニュー

<table>
<tr><th>サブメニュー項目</th><th>設定内容</th><th>意味</th><th>📖</th></tr>
<tr><td rowspan="2">DV変換</td><td>入</td><td rowspan="2">HDV記録したテープを再生するときに、HDV/DV端子から出力する信号をDV規格に変換することを入/切する。
<table><tr><td rowspan="2">「DV変換」</td><td rowspan="2">再生信号</td><td colspan="3">「再生規格選択」</td></tr><tr><td>オート</td><td>HDV</td><td>DV</td></tr><tr><td rowspan="2">入</td><td>HDV</td><td>DV</td><td>DV</td><td>出力せず</td></tr><tr><td>DV</td><td>DV</td><td>出力せず</td><td>DV</td></tr><tr><td rowspan="2">切</td><td>HDV</td><td>HDV</td><td>HDV</td><td>出力せず</td></tr><tr><td>DV</td><td>DV</td><td>出力せず</td><td>DV</td></tr></table>・DV変換の出力映像は、元のフレームレートに関係なく、すべて60iになります。
・他機によってオーディオが4チャンネルで記録されているときは、チャンネル1、2のみ出力されます。</td><td rowspan="2">93､102</td></tr>
<tr><td>切</td></tr>
<tr><td rowspan="2">レターボックス出力</td><td>入</td><td rowspan="2">レターボックス信号の出力を入/切する。</td><td rowspan="2">94</td></tr>
<tr><td>切</td></tr>
<tr><th colspan="4">記録設定</th></tr>
<tr><td rowspan="2">DV録画モード＊</td><td>SP</td><td>SP（標準）モードで録画する。</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>LP</td><td>LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。
LPモードについて：
・LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。
・本機でLPモードで録画したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
・テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">UB選択</td><td>00 00 00 00</td><td>UB（ユーザービット）のセット/リセット選択画面 ➤ セットを選ぶと、ユーザービット設定画面へ。</td><td rowspan="3">54</td></tr>
<tr><td>時刻</td><td>ユーザービットに時刻を適用する。</td></tr>
<tr><td>日付</td><td>ユーザービットに日付を適用する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">静止画像画質</td><td>スーパーファイン</td><td rowspan="3">カードに記録する静止画の画質を設定する。</td><td rowspan="3">131</td></tr>
<tr><td>ファイン</td></tr>
<tr><td>ノーマル</td></tr>
<tr><td rowspan="2">HD時静止画サイズ</td><td>LW 1920×1080</td><td rowspan="2">HDで記録したテープの映像を静止画として記録するときのサイズを設定する。</td><td rowspan="2">131</td></tr>
<tr><td>SW 848×480</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像番号</td><td>オートリセット</td><td>カードを入れ換えると番号はリセットされる。</td><td rowspan="2">132</td></tr>
<tr><td>通し番号</td><td>画像番号は、最後の番号の続きになる。</td></tr>
<tr><th colspan="4">オーディオ設定</th></tr>
<tr><td rowspan="4">音声モニター</td><td>CH 1/2</td><td>CH1/2の音声を出力する。</td><td rowspan="5">97</td></tr>
<tr><td>CH 3/4</td><td>CH3/4の音声を出力する。</td></tr>
<tr><td>ミックス/1：1</td><td>CH1/2とCH3/4の音声ミックスを出力する。</td></tr>
<tr><td>ミックス/バリアブル</td><td>CH1/2とCH3/4の音声ミックス（可変）を出力する。</td></tr>
<tr><td>ミックスバランス</td><td>1/2 ―――■――― 3/4</td><td>音声モニターを「ミックス/バリアブル」にした時の出力バランスを調整する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DVオーディオモード＊</td><td>16bit</td><td>音声を48kHz、16bit　2チャンネルで記録する。</td><td rowspan="2">55</td></tr>
<tr><td>12bit</td><td>音声を32kHz、12bit　2チャンネルで記録する（3、4チャンネルは記録しない）。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">OUTPUTレベル</td><td>1Vrms</td><td rowspan="2">A/V1端子の音声出力レベル切り換え。</td><td rowspan="2">96</td></tr>
<tr><td>2Vrms</td></tr>
<tr><td rowspan="4">OUTPUT CH</td><td>CH13/CH24</td><td rowspan="4">音声出力から出力するチャンネルを切り換える。</td><td rowspan="4">96</td></tr>
<tr><td>CH13 /CH13</td></tr>
<tr><td>CH24 /CH24</td></tr>
<tr><td>ALL CH/ALL CH</td></tr>
</table>

VCRメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定			
CVF調整	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	23
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー*1	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス*1	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
	バックライト	明るい / **ノーマル**：バックライトの明るさを調整する。	
LCD調整	明るさ	液晶画面の明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	23
	コントラスト	液晶画面のコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	液晶画面の色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	液晶画面のシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
	バックライト	明るい / **ノーマル**：バックライトの明るさを調整する。	
CVF＋LCD BW*1	入 **切**	ファインダーと液晶画面の白黒モードを入/切する。	24
CVF＋LCD ON	入 **切**	ファインダーと液晶画面の同時使用を入/切する。	24
オンスクリーン	入 **切**	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	87
レベルメーター	**入** 切	画面のオーディオレベル表示を入/切する。	58
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポーランド語、ロシア語、簡体中文、**日本語** ・画面下のSETとMENUは切り換わらない。	30
カスタムキー	入 **切**	設定したカスタムキーの表示を入/切する。	86
データコード	日付	日付のみ表示する。	129
	時刻	時刻のみ表示する。	
	日付＆時刻	日付と時刻を表示する。	
	カメラデータ	カメラデータを表示する。	
	日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	
日付オート表示	入	再生を始めたとき、または再生中に日付/エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。 ・「再生時文字表示」が「切」になっていても表示する。	–
	切	日付の自動表示をしない。	
UB表示	入 **切**	ユーザービットの画面表示を入/切する。	54

*1 VIEWFINDER COMPONENT OUT端子の出力も同時に変わります。

メニュー編

次のページへ

メニュー一覧…つづき

VCRメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
システム設定			
カスタムキー 1	タイムコード	カスタムキー 1で使用する機能を選択する。 カスタムキー 1を使用しないときは「未設定」を選択する。	86
	オンスクリーン		
	データコード		
	レベルメーター		
	TC HOLD		
	CVF+LCD BW		
	SDI出力 XH G1s		
	OUTPUT CH		
	(未設定)		
カスタムキー 2	タイムコード	カスタムキー 2で使用する機能を選択する。 カスタムキー 2を使用しないときは「未設定」を選択する。	86
	オンスクリーン		
	データコード		
	レベルメーター		
	TC HOLD		
	CVF+LCD BW		
	SDI出力 XH G1s		
	OUTPUT CH		
	(未設定)		
リモコンコード	**1**	コードを「1」または「2」に設定したリモコンを受け付けます。「切 」では、リモコンの信号は受け付けません。	130
	2		
	切		
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	32
	日付/時刻	日時を設定する。	
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2008.1.1 AM12:00** M.D,Y : JAN. 1, 2008 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2008 12:00AM	
おしらせ音	大	操作音などの音量を設定します。	–
	小		
	切		
設定初期化	**いいえ**	すべての設定を工場出荷時に戻す。	–
	はい		
カスタムファンクション			
	詳細はカメラメニューのカスタムファンクションを参照してください（ 157）。		

カードカメラメニュー

<table>
<tr><th>サブメニュー項目</th><th colspan="2">設定内容</th><th>意味</th><th>📖</th></tr>
<tr><td colspan="5">信号設定</td></tr>
<tr><td>XHG1s GENLOCK調整</td><td colspan="2">−1023〜1023</td><td>GENLOCKを位相差0を中心として約±0.4H（−1023〜＋1023）の範囲で調整する。</td><td>52</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コンポーネント出力</td><td colspan="2">480i</td><td>480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。</td><td rowspan="2">92</td></tr>
<tr><td colspan="2">**1080i/480i**</td><td>1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">XHG1s SDI出力</td><td colspan="2">入（OSD）</td><td rowspan="3">HD/SD SDI端子の出力を入/切する。
「入（OSD）」にすると画面表示も出力される。</td><td rowspan="3">92</td></tr>
<tr><td colspan="2">入</td></tr>
<tr><td colspan="2">**切**</td></tr>
<tr><td rowspan="2">XHG1s SDI出力映像</td><td colspan="2">**オート**</td><td rowspan="2">HD/SD SDI端子の出力を選択する。</td><td rowspan="2">92</td></tr>
<tr><td colspan="2">SD固定</td></tr>
<tr><td colspan="5">カメラ設定</td></tr>
<tr><td>AEシフト</td><td colspan="2">−2.0
−1.5
−1.25
−1.0
−0.75
−0.5
−0.25
±0
+0.25
+0.5
+0.75
+1.0
+1.25
+1.5
+2.0</td><td>AEレベルを15段階に調整する。</td><td>73</td></tr>
<tr><td>AGC LIMIT</td><td colspan="2">**切 (18db)**
15dB
12dB
9dB
6dB
3dB</td><td>ゲインがオートのとき、ゲインリミッターを設定してゲインの最大値を制限できる。</td><td>75</td></tr>
<tr><td rowspan="2">GAIN設定</td><td>GAIN L</td><td>−3dB
±0dB
3dB
6dB
12dB
18dB
TUNE 0.0dB</td><td rowspan="2">GAINスイッチのL、M、Hに割りあてるゲイン値を選択する。
「TUNE 0.0dB」では、0.0dBから18.0dBまで0.5刻みで設定できる（ゲインファインチューニング）。</td><td rowspan="2">74</td></tr>
<tr><td>GAIN M</td><td>−3dB
±0dB
3dB
6dB
12dB
18dB
TUNE 0.0dB</td></tr>
</table>

メニュー編

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容		意味	📖
GAIN設定	GAIN H	−3dB ±0dB 3dB 6dB **12dB** 18dB TUNE 0.0dB	GAINスイッチのL、M、Hに割りあてるゲイン値を選択する。 「TUNE 0.0dB」では、0.0dBから18.0dBまで0.5刻みで設定できる（ゲインファインチューニング）。	74
AFモード	**ハイスピードAF** ノーマルAF		AFモードを選択する。	42
手ぶれ補正	**入** 切		手ぶれ補正機能を入/切する。	61
スキンディテール	エフェクトレベル	**切** ロー ミドル ハイ	スキンディテールの補正度合いを設定する。	83
	色相 クロマ エリア Yレベル		色相を調整する。 クロマを調整する。 エリアを調整する。 Yレベルを調整する。	
SELECTIVE NR	エフェクト レベル	**切** ロー S-NR ミドル S-NR ハイ S-NR	SELECTIVE NRの補正度合いを設定する。	84
	色相 クロマ エリア Yレベル		色相を調整する。 クロマを調整する。 エリアを調整する。 Yレベルを調整する。	
カラーコレクション	色補正実行	**切** A B A&B	カラーコレクション機能を使わない。 Aエリアにカラーコレクションをかける。 Bエリアにカラーコレクションをかける。 AとBの両方のエリアにカラーコレクションをかける。	81
	Aエリア選択	色相 クロマ エリア Yレベル	Aエリアの色相を調整する。 Aエリアのクロマを調整する。 Aエリアのエリアを調整する。 AエリアのYレベルを調整する。	
	Aエリア補正	Rゲイン Bゲイン	AエリアのRゲインを調整する。 AエリアのBゲインを調整する。	
	Bエリア選択	色相 クロマ エリア Yレベル	Bエリアの色相を調整する。 Bエリアのクロマを調整する。 Bエリアのエリアを調整する。 BエリアのYレベルを調整する。	
	Bエリア補正	Rゲイン Bゲイン	BエリアのRゲインを調整する。 BエリアのBゲインを調整する。	
フォーカスP.スピード	**4**		フォーカスプリセットのスピードを4（高速）～1（低速）の4段階から選択する。	46
	3			
	2			
	1			
フォーカス優先	**入**		PHOTOボタンを押したときに、ピントが合ってから静止画記録になる。	135
	切		PHOTOボタンを押してすぐ静止画記録する。	

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
静止画確認時間	切	カードに静止画を記録した直後に、画像を確認する時間を設定する。	134
	2秒		
	4秒	・ドライブモードで単写以外を選んでいると設定できない。	
	6秒		
	8秒		
	10秒		
FOCUS LIMIT	入 FLMT	マクロ領域のフォーカス制限を入／切します。	46
	切		
記録設定			
静止画像画質	スーパーファイン	カードに記録する静止画の画質を設定する。	131
	ファイン		
	ノーマル		
静止画像サイズ	**LW1920×1080**	カードに記録する静止画のサイズを設定する。	131
	SW 848×480		
	L 1440×1080		
	S 640×480		
画像番号	オートリセット	カードを入れ換えると番号はリセットされる。	132
	通し番号	画像番号は、最後の番号の続きになる。	
オーディオ設定			
OUTPUTレベル	**1Vrms**	A/V1端子の音声出力レベル切り換え。	96
	2Vrms		
OUTPUT CH	**CH1/CH2**	音声出力から出力するチャンネルを切り換える。	96
	CH1/CH1		
	CH2/CH2		
	ALL CH/ALL CH		
CH1 INPUT	**INT/EXT MIC**	CH1の音声入力を選択する。	55
	XLR MIC		
	XLR LINE		
CH2 INPUT	**INT/EXT MIC**	CH2の音声入力を選択する。	55
	XLR MIC		
	XLR LINE		
XLR REC CH	**CH1**	XLR端子から録音するチャンネルを選択する。	57
	CH1/CH2		
LOW CUT	**OFF**	内蔵マイクを使用する場合、収録する音や撮影場所に合わせて録音時の最適な特性を選択する。	56
	LC1		
	LC2		
MIC 感度	**ノーマル**	マイクの感度を選択する。	56
	高感度		
XLR 1 TRIM	+12dB	XLR 1のゲイン調整。	57
	+6dB		
	0dB		
	−6dB		
	−12dB		
XLR 2 TRIM	+12dB	XLR 2のゲイン調整。	57
	+6dB		
	0dB		
	−6dB		
	−12dB		
XLR ALC LINK	LINK	CH1/CH2のレベル調整の連動／独立を切り換える。	58
	SEP		
オーディオリミッター	入	大入力の音声による歪防止を入／切する。	59
	切		

メニュー編

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味		📖
表示設定				
CVF調整	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。		23
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。		
	カラー*1	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。		
	シャープネス*1	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。		
	バックライト	明るい	バックライトの明るさを調整する。	
		ノーマル		
LCD調整	明るさ	液晶画面の明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。		23
	コントラスト	液晶画面のコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。		
	カラー	液晶画面の色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。		
	シャープネス	液晶画面のシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。		
	バックライト	明るい	バックライトの明るさを調整する。	
		ノーマル		
CVF+LCD BW*1	入	ファインダーと液晶画面の白黒モードを入/切する。		24
	切			
CVF+LCD ON	入	ファインダーと液晶画面の同時使用を入/切する。		24
	切			
ピーキング調整*1	ピーキング1	ゲイン（切、1～15）	ピーキング1/2のゲインと周波数設定。	44
		周波数（1～4）		
	ピーキング2	ゲイン（切、1～15）		
		周波数（1～4）		
言語 💬		画面に表示する言語を選ぶ。 ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポーランド語、ロシア語、簡体中文、**日本語** ・画面下のSETとMENUは切り換わらない。		30
マーカー	**切**	水平/センターマーカー/グリッドを表示しない。		36
	水平マーカー	水平マーカーを表示する。		
	センターマーカー	センターマーカーを表示する。		
	グリッドマーカー	グリッドマーカーを表示する。		
ゼブラパターン	入	ゼブラパターン表示を入/切する。		80
	切			
ゼブラパターンレベル	70	ゼブラパターンの表示レベルを選択する。		80
	75			
	80			
	85			
	90			
	95			
	100			
オンスクリーン	**入**	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。		87
	切			

*1 VIEWFINDER COMPONENT OUT端子の出力も同時に変わります。

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
ガイド	**切**	ガイド情報を画面に表示しない。	33、86
	カスタムキー	カスタムキーの設定情報を画面に表示する。	
	日時表示	日時を画面に表示する。	
システム設定			
カスタムキー 1	**ゼブラパターン**	カスタムキー 1で使用する機能を選択する。 カスタムキー 1を使用しないときは「未設定」を選択する。	86
	オンスクリーン		
	CVF+LCD BW		
	MAGN.ボタンロック		
	SHTR D.ロック		
	E.LCK B.ロック		
	SDI出力 XHG1s		
	FOCUS LIMIT		
	手ぶれ補正		
	OUTPUT CH		
	（未設定）		
カスタムキー 2	ゼブラパターン	カスタムキー 2で使用する機能を選択する。 カスタムキー 2を使用しないときは「未設定」を選択する。	86
	オンスクリーン		
	CVF+LCD BW		
	MAGN.ボタンロック		
	SHTR D.ロック		
	E.LCK B.ロック		
	CPマイナスキー		
	SDI出力 XHG1s		
	FOCUS LIMIT		
	手ぶれ補正		
	OUTPUT CH		
	（未設定）		
リモコンコード	**1**	コードを「1」または「2」に設定したリモコンを受け付けます。「切」では、リモコンの信号は受け付けません。	130
	2		
	切		
パワーセーブ	**入**	「入」の場合、バッテリーパック使用時に本機を5分間操作しないと電源が切れる。	35
	切		
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	32
	日付/時刻	日時を設定する。	
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2008.1.1 AM12:00** M.D,Y : JAN. 1, 2008 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2008 12:00AM	
おしらせ音	大	操作音などの音量を設定します。	–
	小		
	切		
MAGN.ボタンロック	**無効**	MAGN.ボタンのロックの有効/無効を切り換える。	44、88
	有効		
SHTR D.ロック	**無効**	SHUTTERダイヤルのロックの有効/無効を切り換える。	66、88
	有効		
E.LCK B.ロック	**無効**	EXP.LOCK/PUSH AEボタンのロックの有効/無効を切り換える。	67、72、88
	有効		
ALL DISPLAY	**有**	すべての画面表示をする／しないを切り換える。	35
	無		
設定初期化	**いいえ**	すべての設定を工場出荷時に戻す。	–
	はい		

メニュー編

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カードカメラメニュー

サブメニュー項目		設定内容	意味		📖
カスタマイズ					
カスタム プリセット	EDIT	SELECT CP	1 PRESET_A	設定するプリセットを選択する。	103～105
			2 PRESET_B		
			3 PRESET_C		
			4 PRESET_D		
			5 PRESET_E		
			6 PRESET_F		
			7 VIDEO.C	民生用の薄型テレビ再生用	
			8 CINE.V	フィルムトーン映像再生	
			9 CINE.F	キネコを目的とした録画	
		TUNE	選択したカスタムプリセットの設定を編集する。		
		RENAME	選択したカスタムプリセットの名前を変える。		
		PROTECT	選択したカスタムプリセットの設定をプロテクトする。		
		RESET	選択したカスタムプリセットの設定と名前を初期値に戻す。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
カスタム プリセット	EDIT	KNE（ニー）	**AUTO**	ニーを設定する。	109～111
			HIGH		
			MIDDLE		
			LOW		
		BLK（ブラック）	STRETCH	ブラックを設定する。	
			MIDDLE		
			PRESS		
		SHP（シャープネス）	−9～**0**～9	シャープネスを調整する。	
		HDF（H DTL FREQ）	HIGH	水平ディテール周波数を設定する。	
			MIDDLE		
			LOW		
		DHV（DTL HV BAL）	−9～**0**～9	ディテール周波数の水平と垂直を調整する。−9では水平だけ、+9では垂直だけになる。	
		COR（コアリング）	−9～**0**～9	コアリングを調整する。	
		CGN（カラーゲイン）	−50～**0**～50	カラーゲインを調整する。	
		CPH（色相）	−9～**0**～9	色相を調整する。	
		RGN（Rゲイン）	−50～**0**～50	Rゲインを調整する。	
		GGN（Gゲイン）	−50～**0**～50	Gゲインを調整する。	
		BGN（Bゲイン）	−50～**0**～50	Bゲインを調整する。	
		RGM（RGマトリクス）	−50～**0**～50	R-Gマトリクスを調整する。	
		RBM（RBマトリクス）	−50～**0**～50	R-Bマトリクスを調整する。	
		GRM（GRマトリクス）	−50～**0**～50	G-Rマトリクスを調整する。	
		GBM（GBマトリクス）	−50～**0**～50	G-Bマトリクスを調整する。	
		BRM（BRマトリクス）	−50～**0**～50	B-Rマトリクスを調整する。	
		BGM（BGマトリクス）	−50～**0**～50	B-Gマトリクスを調整する。	
		SELECT CP	コピーするカスタムプリセットを選択する。		106～109
		SAVE POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
		EXECUTE	実行する。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
		IMPORT	コピーするカスタムプリセットを選択する。		
		SELECT POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
		EXECUTE	実行する。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
カスタムファンクション		詳細はカメラメニューのカスタムファンクションを参照してください（📖 157）。			
カスタムディスプレイ		詳細はカメラメニューのカスタムディスプレイを参照してください（📖 158）。			

カード再生メニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
信号設定			
コンポーネント出力	480i	480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。	92
	1080i/480i	1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。	
XH G1s SDI出力	入（OSD）	HD/SD SDI端子の出力を入/切する。 「入（OSD）」にすると画面表示も出力される。	92
	入		
	切		
XH G1s SDI出力映像	**オート**	HD/SD SDI端子の出力を選択する。 オートでは信号に合わせて自動切り換えになります。	92
	SD固定		
カード実行			
印刷指定全消去	**いいえ**	すべてのプリント指定を消去するかどうかを選択する。	147
	はい		
画像全消去	**いいえ**	プロテクトした以外のすべての静止画をすべて消去するかどうかを選択する。	143
	はい		
初期化	**キャンセル**	カードの初期化を中止する。	145
	初期化	カードを初期化する。	
	完全初期化	データ自体を完全に抹消して初期化する。	
カード再生中にSELECT/SETダイヤルを押したとき			
画像消去*2	**キャンセル**	再生中の静止画を消去するかどうかを選択する。	143
	消去		
画像プロテクト*2	切	再生中の静止画をプロテクトするかどうかを選択する。	144
	入		
印刷指定		再生中の静止画に印刷指定する。	146
スライドショー	キャンセル	スライドショーを行うかどうかを選択する。	141
	スタート		
インデックス画面表示中にメニューから操作したとき			
➡ 画像プロテクト	切	選択中の静止画をプロテクトするかどうかを選択する。	144
	入		
➡ 印刷指定		選択中の静止画に印刷指定する。	146
表示設定			
CVF調整	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	23
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー*1	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス*1	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
	バックライト	明るい / **ノーマル**：バックライトの明るさを調整する。	

*1 VIEWFINDER COMPONENT OUT端子の出力も同時に変わります。
*2 撮影直後の静止画確認時間内にSELECT/SETダイヤルを押したときも出ます。

メニュー編

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カード再生メニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
LCD調整	明るさ	液晶画面の明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	23
	コントラスト	液晶画面のコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	液晶画面の色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	液晶画面のシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
	バックライト	明るい / **ノーマル**：バックライトの明るさを調整する。	
CVF+LCD BW[*1]	入 **切**	ファインダーと液晶画面の白黒モードを入/切する。	24
CVF+LCD ON	入 **切**	ファインダーと液晶画面の同時使用を入/切する。	24
オンスクリーン	入 **切**	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	87
カスタムキー	入 **切**	設定したカスタムキーの表示を入/切する。	86
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポーランド語、ロシア語、簡体中文、**日本語** ・画面下のSETとMENUは切り換わらない。	30
システム設定			
カスタムキー 1	**オンスクリーン** CVF+LCD BW SDI出力 XH G1s (未設定)	カスタムキー 1で使用する機能を選択する。 カスタムキー 1を使用しないときは「未設定」を選択する。	86
カスタムキー 2	オンスクリーン **CVF+LCD BW** SDI出力 XH G1s (未設定)	カスタムキー 2で使用する機能を選択する。 カスタムキー 2を使用しないときは「未設定」を選択する。	86
リモコンコード	1 2 切	コードを「1」または「2」に設定したリモコンを受け付けます。「切」では、リモコンの信号は受け付けません。	130
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	32
	日付/時刻	日時を設定する。	
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2008.1.1 AM12:00** M.D,Y : JAN. 1, 2008 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2008 12:00AM	
おしらせ音	大 小 **切**	操作音などの音量を設定します。	–
設定初期化	**いいえ** はい	すべての設定を工場出荷時に戻す。	–
CAM.F.VER.	本機のファームウェアのバージョン表記。		–
カスタマイズ			
静止画記録CP	SELECT POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。	108
	EXECUTE	実行する。	
	RETURN	上位の画面に戻る。	
カスタムファンクション	詳細はカメラメニューのカスタムファンクションを参照してください（📖 157）。		

*1 VIEWFINDER COMPONENT OUT端子の出力も同時に変わります。

メインダイヤルを切り換えても保持している設定項目

メインダイヤルを切り換えても次の機能の設定は保持されます（内蔵リチウム電池が充電されていないと保持されません）。

● カメラモード/カードカメラモード

<table>
<tr><th></th><th>メインダイヤルで
電源を切る</th><th>HD/SDを切り換える*</th></tr>
<tr><td>Tvモードで設定したシャッタースピード</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>Avモードで設定した絞り値</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>マニュアルモードで設定した
シャッタースピード、絞り値</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランスセット</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>露出ロック</td><td>切になる</td><td>○</td></tr>
<tr><td>露出ロックで設定した絞り値、
シャッタースピード</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カメラ（テープ／カード）
メニューの設定項目</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>オンスクリーンの入／切</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>画面表示の切り換え</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ゲインファインチューニング</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>AGC LIMIT</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>絞りリミット</td><td colspan="2">○</td></tr>
</table>

＊カメラモードのみ

その他

次のページへ

メインダイヤルを切り換えても保持している設定項目…つづき

撮影モードやフレームレートを切り換えても次の機能の設定は保持されます（内蔵リチウム電池が充電されていないと保持されません）。

● カメラモード/カードカメラモード

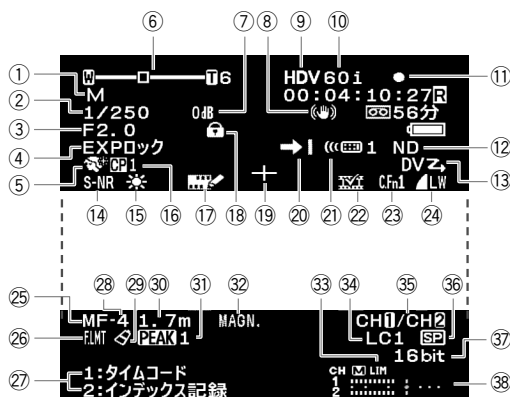
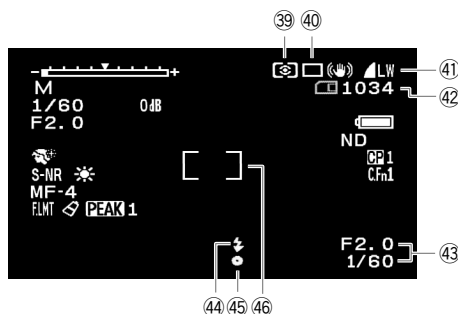
<table>
<tr><th></th><th>□（全自動）モード以外の撮影モードに切り換える</th><th>□（全自動）モードに切り換える</th><th>フレームレートを切り換える*</th></tr>
<tr><td>Tvモードで設定したシャッタースピード</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>Avモードで設定した絞り値</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>マニュアルモードで設定した絞り値、シャッタースピード</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランスセット</td><td>○</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>露出ロック</td><td colspan="3">切になる</td></tr>
<tr><td>露出ロックで設定した絞り値、シャッタースピード</td><td colspan="3">リセット</td></tr>
<tr><td>カメラ（テープ／カード）メニューの設定項目</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>オンスクリーンの入／切</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>画面表示の切り換え</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ゲインファインチューニング</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>AGC LIMIT</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>絞りリミット</td><td colspan="3">○</td></tr>
</table>

＊カメラモードのみ

画面表示について

撮影時の画面

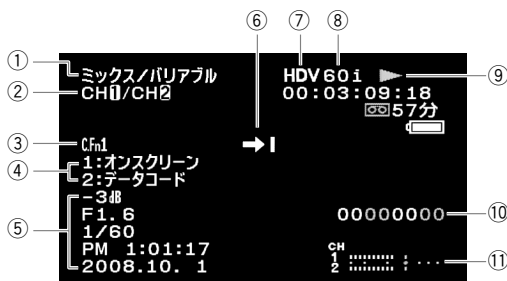
36ページと134ページの説明もご覧ください。また、ほとんどの表示は「カスタムディスプレイ」で表示する/しないを選択できます（🕮 120）。

カメラモード

カードカメラモード

① 撮影モード（🕮 62）	
② シャッタースピード（🕮 66）	
③ F値（🕮 66）	
④ 露出ロック（🕮 72）／AEシフト（🕮 73）	
⑤ スキンディテール（🕮 83）	
⑥ ズームの位置とズームスピード（🕮 40）／露出レベル（🕮 72）	
⑦ ゲイン（🕮 74）	
⑧ 手ぶれ補正（🕮 61）	
⑨ 記録規格（🕮 38）	
⑩ フレームレート（🕮 48）	
⑪ テープ走行表示 ● 録画　●Ⅱ 一時停止 ■ 停止　▲ 取出し	
⑫ NDフィルター（🕮 47）	
⑬ DVコントロール（🕮 98）	
⑭ セレクティブNR（🕮 84）	
⑮ ホワイトバランス（🕮 76）	
⑯ カスタムプリセット（🕮 103）	
⑰ 表示文字記録（🕮 119）	
⑱ ボタン/ダイヤルロック表示	
⑲ センターマーカー（🕮 36）	
⑳ エンドサーチ（🕮 39）	
㉑ リモコンコード（🕮 130）	
㉒ インデックス記録（🕮 87）	
㉓ カスタムファンクション（🕮 112）	
㉔ 静止画画質／サイズ（動画撮影時）（🕮 131）	
㉕ マニュアルフォーカス（🕮 43）	
㉖ フォーカスリミット（🕮 46）	
㉗ カスタムキー（🕮 86）／日付表示（🕮 33）	
㉘ フォーカスプリセットスピード（🕮 46）	
㉙ カラーコレクション（🕮 81）	
㉚ フォーカス距離（🕮 44）	
㉛ ピーキング（🕮 44）	
㉜ 拡大表示（🕮 44）	
㉝ オーディオリミッター（🕮 59）	
㉞ ローカット（🕮 56）	
㉟ 音声出力CH（🕮 96）	
㊱ 録画モード（SD記録時）	
㊲ DVオーディオモード（🕮 55）	
㊳ レベルメーター（🕮 58）	
㊴ 測光方式（🕮 138）	
㊵ ドライブモード（🕮 136）	
㊶ 静止画の画質／サイズ（🕮 131）	
㊷ 静止画の記録可能枚数（🕮 131）	
㊸ 半押し中カメラ情報（🕮 133）	
㊹ ストロボ（🕮 139）	
㊺ ピント・露出の固定状態（🕮 133）	
㊻ スポット測光枠（🕮 138）	

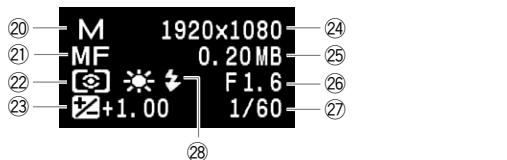
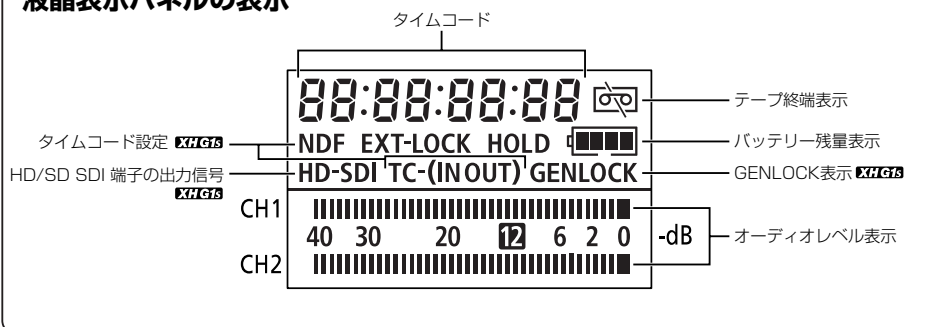
次のページへ

画面表示について…つづき

再生時の画面

VCR/PLAYモード

カードVCR/PLAYモード

① 音声モニター（97）
② 音声出力（96）
③ カスタムファンクション（112）
④ カスタムキー（86）
⑤ データコード（129）
⑥ 日付サーチ（128）／インデックスサーチ（127）／エンドサーチ（39）
⑦ 記録規格（38）
⑧ フレームレート（48）
⑨ テープ走行表示（124）

●	録画	●II	録画一時停止
■	停止	▲	取出し
▶	再生	▶II	再生一時停止
▶▶	早送り	◀◀	巻戻し
▶▶ / ◀◀	早送り再生／巻戻し再生		
×2▶ / ◀×2	正方向／逆方向2倍速再生		
×1▶ / ◀×1	正方向／逆方向1倍速再生		
II▶ / ◀II	正方向／逆方向コマ送り再生		

⑩ ユーザービット（54）
⑪ レベルメーター（58）
⑫ スライドショー（141）
⑬ 画像プロテクト（144）
⑭ 画像番号（132）
⑮ 画像枚数（131）
⑯ ヒストグラム（142）
⑰ 撮影日時（33）
⑱ 静止画と一緒にカスタムプリセットが記録されている（108）
⑲ 静止画画質／サイズ（131）
⑳ 撮影モード（62）
㉑ フォーカス（42）
㉒ 測光（138）
㉓ AEシフト（73）
㉔ 静止画サイズ（131）
㉕ ファイルサイズ
㉖ F値（66）
㉗ シャッタースピード（66）
㉘ ホワイトバランス（76）／ストロボ（139）

お知らせ表示（約4秒間表示されます）

エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（□ 32)。
カードエラーです	カードにエラーがあり、記録、再生できません。一時的にカードエラーが起きる場合もあります。「カードエラーです」の表示が4秒後に消えて□が赤色で点滅するときは、電源を切り、カードを出し入れしてください。□が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できます。
カードがありません	カードがビデオカメラ本体に入っていません。（□ 29）
カードがいっぱいです	カードに空き容量がありません。別のカードと入れ換えるか、画像を消去してください。
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	SD/SDHCメモリーカードが記録（書き込み）ができない状態になっています。SD/SDHCメモリーカードの誤消去防止のツマミを記録できる状態に切り換えてください。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止ツマミをRECに切り換えてください（□ 28、179)。
カセットを取り出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（□ 28)。
画像がありません	カードに再生する画像がありません。（□ 133）
記録されている規格が異なります 再生できません	本機では再生できない規格で記録されたテープを再生しようとしたとき。
クリーニングカセットを使ってください [ヘッドよごれ]	録画を開始した直後、ビデオヘッドが汚れているときに表示されます。必ずビデオヘッドのクリーニングをしてください（□ 181)。
結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついています（□ 186)。
この画像は再生できません	再生できない画像タイプ、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとしました。
この入力信号には対応していません	本機で対応していない信号（720pなど）が入力されています。
再生規格固定中です 再生できません	再生規格を固定しているときに、設定してる規格以外で記録されたテープを再生しているとき。
再生規格固定中です 入力できません	再生規格を固定しているときに、設定してる規格以外の信号が入力されたとき。
テープ終了です	テープが最後まで巻かれています。カセットを巻戻す、または取り出してください（□ 28、124)。
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（□ 18)。
ファイル名が作成できません	フォルダー番号と画像番号が最大になりました。
HDV/DV入力を確認してください	ＤＶケーブルが HDV/ＤＶ端子にきちんと接続されていないか、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。 ケーブルと端子、電源を確認してください（□ 102)。

著作権保護信号

コピー制限されています 再生できません	(本機が再生側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープを再生した場合、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは再生できません。
コピー制限されています 記録できません	(本機が録画側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープをダビング録画しようとした場合に、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは記録できません。また、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れている場合にも表示されることがあります（□ 99、100)。 アナログ−デジタル変換時は、動作中、表示され続けます（□ 101)。

取り扱い上のご注意

ビデオカメラについて

ファインダーや液晶画面、マイク、ケーブルをつかんで、本機を持ち上げない

高温、多湿の場所に放置しない
炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。

強い磁気の発生する場所で使わない
テレビの上、プラズマテレビ、携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影や操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ることがあります。

太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない
レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。集光により内部の部品が溶けて破損の原因となることがあります。

ホコリや砂の多い場所では使わない
ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズキャップを付けてください。

水や泥、塩分に注意する
本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。

照明器具に注意する
照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。

ハンドルを持って運ぶときは振り回したりしない
ぶつけたりすると故障の原因となります。

分解しない
分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、修理受付センターにご相談ください。

振動や衝撃を与えない
強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。

極端な温度差にさらさない
寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（□ 186）の指示に従ってください。

バッテリーパックについて

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

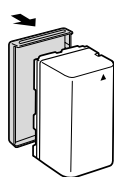
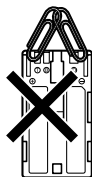
必ず充電してから使う

バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。

端子はいつもきれいにしておく

バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときは、ショート防止用端子用カバーを取り付けてください。また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付ける（図A）

キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図B)、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。

（図A）

（図B）

充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。

充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。

長い時間ビデオカメラを使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。

こまめに電源を切って使う

・撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。こまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。

・バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

使用しないときは、ビデオカメラから取りはずす

ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。

次のページへ

取り扱い上のご注意…つづき

充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

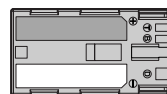
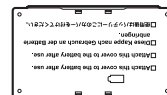
常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

・湿度の低い室温で保管する。
・1年に1回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、画面に「バッテリーを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

ショート防止用端子カバーについて

ショート防止用端子カバーには、「 」の穴があります。バッテリーパックに端子カバーを取り付けるときに「 」の位置を変えることで、充電済みのバッテリーパックを見分けるのに便利です。
例：充電したバッテリーパックの場合は、端子カバーを青い部分が見えるように取り付ける

バッテリーパックの裏面

端子カバーの取り付け後
充電していない場合

充電した場合

Li-ion

● 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、有限責任中間法人 JBRCのホームページをご参照ください。
　ホームページ：http://www.jbrc.com
● プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
● 被覆をはがさないでください。
● 分解しないでください。

ビデオカセットについて

カセットは使用後、必ず巻戻す

テープがたるんで傷み、テープに記録した映像や音声が劣化する原因となります。

カセットはケースに入れて、立てて保管する

カセットを本体に入れたまま放置しない

セロハンテープなどで、テープの穴をふさがない

カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。

テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは使用しない

故障の原因となります。

カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えない

内部のテープがたるみ故障の原因となります。

カセットを長期間保管するときは、時々巻き直す

傷のついたテープは使用しない

ヘッド汚れの原因となります。

金メッキ端子付きのカセットの場合は、カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにする

本機は、カセットメモリー付きカセットのカセットメモリー機能には対応していません。

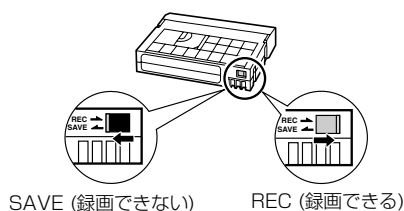
間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止ツマミを左に切り換え、SAVEにしてください。誤消去防止ツマミを右に戻せば、再び録画できます。

・カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、画面に「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後「」が赤く点滅します。

SAVE (録画できない)　REC (録画できる)

その他

次のページへ

取り扱い上のご注意…つづき

カードについて

- カードに記録した静止画は、USBカードリーダー、PC/PCMCIAカードアダプターなどを使ってパソコンに取り込めます。
- カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

新規にカードを購入した際には、本機で初期化を行う

パソコンなど本機以外で初期化したカードは、正常に使えないことがあります。

カードに記録した静止画などのデータは、パソコンで外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておく

カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

強い磁気の発生する場所で使わない

高温、多湿の場所に放置しない

分解しない

ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない

極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面が結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。

カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしない

ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしない

内蔵リチウム2次電池について

本機は、リチウム2次電池を内蔵していて、日付などの設定が保持されます。この内蔵のリチウム2次電池は、本機を使っている間に充電されますが、使用時間が短いと少しずつ放電され、本機を使わない期間が3ヶ月くらい過ぎると、完全に放電してしまいます。その場合は、リチウム2次電池を充電してください。充電するときは、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、24時間放置してください（メインダイヤルは「OFF」）

ビデオヘッドをクリーニングする

画面に「クリーニングカセットを使ってください［ヘッドよごれ]」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、映像と音声が一瞬（約0.5秒）停止したり（HDV）、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見たりするために、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使って、こまめにビデオヘッドをきれいにしてください。
ビデオヘッドをクリーニングしても直らない場合には故障が考えられます。修理受付センターにご相談ください。

正常な画像

ビデオヘッドが汚れているときの画像（DV）

ヘッドクリーニングするときは

❍ 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
❍ ヘッドが汚れた状態で録画したテープは、ヘッドクリーニング後にも正常に再生できない場合があります。

その他

日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセットをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

お手入れ

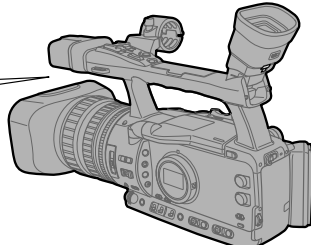
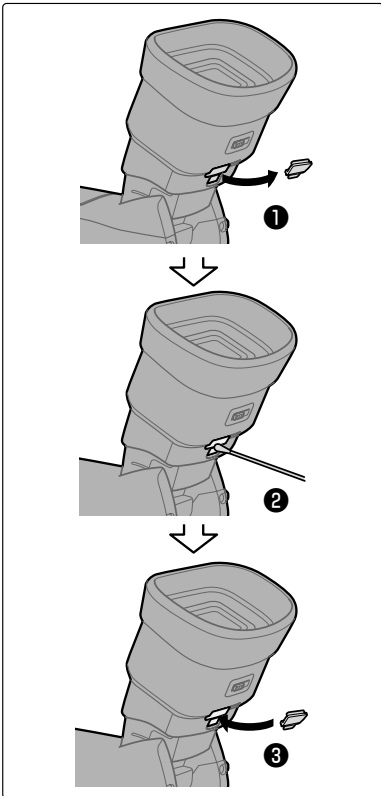
製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

液晶画面について

・汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
・温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

各部のチェック

長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。

ファインダーのお手入れ

ファインダー内部に入ったゴミは、次のようにして取り除きます。

❶ マイナスドライバーなどで保護カバーを取りはずす

❷ 綿棒を差し込み、ゴミを取り除く

❸ 保護カバーを取り付ける

ファインダーの接眼レンズは傷つきやすいので、ご注意ください。

トラブルシューティング

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、修理受付センター、または販売店にご相談ください。

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	
電源	**電源が入らない。**	バッテリーパックが正しく装着されていない。	バッテリーパックを正しく装着し直す。	18
電源	**途中で電源が切れる。**	撮影一時停止状態が5分以上続いた。	もう一度電源を入れる。	35
電源	**画面がついたり消えたりをくり返す。**	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	18
撮影時・再生時	**操作ボタンを押しても動かない。**	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	28
撮影時・再生時	**電源ランプが点滅し画面に“ ”が点滅する。**	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。	結露の項目をご覧ください。	186
撮影時・再生時	**電源ランプが点滅し画面に“カセットを取り出してください”が表示される。**	保護機能が働いている。	カセットを一度取り出して、入れ直す。	28
撮影時・再生時	**リモコンが動作しない。**	本機とリモコンのリモコンコードが異なるかメニューでリモコンセンサーを無効にしている(画面に「 」が出ている)。	メニューでリモコンコードを「 1」または「 2」にする。	130
撮影時・再生時		リモコンの電池が消耗した。	新しい電池と交換する。	27
撮影時	**メインダイヤルをOFF以外にしているのに電源ランプが点灯しない。**	カスタムファンクションで「LED」を「OFF」にしている。	カスタムファンクションで「LED」を「OFF」以外にする。	119
撮影時	**画面に映像が映らない。**	メインダイヤルが撮影モードになっていない。	メインダイヤルを撮影モードにする。	34
撮影時	**「エリア／日時を設定してください」が表示される。**	世界時計のエリアまたは日時が設定されていないか、内蔵リチウム2次電池が放電している。	世界時計のエリアと日時を設定するか、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、メインダイヤルを「OFF」にしたまま24時間放置して、内蔵リチウム2次電池を充電する。	19 32

次のページへ

トラブルシューティング…つづき

<table>
<tr><th></th><th>こんなときには</th><th>考えられる原因</th><th>どうするの？</th><th>📖</th></tr>
<tr><td rowspan="13">撮影時</td><td rowspan="3">START/STOPボタンを押しても、録画しない。</td><td>カセットが入っていない。</td><td>カセットを入れる。</td><td>28</td></tr>
<tr><td>メインダイヤルが撮影モード以外になっている。</td><td>メインダイヤルを撮影モードにする。</td><td>34</td></tr>
<tr><td>ハンドルのLOCK（ロック）スイッチがロックになっている。</td><td>左にスライドさせ、ロックを解除する。（ロック解除するとオレンジ色の目印が見えなくなります）</td><td>34</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ピントが合わない。</td><td>ピントの自動調整が苦手な被写体である。</td><td>マニュアルでピントを合わせる。</td><td>43</td></tr>
<tr><td>ファインダーの視度が合っていない。</td><td>視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。</td><td>22</td></tr>
<tr><td>レンズが汚れている。</td><td>最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く。（ティッシュペーパーで拭くのはなるべく避けてください。）</td><td>182</td></tr>
<tr><td>タリーランプが点灯／点滅しない。</td><td>カスタムファンクションで「TALLY LAMP」を「OFF」を選んだ。</td><td>カスタムファンクションでTALLY LAMPを「ON」または「BLINK」にする。</td><td>118</td></tr>
<tr><td>キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に白い帯が出る。</td><td>CCDのスミア現象で故障ではありません。</td><td>Avモードで、F5.6〜F8.0で撮影してください。</td><td>70</td></tr>
<tr><td>ファインダーの画像がはっきりしない。</td><td>視度調整レバーで調整していない。</td><td>視度調整レバーで調整する。</td><td>22</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音声が記録されない。</td><td>音声入力チャンネル（「オーディオ設定」サブメニューの「CH1 INPUT」または「CH2 INPUT」）が正しく設定されていない。</td><td>正しく設定する。</td><td>55</td></tr>
<tr><td>XLR端子から入力しているマイクがファンタム電源で+48VスイッチがOFFになっている。</td><td>+48VスイッチをONにする。</td><td>57</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音声が極端に小さい。</td><td>AUDIO LEVELスイッチがM（マニュアル）になっていて、入力レベルをしぼっている。</td><td>レベルメーターで確認しながら適正なレベルにする。</td><td>59</td></tr>
<tr><td>ATT.スイッチがATT.になっている。</td><td>ATT.スイッチをOFFにする。</td><td>56、57</td></tr>
</table>

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	📖
再生時	**再生ボタンを押しても再生しない。**	電源が入っていない、またはVCR/PLAY以外になっている。	メインダイヤルを「VCR/PLAY」にする。	124
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	28
	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	181
		コピー制限されたテープを再生またはダビング録画しようとしている。	再生またはダビング録画を中止してください。	175
		出力ケーブルが正しく接続されていない。	出力ケーブルを正しく接続する。	91
	HDV再生時に、再生画が瞬間的に止まる。	ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式ヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	181
カード	**カードが入らない。**	カードの向きが違っている。	カードの向きを確認して、正しい向きで入れる。	29
	カードに記録できない。	カードが入っていない。	カードを入れる。	29
		カードの空き容量がない。	不要な静止画などを消去する。	143
		カードが初期化されていない。	本機でカードを初期化する。	145
		画像番号が最大になっていてファイル名が作成できない。	メニューで「画像番号」を「オートリセット」にし、新しいカードを入れる。	132
	カードが再生できない。	メインダイヤル、テープ/カード切換スイッチの位置が正しくない。	メインダイヤルを「VCR/PLAY」、テープ/カード切換スイッチを ▭ にする。	140
	静止画を消去できない。	静止画がプロテクトされている。	静止画のプロテクトを解除する。	144
		誤消去防止ツマミがロック状態になっている。	ロック状態を解除する。	29
	カードアイコンが赤く点滅する。	カードエラー。	電源を切り、カードを出し入れする。それでも点滅が続くときは、カードを初期化する。	145

次のページへ

トラブルシューティング…つづき

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズ、静電気などにより、ファインダーに通常出ない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源をいったん取り外し、先のとがったものでRESETボタンを押すと、すべての設定が解除されます。

液晶画面について

液晶画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。

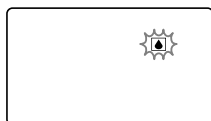
低照度下での撮影について

低照度下で、スローシャッターやゲインを上げて撮影しているときに、CCDの構造上白く輝く点が見えることがあります。このような場合は、シャッタースピードを速くするか、ゲインを下げる、またはビデオライトなどの補助光を使用して撮影してください。

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

結露したときは？

電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。画面に「結露しています」が約4秒間表示され、💧が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています カセットを取り出してください」が表示され、📼が点滅します。

● カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、メインダイヤルでの電源の入／切とEJECTスイッチのみ働きます）。結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

結露を防ぐためには

● 温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、画面の💧や電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

こんなときにはご注意

● 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

● 寒い部屋を急に暖房したとき

● 湿度の高い部屋の中

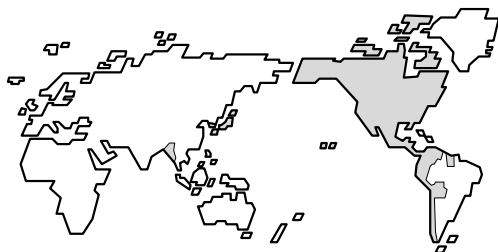
● 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

● 録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像／音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界の放送2007」による

●アメリカ合衆国
●エクアドル
●カナダ
●キューバ
●グアム
●大韓民国
●チリ
●ドミニカ
●トリニダード・トバコ
●ニカラグア
●バミューダ
●プエルトルコ
●ベネズエラ
●ペルー
●米領サモア
●ボリビア
●グァテマラ
●グリーンランド
●コスタリカ
●コロンビア
●スリナム
●セントルシア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バラバドス
●ミャンマー
●フィリピン
●ホンジュラス
●ミクロネシア
●メキシコ
●台湾

バッテリーパックの充電

コンパクトパワーアダプターCA-920は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国／地域では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

■海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

キヤノンビデオシステム

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様（型式：XH G1S／XH A1S）

システム

録画方式：	回転ヘッドヘリカルスキャン
映像記録規格：	HDV：HDV 1080i DV：DV方式（民生用デジタルVCR　SD方式）
音声記録方式：	HDV：MPEG-1 Audio Layer2 16bit 48kHz、転送レート384kbs（2ch） DV：PCMデジタル記録 16bit (48kHz)、12bit (32kHz)
信号方式：	HDV：1080/60i方式、DV：NTSC方式準拠
使用可能ビデオカセット：	Mini DV のついたミニDVカセット
テープ速度：	HDV：約18.81mm/秒 DV：約18.81mm/秒（SPモード時）、約12.56mm/秒（LPモード時）
録画／再生時間：	HDV：60分（60分テープ使用時） DV：60分（60分テープ使用時/SPモード時）、90分（60分テープ使用時/LPモード時）
早送り／巻戻し時間：	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子：	1/3型CCD×3　（水平画素ずらし） 総画素：約167万画素 有効画素：HD　156万画素 SD16：9　156万画素 SD4：3　117万画素
液晶画面：	ワイドカラー液晶（2.8型、約20.7万画素）
ビューファインダー：	ワイドカラー液晶ファインダー（0.57型ワイド、約26.9万画素）
マイク：	クロスレイアウト方式、ステレオ、エレクトレットコンデンサーマイク
レンズ：	f=4.5～90mm、F1.6～3.5、20倍ズーム 35mm換算の焦点距離 HD/SD16：9/カード静止画16：9時、約32.5～650mm SD4：3/カード静止画4：3時、約39.8～796mm
レンズ構成：	11群16枚（非球面1枚使用）
フィルター取付径：	72mm
手ぶれ補正：	光学式（シフト方式）
焦点調整：	自動焦点、フォーカスリングによる手動調節可
色温度切り換え：	自動追尾型WB、セット、プリセット、色温度設定機能付き
最低被写体照度：	0.4ルクス（60i/30Fモード、マニュアルモード、シャッター速度1/4秒、F1.6、ゲイン18dB）
推奨被写体照度：	100ルクス以上
被写体照度範囲：	0.4－10万ルクス（60i/30Fモード）
記録カード：	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、マルチメディアカード
カード記録画素数：	静止画1920×1080、1440×1080、848×480、640×480
カード記録規格：	DCF準拠、Exif2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法：	JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）

※本機では、16GBまでのSD／SDHCメモリーカードの動作を確認しています。すべてのカードの動作を保証するものではありません。
本機は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
本機は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力が得られます。

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

XHG1s HD/SD-SDI端子：	BNCジャック （出力のみ）、0.8Vp-p／75Ω、不平衡 SDI 480/60i：SMPTE 259M準拠、SMPTE 272M準拠、SMPTE RP188（LTC）準拠 HD-SDI：SMPTE 292M準拠、SMPTE 299M準拠、SMPTE RP188 (LTC) 準拠
HDV/DV端子：	6ピン（IEEE1394準拠）、入出力兼用
コンポーネント出力端子：	HD/SD COMPONENT OUT端子：　D3（1080i）/D1（480i）対応 VIEWFINDER COMPONENT OUT端子：D1（480i）対応
映像入出力端子：	A/V1端子：φ3.5mm　4極ミニジャック（AV兼用）／VIDEO 2端子：BNCジャック（出力のみ）、1Vp-p／75Ω　不平衡
音声出力端子：	
A/V1端子：	φ3.5mm　4極ミニジャック（AV兼用） －12dBV（47kΩ負荷時、出力レベル設定1Vrms、フルスケール－12dB）／3kΩ以下
ヘッドホン端子：	φ3.5mmステレオミニジャック －∞～－12dBV（16Ω負荷、ボリュームMin～Max）／50Ω以下
音声入力端子：	
XLR端子（2系統）：	XLR（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド） 感度： マイク入力時：－60dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール－18dB）／600Ω ライン入力時：+4dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール－18dB）／10kΩ ATT：20dB

主な仕様（型式：XH G1S／XH A1S）…つづき

MIC端子：　φ3.5mmステレオミニジャック（アンバランス）
感度：－66dBV（マニュアルボリュームセンター、フルスケール－12dB）／600Ω
ATT：20dB

A/V1端子：　φ3.5mm　4極ミニジャック（AV兼用）
感度：－12dBV（47kΩ負荷、フルスケール－12dB）

XH G1s GENLOCK端子（BNC型）：　BNCジャック （入力のみ）、1.0Vp-p／75Ω

XH G1s TIME CODE端子：　BNCジャック
入力時：0.5V-18Vp-p／10KΩ
出力時：1.0Vp-p／75Ω

LANC リモート端子：　φ2.5mmステレオミニミニジャック

電源／その他

電源電圧：　DC7.4V（公称）

消費電力：　XH G1s：ファインダー使用時　7.4W
液晶画面使用時　7.6W
XH A1s：ファインダー使用時　7.0W
液晶画面使用時　7.2W
いずれも、録画中・AF合焦時、HDモード時、ファインダー／液晶画面の明るさノーマル時

動作温度：　0℃～+40℃

外形寸法：　約163（幅）×192（高さ）×394（奥行）mm（レンズフード、アイカップ含む）

撮影時総質量：　XH G1s 約2465g、XH A1s 約2400g
（レンズフード、アイカップ、バッテリーパックBP-950G、ビデオカセット、メモリーカード含む）

本体質量：　XH G1s 約2200g、XH A1s 約2135g

コンパクトパワーアダプター　CA-920

電源	AC 100～240V、50/60Hz
出力電力／消費電力	アダプターモード時　公称DC7.2V、2.0A
	35VA(AC 100V)～47VA(AC 240V)
	チャージモード時　公称DC8.4V、1.5A
	29VA(AC 100V)～40VA(AC 240V)
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約75×51×99mm
本体質量	約215g

バッテリーパック　BP-950G

使用電池	リチウムイオン蓄電池
使用温度	0℃～+40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	5200mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	38.2×40.3×70.5mm
質量	約210g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

その他

マ行

ヤ行

ラ行

その他

カスタムキー一覧

コピーしてお持ちになると便利です。

カメラモード
タイムコード
インデックス記録
ゼブラパターン
VCRストップ
オンスクリーン
TC HOLD
レベルメーター
CVF+LCD BW
MAGN.ボタンロック
SHTR D.ロック

カメラモード
E.LCK B.ロック
CP マイナスキー*
SDI出力 XH G1s
FOCUS LIMIT
手ぶれ補正
OUTPUT CH
＊カスタムキー 2のみ

VCR/PLAYモード
タイムコード
オンスクリーン
データコード
レベルメーター
TC HOLD
CVF+LCD BW
SDI出力 XH G1s
OUTPUT CH

カードカメラモード
ゼブラパターン
オンスクリーン
CVF+LCD BW
MAGN.ボタンロック
SHTR D.ロック
E.LCK B.ロック
CP マイナスキー*
SDI出力 XH G1s
FOCUS LIMIT
手ぶれ補正
OUTPUT CH
＊カスタムキー 2のみ

カードVCR/PLAYモード
オンスクリーン
CVF+LCD BW
SDI出力 XH G1s

その他

保証書とアフターサービス

● 本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、修理受付センターまたはご購入いただいた販売店にご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては修理受付センター、またはご購入店にお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理のお問い合わせは

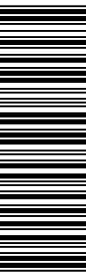
修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

平日・土曜日 9:00～18:00
日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

- 故障状態や動作の不具合を確認させていただき、その上で修理方法のご案内をいたします。なお、故障状態のほかに、ご購入年月日と型名「XH G1S」または「XH A1S」であることをお伝えください。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 宅配便による修理品の発送、または、弊社によるお引き取り、お届けについてご案内いたします。

電話番号が050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらないことがあります。このときは、お手数ですがNTTの固定電話からおかけ直しいただくか、043-211-9790をご利用ください。

使用方法に関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90004（全国共通）

平日 9:00～12:00／13:00～17:00（土日祝は休業）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9790をご利用ください。
※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

キヤノン業務用デジタルビデオカメラホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/prodv

キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■保証書は製品の箱に添付されています
保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2008年10月現在のものです
製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

PUB. DIJ-308A